

プログラムを構成する授業科目について

- 保健医療学部、医療福祉学部、薬学部、医学部、成田看護学部、成田保健医療学部、小田原保健医療学部、福岡保健医療学部

- ③ 修了要件
- | |
|--|
| 以下2科目、合計2単位を修得すること。
・データリテラシー【1単位】
・医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-【1単位】 |
|--|

必要最低科目数・単位数	2 科目	2 単位	履修必須の有無	令和5年度以前より、履修することが必須のプログラムとして実施
-------------	------	------	---------	--------------------------------

- ④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

[illegible]

- ⑤「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

[illegible]

- ⑥「様々なデータ利活用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

[illegible]

- ⑦「活用に応じた様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

[illegible]

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
データリテラシー	1	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	データリテラシー 第1回 データリテラシー入門 (ビックデータ、IoT、AI、第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会、データ量の増加、人間の知的活動とAIの関係性)
	1-6	医療必修 第14回 ICT・AIの医学・医療への応用とセキュリティ (AI最新技術の活用例、Society 5.0)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	データリテラシー 第1回 データリテラシー入門 (調査データ、実験データ、ログデータ、1次データ、2次データ、データのメタ化、構造化データ、非構造化データ、オープンデータ) 医療必修 第9回 社会におけるデータ・AI活用 (データ・AI活用領域の広がり、仮説検証、調査データ、実験データ、ログデータ、1次データ、2次データ、データのメタ化、構造化データ、非構造化データ、オープンデータ、生成AI)
	1-3	医療必修 第9回 社会におけるデータ・AI活用 (データ・AI活用領域の広がり、仮説検証、調査データ、実験データ、ログデータ、1次データ、2次データ、データのメタ化、構造化データ、非構造化データ、オープンデータ、生成AI)
(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	医療必修 第9回 社会におけるデータ・AI活用 医療必修 第13回 医療データ管理と病院管理・データ利活用の現場 医療必修 第14回 ICT・AIの医学・医療への応用とセキュリティ
	1-5	医療必修 第13回 医療データ管理と病院管理・データ利活用の現場 医療必修 第14回 ICT・AIの医学・医療への応用とセキュリティ

(4) 活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	医療必修 第10回 医の倫理と医療プロフェッショナリズム 医療必修 第11回 先端医療現場での倫理的問題と医療データを守る上での留意事項
	3-2	医療必修 第11回 先端医療現場での倫理的問題と医療データを守る上での留意事項 医療必修 第12回 保健・医療・福祉の専門職を目指す大学生に役立つコンピュータの基礎知識とメディア・リテラシー・インターネットリテラシー 医療必修 第15回 総括と討論および学習成果発表Ⅱ ―情報セキュリティインシデント演習
(5) 実データ・実課題 (学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	データリテラシー 第1回 データリテラシー入門 データリテラシー 第2回 データを読む(1)データの種類、データの分布と代表値 データリテラシー 第3回 データを読む(2)データのばらつき データリテラシー 第4回 データを読む(3)相関と因果 データリテラシー 第5回 データを読む(4)母集団と標本抽出(国勢調査、アンケート調査) データリテラシー 第6回 データを読む(5)クロス集計表、分割表
	2-2	データリテラシー 第10回 データを説明する(1)データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップなど) データリテラシー 第11回 データを説明する(2)データの比較(条件をそろえた比較、A/Bテスト) データリテラシー 第12回 データを説明する(3)可視化の事例 データリテラシー 第13回 グループワーク(1)データを収集 データリテラシー 第14回 グループワーク(2)データを分析し可視化する データリテラシー 第15回 グループワーク(3)データを読み説明する(プレゼン)
	2-3	データリテラシー 第7回 データを扱う(1)データの集計(和、平均) データリテラシー 第8回 データを扱う(2)データの集計(条件で判断する) データリテラシー 第9回 データを扱う(3)データの並べ替え(並べ替え、フィルタ)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

1. データ・AIによって、社会および日常生活が大きく変化していることを理解する。 2. データの特徴を読み解き、起きている事象の背景や意味合いを理解できる 3. データの比較対象を正しく設定し、数字を比べることができる 4. 適切な可視化手法を選択し、他者にデータを説明できる 5. 文献や現象を読み解き、それらの関係を分析・考察し表現することができる 6. スプレッドシート等を使って、小規模データ(数百件～数千件レベル)を集計・加工できる 7. データ・AI活用における留意事項(個人情報保護法、EU一般データ保護規則(GDPR)、モラルや倫理、リスクなど)について理解する。

【参考】

⑫ 生成AIに関連する授業内容 ※該当がある場合に記載

教育プログラムを構成する科目に、「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム改訂版」(2024年2月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム)において追加された生成AIに関連するスキルセットの内容を含む授業(授業内で活用事例などを取り上げる、実際に使用してみるなど)がある場合に、どの科目でどのような授業をどのように実施しているかを記載してください。

※本項目は各大学の実践例を参考に何うものであり、認定要件とはなりません。

講義内容
「医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-」の第9回で、今後、生成AIが社会に与える影響について言及している。特に、医療分野への応用について言及している。

大学等名	国際医療福祉大学
プログラム名	国際医療福祉大学数理・データサイエンス・AI教育プログラム

① 教育プログラムの修了要件

学部・学科によって、修了要件は相違する

② 対象となる学部・学科名称

成田保健医療学部放射線・情報科学科

③ 修了要件

以下2科目、合計2単位を修得すること。

- ・情報処理Ⅱ(基礎)【1単位】
- ・医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-【1単位】

必要最低科目数・単位数

2

科目

2

单位

履修必須の有

令和5年度以前より、履修することが必須のプログラムとして実施

④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

[illegible]

⑤「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

[illegible]

⑥「様々なデータ利活用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

[illegible]

⑦「活用に応じた様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

[illegible]

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
情報処理Ⅱ(基礎)	1	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	情報処理Ⅱ(基礎) 第1回 データリテラシー入門 (ビックデータ、IoT、AI、第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会、データ量の増加、人間の知的活動とAIの関係性)
	1-6	医療必修 第14回 ICT・AIの医学・医療への応用とセキュリティ (AI最新技術の活用例、Society 5.0)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	情報処理Ⅱ(基礎) 第1回 データリテラシー入門 (調査データ、実験データ、ログデータ、1次データ、2次データ、データのメタ化、構造化データ、非構造化データ、オープンデータ) 医療必修 第9回 社会におけるデータ・AI活用 (データ・AI活用領域の広がり、仮説検証、調査データ、実験データ、ログデータ、1次データ、2次データ、データのメタ化、構造化データ、非構造化データ、オープンデータ、生成AI)
	1-3	医療必修 第9回 社会におけるデータ・AI活用 (データ・AI活用領域の広がり、仮説検証、調査データ、実験データ、ログデータ、1次データ、2次データ、データのメタ化、構造化データ、非構造化データ、オープンデータ、生成AI)
(3)様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	医療必修 第9回 社会におけるデータ・AI活用 医療必修 第13回 医療データ管理と病院管理・データ利活用の現場 医療必修 第14回 ICT・AIの医学・医療への応用とセキュリティ
	1-5	医療必修 第13回 医療データ管理と病院管理・データ利活用の現場 医療必修 第14回 ICT・AIの医学・医療への応用とセキュリティ

(4) 活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	医療必修 第10回 医の倫理と医療プロフェッショナリズム 医療必修 第11回 先端医療現場での倫理的問題と医療データを守る上での留意事項
	3-2	医療必修 第11回 先端医療現場での倫理的問題と医療データを守る上での留意事項 医療必修 第12回 保健・医療・福祉の専門職を目指す大学生に役立つコンピュータの基礎知識とメディア・リテラシー・インターネットリテラシー 医療必修 第15回 総括と討論および学習成果発表Ⅱ ―情報セキュリティインシデント演習
(5) 実データ・実課題 (学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	情報処理Ⅱ(基礎) 第1回 データリテラシー入門 情報処理Ⅱ(基礎) 第2回 データを読む(1)データの種類、データの分布と代表値 情報処理Ⅱ(基礎) 第3回 データを読む(2)データのばらつき 情報処理Ⅱ(基礎) 第4回 データを読む(3)相関と因果 情報処理Ⅱ(基礎) 第5回 データを読む(4)母集団と標本抽出(国勢調査、アンケート調査) 情報処理Ⅱ(基礎) 第6回 データを読む(5)クロス集計表、分割表
	2-2	情報処理Ⅱ(基礎) 第10回 データを説明する(1)データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップなど) 情報処理Ⅱ(基礎) 第11回 データを説明する(2)データの比較(条件をそろえた比較、A/Bテスト) 情報処理Ⅱ(基礎) 第12回 データを説明する(3)可視化の事例 情報処理Ⅱ(基礎) 第13回 グループワーク(1)データを収集 情報処理Ⅱ(基礎) 第14回 グループワーク(2)データを分析し可視化する 情報処理Ⅱ(基礎) 第15回 グループワーク(3)データを読み説明する(プレゼン)
	2-3	情報処理Ⅱ(基礎) 第7回 データを扱う(1)データの集計(和、平均) 情報処理Ⅱ(基礎) 第8回 データを扱う(2)データの集計(条件で判断する) 情報処理Ⅱ(基礎) 第9回 データを扱う(3)データの並べ替え(並べ替え、フィルタ)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

1. データ・AIによって、社会および日常生活が大きく変化していることを理解する。 2. データの特徴を読み解き、起きている事象の背景や意味合いを理解できる 3. データの比較対象を正しく設定し、数字を比べることができる 4. 適切な可視化手法を選択し、他者にデータを説明できる 5. 文献や現象を読み解き、それらの関係を分析・考察し表現することができる 6. スプレッドシート等を使って、小規模データ(数百件～数千件レベル)を集計・加工できる 7. データ・AI活用における留意事項(個人情報保護法、EU一般データ保護規則(GDPR)、モラルや倫理、リスクなど)について理解する。

【参考】

⑫ 生成AIに関連する授業内容 ※該当がある場合に記載

教育プログラムを構成する科目に、「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム改訂版」(2024年2月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム)において追加された生成AIに関連するスキルセットの内容を含む授業(授業内で活用事例などを取り上げる、実際に使用してみるなど)がある場合に、どの科目でどのような授業をどのように実施しているかを記載してください。

※本項目は各大学の実践例を参考に何うものであり、認定要件とはなりません。

講義内容
「医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-」の第9回で、今後、生成AIが社会に与える影響について言及している。特に、医療分野への応用について言及している。

大学等名	国際医療福祉大学
プログラム名	国際医療福祉大学数理・データサイエンス・AI教育プログラム

① 教育プログラムの修了要件	学部・学科によって、修了要件は相違する
----------------	---------------------

② 対象となる学部・学科名称

赤坂心理・医療福祉マネジメント学部心理学科

③ 修了要件 以下2科目、合計3単位を修得すること。 ・心理学統計法Ⅰ（単変量解析講義・データリテラシー）【2単位】 ・医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-【1単位】

必要最低科目数・単位数	2	科目	3	単位	履修必須の有無	令和5年度以前より、履修することが必須のプログラムとして実施
-------------	---	----	---	----	---------	--------------------------------

④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

[illegible]

⑤「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

[illegible]

⑥「様々なデータ利活用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

[illegible]

⑦「活用に応じた様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

[illegible]

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
心理学統計法Ⅰ(単変量解析講義・データリテラシー)	2	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	心理学統計法Ⅰ 第1回 データリテラシー入門 (ビックデータ、IoT、AI、第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会、データ量の増加、人間の知的活動とAIの関係性)
	1-6	医療必修 第14回 ICT・AIの医学・医療への応用とセキュリティ (AI最新技術の活用例、Society 5.0)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	心理学統計法Ⅰ 第1回 データリテラシー入門 (調査データ、実験データ、ログデータ、1次データ、2次データ、データのメタ化、構造化データ、非構造化データ、オープンデータ) 医療必修 第9回 社会におけるデータ・AI活用 (データ・AI活用領域の広がり、仮説検証、調査データ、実験データ、ログデータ、1次データ、2次データ、データのメタ化、構造化データ、非構造化データ、オープンデータ、生成AI)
	1-3	医療必修 第9回 社会におけるデータ・AI活用 (データ・AI活用領域の広がり、仮説検証、調査データ、実験データ、ログデータ、1次データ、2次データ、データのメタ化、構造化データ、非構造化データ、オープンデータ、生成AI)
(3)様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	医療必修 第9回 社会におけるデータ・AI活用 医療必修 第13回 医療データ管理と病院管理・データ利活用の現場 医療必修 第14回 ICT・AIの医学・医療への応用とセキュリティ
	1-5	医療必修 第13回 医療データ管理と病院管理・データ利活用の現場 医療必修 第14回 ICT・AIの医学・医療への応用とセキュリティ

(4) 活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	医療必修 第10回 医の倫理と医療プロフェッショナリズム 医療必修 第11回 先端医療現場での倫理的問題と医療データを守る上での留意事項
	3-2	医療必修 第11回 先端医療現場での倫理的問題と医療データを守る上での留意事項 医療必修 第12回 保健・医療・福祉の専門職を目指す大学生に役立つコンピュータの基礎知識とメディア・リテラシー・インターネットリテラシー 医療必修 第15回 総括と討論および学習成果発表Ⅱ ―情報セキュリティインシデント演習
(5) 実データ・実課題 (学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	心理学統計法Ⅰ 第1回 データリテラシー入門 心理学統計法Ⅰ 第3回 データを読む(1)データの種類、データの分布と代表値 心理学統計法Ⅰ 第4回 データを読む(2)データのばらつき 心理学統計法Ⅰ 第5回 データを読む(3)相関と因果 心理学統計法Ⅰ 第6回 データを読む(4)母集団と標本抽出(国勢調査、アンケート調査) 心理学統計法Ⅰ 第7回 データを読む(5)クロス集計表、分割表
	2-2	心理学統計法Ⅰ 第11回 データを説明する(1)データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップなど) 心理学統計法Ⅰ 第12回 データを説明する(2)データの比較(条件をそろえた比較、A/Bテスト) 心理学統計法Ⅰ 第14回 データを説明する(3)可視化の事例 心理学統計法Ⅰ 第16回 グループワーク(1)データを収集、データを分析し可視化する 心理学統計法Ⅰ 第17回 グループワーク(2)データを読み説明する(プレゼン)
	2-3	心理学統計法Ⅰ 第8回 データを扱う(1)データの集計(和、平均) 心理学統計法Ⅰ 第9回 データを扱う(2)データの集計(条件で判断する) 心理学統計法Ⅰ 第10回 データを扱う(3)データの並べ替え(並べ替え、フィルタ)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

1. データ・AIによって、社会および日常生活が大きく変化していることを理解する。 2. データの特徴を読み解き、起きている事象の背景や意味合いを理解できる 3. データの比較対象を正しく設定し、数字を比べることができる 4. 適切な可視化手法を選択し、他者にデータを説明できる 5. 文献や現象を読み解き、それらの関係を分析・考察し表現することができる 6. スプレッドシート等を使って、小規模データ(数百件～数千件レベル)を集計・加工できる 7. データ・AI利活用における留意事項(個人情報保護法、EU一般データ保護規則(GDPR)、モラルや倫理、リスクなど)について理解する。
--

【参考】

⑫ 生成AIに関連する授業内容 ※該当がある場合に記載

教育プログラムを構成する科目に、「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム改訂版」(2024年2月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム)において追加された生成AIに関連するスキルセットの内容を含む授業(授業内で活用事例などを取り上げる、実際に使用してみるなど)がある場合に、どの科目でどのような授業をどのように実施しているかを記載してください。

※本項目は各大学の実践例を参考に何うものであり、認定要件とはなりません。

講義内容
「医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-」の第9回で、今後、生成AIが社会に与える影響について言及している。特に、医療分野への応用について言及している。

大学等名	国際医療福祉大学
プログラム名	国際医療福祉大学数理・データサイエンス・AI教育プログラム

① 教育プログラムの修了要件

学部・学科によって、修了要件は相違する

② 対象となる学部・学科名称

赤坂心理・医療福祉マネジメント学部医療マネジメント学科

③ 修了要件

以下3科目、合計5単位を修得すること。

- ・医療統計Ⅰ（統計理論・データリテラシー）【2単位】
- ・データ処理Ⅰ（初級・データリテラシー）【2単位】
- ・医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-【1単位】

必要最低科目数・単位数

3

科目

5

单位

履修必須の有無

令和5年度以前より、履修することが必須のプログラムとして実施

④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

[illegible]

⑤「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

[illegible]

⑥「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

[illegible]

⑦「活用に応じた様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

[illegible]

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
医療統計Ⅰ(統計理論・データリテラシー)	2	○	○								
データ処理Ⅰ(初級・データリテラシー)	2	○		○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	データ処理Ⅰ(初級・データリテラシー) 第1回～第4回 まず、データに触れてみよう(ビックデータ、IoT、第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会、データ量の増加) データ処理Ⅰ(初級・データリテラシー) 第5回 医療現場の課題解決に向けたAIの利用(AI、人間の知的活動とAIの関係性)
	1-6	医療必修 第14回 ICT・AIの医学・医療への応用とセキュリティ (AI最新技術の活用例、Society 5.0)
(2) 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	データ処理Ⅰ(初級・データリテラシー) 第1回～第4回 まず、データに触れてみよう(調査データ、実験データ、ログデータ、1次データ、2次データ、データのメタ化、構造化データ、非構造化データ、オープンデータ) データ処理Ⅰ(初級・データリテラシー) 第5回 医療現場の課題解決に向けたAIの利用 医療必修 第9回 社会におけるデータ・AI活用(データ・AI活用領域の広がり、仮説検証、調査データ、実験データ、ログデータ、1次データ、2次データ、データのメタ化、構造化データ、非構造化データ、オープンデータ、生成AI)
	1-3	医療必修 第9回 社会におけるデータ・AI活用(データ・AI活用領域の広がり、仮説検証、調査データ、実験データ、ログデータ、1次データ、2次データ、データのメタ化、構造化データ、非構造化データ、オープンデータ、生成AI)
(3) 様々なデータ利用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	医療必修 第9回 社会におけるデータ・AI活用 医療必修 第13回 医療データ管理と病院管理・データ利用の現場 医療必修 第14回 ICT・AIの医学・医療への応用とセキュリティ
	1-5	医療必修 第13回 医療データ管理と病院管理・データ利用の現場 医療必修 第14回 ICT・AIの医学・医療への応用とセキュリティ

(4) 活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	医療必修 第10回 医の倫理と医療プロフェッショナリズム 医療必修 第11回 先端医療現場での倫理的問題と医療データを守る上での留意事項
	3-2	医療必修 第11回 先端医療現場での倫理的問題と医療データを守る上での留意事項 医療必修 第12回 保健・医療・福祉の専門職を目指す大学生に役立つコンピュータの基礎知識とメディア・リテラシー・インターネットリテラシー 医療必修 第15回 総括と討論および学習成果発表Ⅱ ―情報セキュリティインシデント演習
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	医療統計Ⅰ(統計理論・データリテラシー) 第1回 記述統計1 医療統計Ⅰ(統計理論・データリテラシー) 第2回 記述統計2 医療統計Ⅰ(統計理論・データリテラシー) 第3回 記述統計3 医療統計Ⅰ(統計理論・データリテラシー) 第4回 確立と確率分布 医療統計Ⅰ(統計理論・データリテラシー) 第5回 相関 医療統計Ⅰ(統計理論・データリテラシー) 第6回 回帰分析1 医療統計Ⅰ(統計理論・データリテラシー) 第7回 回帰分析2
	2-2	データ処理Ⅰ(初級・データリテラシー) 第6回～第9回 BIツールを利用したデータの可視化に取り組もう データ処理Ⅰ(初級・データリテラシー) 第10回～第13回 データを生かしたレポートを作成しよう
	2-3	データ処理Ⅰ(初級・データリテラシー) 第1回～第4回 まず、データに触れてみよう(データの取得(機械判読可能なデータの作成)) データ処理Ⅰ(初級・データリテラシー) 第10回～第13回 データを生かしたレポートを作成しよう (データの取得、データの集計、データの並び替え)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

1. データ・AIによって、社会および日常生活が大きく変化していることを理解する。 2. データの特徴を読み解き、起きている事象の背景や意味合いを理解できる 3. データの比較対象を正しく設定し、数字を比べることができる 4. 適切な可視化手法を選択し、他者にデータを説明できる 5. 文献や現象を読み解き、それらの関係を分析・考察し表現することができる 6. スプレッドシート等を使って、小規模データ(数百件～数千件レベル)を集計・加工できる 7. データ・AI活用における留意事項(個人情報保護法、EU一般データ保護規則(GDPR)、モラルや倫理、リスクなど)について理解する。

【参考】

⑫ 生成AIに関連する授業内容 ※該当がある場合に記載

教育プログラムを構成する科目に、「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム改訂版」(2024年2月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム)において追加された生成AIに関連するスキルセットの内容を含む授業(授業内で活用事例などを取り上げる、実際に使用してみるなど)がある場合に、どの科目でどのような授業をどのように実施しているかを記載してください。

※本項目は各大学の実践例を参考に何うものであり、認定要件とはなりません。

講義内容
「医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-」の第9回で、今後、生成AIが社会に与える影響について言及している。特に、医療分野への応用について言及している。

プログラムを構成する授業科目について

- 福岡保健医療学部看護学科

- ③ 修了要件
- | |
|---|
| 以下2科目、合計2単位を修得すること。
・情報処理Ⅰ（基礎）【1単位】
・医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-【1単位】 |
|---|

必要最低科目数・単位数	2 科目	2 単位	履修必須の有無	令和5年度以前より、履修することが必須のプログラムとして実施
-------------	------	------	---------	--------------------------------

- ④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

[illegible]

- ⑤「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

[illegible]

- ⑥「様々なデータ利活用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

[illegible]

- ⑦「活用に応じた様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

[illegible]

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
情報処理 I (基礎)	1	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	情報処理 I (基礎) 第1回 データリテラシー入門(ビックデータ、IoT、AI、第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会、データ量の増加、人間の知的活動とAIの関係性)
	1-6	医療必修 第14回 ICT・AIの医学・医療への応用とセキュリティ (AI最新技術の活用例、Society 5.0)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	情報処理 I (基礎) 第1回 データリテラシー入門(調査データ、実験データ、ログデータ、1次データ、2次データ、データのメタ化、構造化データ、非構造化データ、オープンデータ) 医療必修 第9回 社会におけるデータ・AI活用 (データ・AI活用領域の広がり、仮説検証、調査データ、実験データ、ログデータ、1次データ、2次データ、データのメタ化、構造化データ、非構造化データ、オープンデータ、生成AI)
	1-3	医療必修 第9回 社会におけるデータ・AI活用 (データ・AI活用領域の広がり、仮説検証、調査データ、実験データ、ログデータ、1次データ、2次データ、データのメタ化、構造化データ、非構造化データ、オープンデータ、生成AI)
(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	医療必修 第9回 社会におけるデータ・AI活用 医療必修 第13回 医療データ管理と病院管理・データ利活用の現場 医療必修 第14回 ICT・AIの医学・医療への応用とセキュリティ
	1-5	医療必修 第13回 医療データ管理と病院管理・データ利活用の現場 医療必修 第14回 ICT・AIの医学・医療への応用とセキュリティ

(4) 活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	医療必修 第10回 医の倫理と医療プロフェッショナリズム 医療必修 第11回 先端医療現場での倫理的問題と医療データを守る上での留意事項
	3-2	医療必修 第11回 先端医療現場での倫理的問題と医療データを守る上での留意事項 医療必修 第12回 保健・医療・福祉の専門職を目指す大学生に役立つコンピュータの基礎知識とメディア・リテラシー・インターネットリテラシー 医療必修 第15回 総括と討論および学習成果発表Ⅱ ―情報セキュリティインシデント演習
(5) 実データ・実課題 (学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	情報処理Ⅰ(基礎) 第1回 データリテラシー入門 情報処理Ⅰ(基礎) 第2回 データを読む(1)データの種類、データの分布と代表値 情報処理Ⅰ(基礎) 第3回 データを読む(2)データのばらつき 情報処理Ⅰ(基礎) 第4回 データを読む(3)相関と因果 情報処理Ⅰ(基礎) 第5回 データを読む(4)母集団と標本抽出(国勢調査、アンケート調査) 情報処理Ⅰ(基礎) 第6回 データを読む(5)クロス集計表、分割表
	2-2	情報処理Ⅰ(基礎) 第10回 データを説明する(1)データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップなど) 情報処理Ⅰ(基礎) 第11回 データを説明する(2)データの比較(条件をそろえた比較、A/Bテスト) 情報処理Ⅰ(基礎) 第12回 データを説明する(3)可視化の事例 情報処理Ⅰ(基礎) 第13回 グループワーク(1)データを収集 情報処理Ⅰ(基礎) 第14回 グループワーク(2)データを分析し可視化する 情報処理Ⅰ(基礎) 第15回 グループワーク(3)データを読み説明する(プレゼン)
	2-3	情報処理Ⅰ(基礎) 第7回 データを扱う(1)データの集計(和、平均) 情報処理Ⅰ(基礎) 第8回 データを扱う(2)データの集計(条件で判断する) 情報処理Ⅰ(基礎) 第9回 データを扱う(3)データの並べ替え(並べ替え、フィルタ)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

1. データ・AIによって、社会および日常生活が大きく変化していることを理解する。 2. データの特徴を読み解き、起きている事象の背景や意味合いを理解できる 3. データの比較対象を正しく設定し、数字を比べることができる 4. 適切な可視化手法を選択し、他者にデータを説明できる 5. 文献や現象を読み解き、それらの関係を分析・考察し表現することができる 6. スプレッドシート等を使って、小規模データ(数百件～数千件レベル)を集計・加工できる 7. データ・AI活用における留意事項(個人情報保護法、EU一般データ保護規則(GDPR)、モラルや倫理、リスクなど)について理解する。

【参考】

⑫ 生成AIに関連する授業内容 ※該当がある場合に記載

教育プログラムを構成する科目に、「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム改訂版」(2024年2月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム)において追加された生成AIに関連するスキルセットの内容を含む授業(授業内で活用事例などを取り上げる、実際に使用してみるなど)がある場合に、どの科目でどのような授業をどのように実施しているかを記載してください。

※本項目は各大学の実践例を参考に何うものであり、認定要件とはなりません。

講義内容
「医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-」の第9回で、今後、生成AIが社会に与える影響について言及している。特に、医療分野への応用について言及している。

大学等名	国際医療福祉大学
プログラム名	国際医療福祉大学数理・データサイエンス・AI教育プログラム

① 教育プログラムの修了要件

学部・学科によって、修了要件は相違する

② 対象となる学部・学科名称

福岡薬学部

③ 修了要件

以下4科目、合計6単位を修得すること。

- ・情報処理【1単位】
- ・医薬品情報学Ⅰ（医薬品情報の収集と活用）【2単位】
- ・医薬品情報学Ⅱ（EBMと臨床研究）【1単位】
- ・病院・薬局事前実習Ⅰ（実務実習で必要な基本的知識）【2単位】

必要最低科目数・単位数

4

科目

6

单位

履修必須の有無

令和5年度以前より、履修することが必須のプログラムとして実施

④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

[illegible]

⑤「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

[illegible]

⑥「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

[illegible]

⑦「活用に応じた様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

[illegible]

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
情報処理	1	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	情報処理 第2回 情報リテラシー(2)データリテラシー入門(ビックデータ、IoT、AI、第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会、データ量の増加、人間の知的活動とAIの関係性)
	1-6	医薬品情報学Ⅱ 第7回 ICT・AIの医学・医療への応用とセキュリティ(AI最新技術の活用例、Society 5.0)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	情報処理 第2回 情報リテラシー(2)データリテラシー入門(調査データ、実験データ、ログデータ、1次データ、2次データ、データのメタ化、構造化データ、非構造化データ、オープンデータ) 医薬品情報学Ⅱ 第6回 社会におけるデータ・AI活用(データ・AI活用領域の広がり、仮説検証、調査データ、実験データ、ログデータ、1次データ、2次データ、データのメタ化、構造化データ、非構造化データ、オープンデータ、生成AI)
	1-3	医薬品情報学Ⅱ 第6回 社会におけるデータ・AI活用(データ・AI活用領域の広がり、仮説検証、調査データ、実験データ、ログデータ、1次データ、2次データ、データのメタ化、構造化データ、非構造化データ、オープンデータ、生成AI)
(3)様々なデータ利活用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	医薬品情報学Ⅰ 第12回 医療データ管理と病院管理・データ利活用の現場 医薬品情報学Ⅱ 第6回 社会におけるデータ・AI活用 医薬品情報学Ⅱ 第7回 ICT・AIの医学・医療への応用とセキュリティ
	1-5	医薬品情報学Ⅰ 第12回 医療データ管理と病院管理・データ利活用の現場 医薬品情報学Ⅱ 第7回 ICT・AIの医学・医療への応用とセキュリティ

(4)活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	病院・薬局事前実習Ⅰ 第51回～第56回 医の倫理と医療プロフェッショナリズム 病院・薬局事前実習Ⅰ 第51回～第56回 先端医療現場での倫理的問題と医療データを守る上での留意事項
	3-2	医薬品情報学Ⅰ 第4回 保健・医療・福祉の専門職を目指す大学生に役立つコンピュータの基礎知識とメディア・リテラシー・インターネットリテラシー 病院・薬局事前実習Ⅰ 第51回～第56回 先端医療現場での倫理的問題と医療データを守る上での留意事項
(5)実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	情報処理 第2回 情報リテラシー(2)データリテラシー入門 情報処理 第5回 データを読む(1)データの種類、データの分布と代表値、データのばらつき 情報処理 第6回 データを読む(2)相関と因果、母集団と標本抽出、クロス集計表
	2-2	情報処理 第8回 データを説明する(1)データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップなど) 情報処理 第9回 グループワーク(1)データを収集 情報処理 第10回 グループワーク(2)データを分析し可視化する 情報処理 第12回 データを説明する(2)データの比較、配座解析、分子の構造最適化 情報処理 第13回 データを説明する(3)可視化の事例、生体高分子の表示、医薬品結合部位の表示・解析 情報処理 第14回 総合演習(1)データを収集・分析し可視化する 情報処理 第15回 総合演習(2)データを収集・分析し説明する
	2-3	情報処理 第7回 データを扱う(1)データの集計(和、平均、条件判断で判断する)、データの並べ替え(並べ替え、フィルタ) 情報処理 第11回 データを扱う(2)データの抽出・表示、化学情報の抽出・表示

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

1. データ・AIによって、社会および日常生活が大きく変化していることを理解する。 2. データの特徴を読み解き、起きている事象の背景や意味合いを理解できる 3. データの比較対象を正しく設定し、数字を比べることができる 4. 適切な可視化手法を選択し、他者にデータを説明できる 5. 文献や現象を読み解き、それらの関係を分析・考察し表現することができる 6. スプレッドシート等を使って、小規模データ(数百件～数千件レベル)を集計・加工できる 7. データ・AI活用における留意事項(個人情報保護法、EU一般データ保護規則(GDPR)、モラルや倫理、リスクなど)について理解する。

【参考】

⑫ 生成AIに関連する授業内容 ※該当がある場合に記載

教育プログラムを構成する科目に、「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム改訂版」(2024年2月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム)において追加された生成AIに関連するスキルセットの内容を含む授業(授業内で活用事例などを取り上げる、実際に使用してみるなど)がある場合に、どの科目でどのような授業をどのように実施しているかを記載してください。

※本項目は各大学の実践例を参考に何うものであり、認定要件とはなりません。

講義内容
「医薬品情報学Ⅱ(EBMと臨床研究)」の第6回で、今後、生成AIが社会に与える影響について言及している。特に、医療分野への応用について言及している。

[illegible]

大学等名 国際医療福祉大学

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

① 全学の教員数 (常勤) 1112 人 (非常勤) 210 人

② プログラムの授業を教えている教員数 34 人

③ プログラムの運営責任者

(責任者名) 西田 裕介

(役職名) 総合教育センター長

④ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)

教務統括委員会

(責任者名) 三浦 総一郎

(役職名) 専務理事

⑤ プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

国際医療福祉大学教務委員会規程

⑥ 体制の目的

データを活用し社会の課題を発見、解決できる人材を育成することを目的に、数理・データサイエンス・AI教育の全学的な普及、関連科目の整備を行い、学内共同施設として教務統括委員会内にワーキンググループを設置する。本部門では医療分野における統計学と情報工学を融合した人材の育成を目的に数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、かつ、それらを適切に理解し、活用する基礎的な能力を育成することを目的とする。さらに医療情報に関する今日の基本的な知識と扱い方を学習することにより、医療系学生として、将来、各専門分野で活躍するために必要な医療情報リテラシー、および医療データリテラシーに関する能力を高めることを目的とする。

⑦ 具体的な構成員

総合教育センター長 西田裕介
総合教育センター 教授 宮嶋宏行
ワーキンググループ構成委員として
専務理事 三浦総一郎
教務企画部 秋田裕貴

大田原キャンパス
教務委員長 教授 橋本光康
教授 島田直樹
准教授 石川 徹

成田キャンパス
教務委員長 教授 西田裕介
教授 宮嶋宏行
教授 稲垣誠一
准教授 岡村直利

東京赤坂キャンパス
教務委員長 教授 石川ベンジャミン光一
准教授 篠原信夫

小田原キャンパス
教務委員長 石村佳代子
講師 永井 朋子

大川キャンパス
教務委員長 教授 佐藤謙一
准教授 安本誠一
准教授 吉武康之
講師 上野民生

⑧ 履修者数・履修率の向上に向けた計画 ※様式1の「履修必須の有無」で「計画がある」としている場合は詳細について記載すること

令和5年度実績	24%	令和6年度予定	50%	令和7年度予定	70%
令和8年度予定	90%	令和9年度予定	100%	収容定員(名)	8,830
具体的な計画					
令和4年度まで情報処理Ⅰ、情報処理Ⅱ、情報処理Ⅲ、統計学など、学部・学科で科目名とシラバスがばらばらであったものを、令和4年度に全学部代表者からなるワーキンググループを立ち上げ統一プログラム導入を検討した。その結果、令和5年度よりプログラムを構成する「データリテラシー」「医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-」を全学必修化し、数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)に関する内容を提供する。また令和6年度より「医療データサイエンスⅠ(DS基礎)」「医療データサイエンスⅡ(AI基礎)」を選択科目として全学に設置する。この2つの科目により数理・データサイエンス・AI(応用基礎)に関する内容を提供する。 本プログラムの目標を実現するために、ワーキンググループでは、令和5年度より、学生学修支援のためのWEBサイト、授業動画配信および受講管理システムを立ち上げ、授業時間内外での学習指導、質問を受け付ける仕組みや教育上の工夫、学生指導・支援等の学修サポートを実施し、学生のプログラム履修を促進する。					

⑨ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

ワーキンググループの設置により全学的な教育コンテンツを作成支援し、プログラムの基礎部分である科目「医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-」については全学生がオンラインで受講できるようオンデマンド教材を整備した。また5つの各キャンパス内にプログラム運営に関わる科目責任者および教務職員を配置し、キャンパス内の学部学生の履修を支援・促進している。またワーキンググループは、各キャンパスの運営課題を集約し、全学で統一されたプログラムの運用を支援する。

⑩ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

入学後のガイダンスでの周知や、本学のWEBサイトホームページトップ画面にプログラム専用ページへのリンクを掲載して、学生が情報を受け取りやすい環境を整備している。各キャンパスで学生が履修できるように授業を開講する。ワーキンググループでは各キャンパスの統一された授業内容の運営に関して定期的な意見交換会を開催している。
--

⑪ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

本教育プログラムの授業について、学習管理システムにアーカイブを蓄積し、多くの学生がいつでも講義の閲覧が可能な環境を構築している。受講後には確認テストの受験も義務付ける。

⑫ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

本教育プログラムについての履修を学習管理システムにて管理し、学生は授業時間以外に不明点等を、学習管理システムを通じて確認することができ、質問はGoogle Classroomを通して科目責任者が返答する体制を整備している。

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制（委員会・組織等）

自己点検・評価委員会	
（責任者名）	西田 裕介
（役職名）	総合教育センター長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点		自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等																																																																																																																	
学内からの視点																																																																																																																			
プログラムの履修・修得状況	国際医療福祉大学数理・データサイエンス・AI教育プログラムでは、全学部・学科において、プログラムを構成する授業科目を必修科目として開講し、卒業までに全ての授業科目の単位を取得した場合にプログラム修了とする。2023年度(令和5年度)の履修・修得状況は以下のとおりである。 ※完成年度前・直後の一部の学部・学科では、「データリテラシー」及び「医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報(以下、「医療必修」とする。)」を次の科目で読替えて、必修科目として開講している。将来的に、プログラムを構成する授業科目を全学で統一することを検討している。 ※これ以降の項目での「データリテラシー」及び「医療必修」についても、次の科目群を含めたものである。 【データリテラシー】 ・成田保健医療学部放射線・情報科学科・・・「情報処理Ⅱ(基礎)」 ・赤坂心理・医療福祉マネジメント学部心理学科・・・「心理学統計法Ⅰ(単変量解析講義・データリテラシー)」 ・赤坂心理・医療福祉マネジメント学部医療マネジメント学科・・・「医療統計Ⅰ(統計理論・データリテラシー)」及び「データ処理Ⅰ(初級・データリテラシー)」 ・福岡保健医療部看護学科・・・「情報処理Ⅰ(基礎)」 ・福岡薬学部薬学科・・・「情報処理」 【医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報】 ・福岡薬学部薬学科・・・「医薬品情報学Ⅰ(医薬品情報の収集と活用)」、「医薬品情報学Ⅱ(EBMと臨床研究)」及び「病院・薬局事前実習Ⅰ(実務実習で必要な基本的知識)」																																																																																																																		
	<table><tr><th>学部・学科名称</th><th>学生数</th><th>入学 定員</th><th>収容 定員</th><th>令和5年度 履修者数 修了者数</th><th>履修者数 合計</th><th>履修率</th></tr><tr><td>保健医療学部</td><td>2,201</td><td>535</td><td>2,140</td><td>551</td><td>453</td><td>551</td><td>26%</td></tr><tr><td>医療福祉学部</td><td>566</td><td>140</td><td>570</td><td>134</td><td>132</td><td>134</td><td>24%</td></tr><tr><td>薬学部</td><td>1,060</td><td>180</td><td>1,080</td><td>189</td><td>184</td><td>189</td><td>18%</td></tr><tr><td>赤坂心理・医療福祉マネジメント学部</td><td>474</td><td>120</td><td>480</td><td>121</td><td>115</td><td>121</td><td>25%</td></tr><tr><td>医学部</td><td>830</td><td>140</td><td>840</td><td>142</td><td>115</td><td>142</td><td>17%</td></tr><tr><td>成田看護学部</td><td>425</td><td>100</td><td>400</td><td>102</td><td>98</td><td>102</td><td>26%</td></tr><tr><td>成田保健医療学部</td><td>1,213</td><td>290</td><td>1,160</td><td>307</td><td>301</td><td>307</td><td>26%</td></tr><tr><td>小田原保健医療学部</td><td>855</td><td>200</td><td>800</td><td>217</td><td>216</td><td>217</td><td>27%</td></tr><tr><td>福岡保健医療学部</td><td>912</td><td>220</td><td>880</td><td>229</td><td>223</td><td>229</td><td>26%</td></tr><tr><td>福岡薬学部</td><td>487</td><td>120</td><td>480</td><td>123</td><td>0</td><td>123</td><td>26%</td></tr></table>							学部・学科名称	学生数	入学 定員	収容 定員	令和5年度 履修者数 修了者数	履修者数 合計	履修率	保健医療学部	2,201	535	2,140	551	453	551	26%	医療福祉学部	566	140	570	134	132	134	24%	薬学部	1,060	180	1,080	189	184	189	18%	赤坂心理・医療福祉マネジメント学部	474	120	480	121	115	121	25%	医学部	830	140	840	142	115	142	17%	成田看護学部	425	100	400	102	98	102	26%	成田保健医療学部	1,213	290	1,160	307	301	307	26%	小田原保健医療学部	855	200	800	217	216	217	27%	福岡保健医療学部	912	220	880	229	223	229	26%	福岡薬学部	487	120	480	123	0	123	26%																					
	学部・学科名称	学生数	入学 定員	収容 定員	令和5年度 履修者数 修了者数	履修者数 合計	履修率																																																																																																												
保健医療学部	2,201	535	2,140	551	453	551	26%																																																																																																												
医療福祉学部	566	140	570	134	132	134	24%																																																																																																												
薬学部	1,060	180	1,080	189	184	189	18%																																																																																																												
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部	474	120	480	121	115	121	25%																																																																																																												
医学部	830	140	840	142	115	142	17%																																																																																																												
成田看護学部	425	100	400	102	98	102	26%																																																																																																												
成田保健医療学部	1,213	290	1,160	307	301	307	26%																																																																																																												
小田原保健医療学部	855	200	800	217	216	217	27%																																																																																																												
福岡保健医療学部	912	220	880	229	223	229	26%																																																																																																												
福岡薬学部	487	120	480	123	0	123	26%																																																																																																												
学修成果	国際医療福祉大学数理・データサイエンス・AI教育プログラムでは、全科目共通で実施している学期末の「授業アンケート」および「データリテラシー」科目で「履修前アンケート」、「履修後アンケート」を実施している。主に学修成果は同じ内容の「履修前アンケート」と「履修後アンケート」で確認している。また授業の中ではGoogle Classroom等を利用して課題や小テストを実施し各学生の修得状況を確認している。																																																																																																																		
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	<table><tr><th>設問</th><th>A. 履修前 はい</th><th>B. 履修後 はい</th><th>B - A</th></tr><tr><td>1. コピー・貼り付けができる。</td><td>78%</td><td>99%</td><td>21%</td></tr><tr><td>2. アルファベットの大文字と小文字を区別して入力できる。例) ABCD、abcd</td><td>98%</td><td>100%</td><td>1%</td></tr><tr><td>3. 文字の半角と全角を区別して入力できる。例) ABCD、A B C D、1234、1 2 3 4</td><td>91%</td><td>100%</td><td>9%</td></tr><tr><td>4. 文字の書式(フォント、サイズ)を変更できる。例) 国際医療福祉大学(10pt) →</td><td>68%</td><td>100%</td><td>31%</td></tr><tr><td>5. 1ページの文字数と行数を設定できる。</td><td>35%</td><td>89%</td><td>54%</td></tr><tr><td>6. 文章の行間の変更ができる。</td><td>60%</td><td>93%</td><td>33%</td></tr><tr><td>7. インデントの指定ができる。</td><td>9%</td><td>58%</td><td>49%</td></tr><tr><td>8. ページ番号を挿入できる。</td><td>19%</td><td>83%</td><td>64%</td></tr><tr><td>9. 4行3列の表を作成できる。</td><td>37%</td><td>97%</td><td>60%</td></tr><tr><td>10. 表のレイアウト(列幅や行の高さの変更、セルの結合や分割など)を変更できる。</td><td>36%</td><td>98%</td><td>61%</td></tr><tr><td>11. 文章中に図または写真を挿入できる。</td><td>69%</td><td>99%</td><td>29%</td></tr><tr><td>12. ファイル名を指定して文章を保存できる。</td><td>70%</td><td>98%</td><td>28%</td></tr><tr><td>13. 表のデータについて、表示形式(セルの書式)を変更できる。例) 2020/4/1 →</td><td>19%</td><td>72%</td><td>53%</td></tr><tr><td>14. 行や列の削除や挿入ができる。</td><td>47%</td><td>95%</td><td>48%</td></tr><tr><td>15. 表のデータについて、関数を利用して合計を計算できる。</td><td>25%</td><td>97%</td><td>72%</td></tr><tr><td>16. 表のデータについて、割合を計算し、パーセント表示できる。</td><td>17%</td><td>92%</td><td>75%</td></tr><tr><td>17. 表のデータをもとに棒グラフを作成できる。</td><td>32%</td><td>99%</td><td>67%</td></tr><tr><td>18. 棒グラフと折れ線グラフからなる複合グラフを作成できる。</td><td>19%</td><td>81%</td><td>62%</td></tr><tr><td>19. 条件付き書式を設定できる。</td><td>7%</td><td>62%</td><td>55%</td></tr><tr><td>20. 相対参照と絶対参照の使い分けができる。</td><td>4%</td><td>41%</td><td>37%</td></tr><tr><td>21. データの並べ替えと抽出ができる。</td><td>13%</td><td>84%</td><td>71%</td></tr><tr><td>22. 度数分布表、ヒストグラム、箱ひげ図を作成し、その意味を説明できる。</td><td>22%</td><td>75%</td><td>53%</td></tr><tr><td>23. 散布図を作成し、その意味を説明できる。</td><td>17%</td><td>77%</td><td>60%</td></tr><tr><td>24. アンケート調査結果についてクロス集計ができる。</td><td>3%</td><td>29%</td><td>26%</td></tr><tr><td>25. 正規分布と標準正規分布の違いについて説明できる。</td><td>3%</td><td>21%</td><td>18%</td></tr><tr><td>平均</td><td>36%</td><td>82%</td><td>46%</td></tr></table>							設問	A. 履修前 はい	B. 履修後 はい	B - A	1. コピー・貼り付けができる。	78%	99%	21%	2. アルファベットの大文字と小文字を区別して入力できる。例) ABCD、abcd	98%	100%	1%	3. 文字の半角と全角を区別して入力できる。例) ABCD、A B C D、1234、1 2 3 4	91%	100%	9%	4. 文字の書式(フォント、サイズ)を変更できる。例) 国際医療福祉大学(10pt) →	68%	100%	31%	5. 1ページの文字数と行数を設定できる。	35%	89%	54%	6. 文章の行間の変更ができる。	60%	93%	33%	7. インデントの指定ができる。	9%	58%	49%	8. ページ番号を挿入できる。	19%	83%	64%	9. 4行3列の表を作成できる。	37%	97%	60%	10. 表のレイアウト(列幅や行の高さの変更、セルの結合や分割など)を変更できる。	36%	98%	61%	11. 文章中に図または写真を挿入できる。	69%	99%	29%	12. ファイル名を指定して文章を保存できる。	70%	98%	28%	13. 表のデータについて、表示形式(セルの書式)を変更できる。例) 2020/4/1 →	19%	72%	53%	14. 行や列の削除や挿入ができる。	47%	95%	48%	15. 表のデータについて、関数を利用して合計を計算できる。	25%	97%	72%	16. 表のデータについて、割合を計算し、パーセント表示できる。	17%	92%	75%	17. 表のデータをもとに棒グラフを作成できる。	32%	99%	67%	18. 棒グラフと折れ線グラフからなる複合グラフを作成できる。	19%	81%	62%	19. 条件付き書式を設定できる。	7%	62%	55%	20. 相対参照と絶対参照の使い分けができる。	4%	41%	37%	21. データの並べ替えと抽出ができる。	13%	84%	71%	22. 度数分布表、ヒストグラム、箱ひげ図を作成し、その意味を説明できる。	22%	75%	53%	23. 散布図を作成し、その意味を説明できる。	17%	77%	60%	24. アンケート調査結果についてクロス集計ができる。	3%	29%	26%	25. 正規分布と標準正規分布の違いについて説明できる。	3%	21%	18%	平均	36%	82%	46%
設問	A. 履修前 はい	B. 履修後 はい	B - A																																																																																																																
1. コピー・貼り付けができる。	78%	99%	21%																																																																																																																
2. アルファベットの大文字と小文字を区別して入力できる。例) ABCD、abcd	98%	100%	1%																																																																																																																
3. 文字の半角と全角を区別して入力できる。例) ABCD、A B C D、1234、1 2 3 4	91%	100%	9%																																																																																																																
4. 文字の書式(フォント、サイズ)を変更できる。例) 国際医療福祉大学(10pt) →	68%	100%	31%																																																																																																																
5. 1ページの文字数と行数を設定できる。	35%	89%	54%																																																																																																																
6. 文章の行間の変更ができる。	60%	93%	33%																																																																																																																
7. インデントの指定ができる。	9%	58%	49%																																																																																																																
8. ページ番号を挿入できる。	19%	83%	64%																																																																																																																
9. 4行3列の表を作成できる。	37%	97%	60%																																																																																																																
10. 表のレイアウト(列幅や行の高さの変更、セルの結合や分割など)を変更できる。	36%	98%	61%																																																																																																																
11. 文章中に図または写真を挿入できる。	69%	99%	29%																																																																																																																
12. ファイル名を指定して文章を保存できる。	70%	98%	28%																																																																																																																
13. 表のデータについて、表示形式(セルの書式)を変更できる。例) 2020/4/1 →	19%	72%	53%																																																																																																																
14. 行や列の削除や挿入ができる。	47%	95%	48%																																																																																																																
15. 表のデータについて、関数を利用して合計を計算できる。	25%	97%	72%																																																																																																																
16. 表のデータについて、割合を計算し、パーセント表示できる。	17%	92%	75%																																																																																																																
17. 表のデータをもとに棒グラフを作成できる。	32%	99%	67%																																																																																																																
18. 棒グラフと折れ線グラフからなる複合グラフを作成できる。	19%	81%	62%																																																																																																																
19. 条件付き書式を設定できる。	7%	62%	55%																																																																																																																
20. 相対参照と絶対参照の使い分けができる。	4%	41%	37%																																																																																																																
21. データの並べ替えと抽出ができる。	13%	84%	71%																																																																																																																
22. 度数分布表、ヒストグラム、箱ひげ図を作成し、その意味を説明できる。	22%	75%	53%																																																																																																																
23. 散布図を作成し、その意味を説明できる。	17%	77%	60%																																																																																																																
24. アンケート調査結果についてクロス集計ができる。	3%	29%	26%																																																																																																																
25. 正規分布と標準正規分布の違いについて説明できる。	3%	21%	18%																																																																																																																
平均	36%	82%	46%																																																																																																																

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
	0%10%20%30%40%50%60%70%80%90%100% 9. 社会におけるデータ・AI活用 21%42%24%9%5% 10. 医の倫理と医療プロフェッショナリズム・医療情報を扱う上での留意点 22%51%18%5%3% 11. 先端医療現場での倫理的問題と医療データを守る上での留意事項 22%52%18%6%2% 12. 保健・医療・福祉の専門職を目指す大学生に役立つコンピュータの基礎... 25%51%17%6%2% 13. 医療データ管理と病院管理・データ利活用の現場 20%50%23%5%2% 14. ICT・AIの医学・医療への応用とセキュリティ 23%51%23%3%0% 5 とてもそう思う 4 そう思う 3 どちらでもない 2 そう思わない 1 まったくそう思わない
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	1年次終了時に、本プログラムに関して「1. リテラシーとしての数理・データサイエンス・AI教育は重要と考えますか」、「2. 本学の数理・データサイエンス・AI教育を後輩等他の学生への推奨しますか」の2つの質問を行った。「とてもそう思う」、「そう思う」を合わせると、それぞれの質問ともに90%を超えていることから、本プログラムの必要性を理解し、後輩学生にも薦めたいと多くの学生が考えていることが分かる。 0%20%40%60%80%100% リテラシーとしての数理・データサイエンス・AI教育は重要と考えますか 43%55%2%0% 本学の数理・データサイエンス・AI教育を後輩等他の学生への推奨しますか 30%59%9%3% 5 とてもそう思う 4 そう思う 3 そう思わない 2 まったくそう思わない
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	国際医療福祉大学数理・データサイエンス・AI教育プログラムを構成する「データリテラシー」「医療必修」の2科目が2023年度より必修科目としており、履修率は100%である。
学外からの視点	
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	国際医療福祉大学数理・データサイエンス・AI教育プログラムを構成する科目は、2023年度開始したため修了生は在学中である。2027年度以降、卒業アンケートにより修了生の活躍状況・企業からの評価を調査する予定である。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	2023年度に公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構とデータ提供に関する協定を結び、「年金加入履歴に基づく新型コロナウイルス感染症の影響調査」のデータを数理・データサイエンス・AI教育に関連する科目の実習教材として利用する体制を構築した。この協定を利用して2024年度以降に「産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見」を本プログラムへ反映させていく予定である。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	各学期末に実施する授業アンケートでは、「9.総合的にこの演習・グループワークには満足だった」の設問に対して、「そう思う」「ややそう思う」の回答が「データリテラシー」、「医療必修」共に90%を超え、演習・グループワークについては「数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること」は浸透させることが一定程度達成できたと考えられる。 0%20%40%60%80%100% データリテラシー 63%30%5%2% 医療必修 61%33%5%1% 5 そう思う 4 ややそう思う 3 あまりそう思わない 2 そう思わない
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	授業担当者、教務委員会、および教務課職員からなるワーキンググループを構成し、授業担当教員の意見や学生アンケートの結果を参考に、学生にとって「分かりやすさ」の観点から講義内容や実施方法を見直す活動を各学期に実施している。また、内容や水準を維持向上し「分かりやすい」授業とするために「数理・データサイエンス・AI」のクラスルームを作成し、担当教職員間で教材やアンケートの集計結果を共有している。生成AI等の新しい内容の追加については、シラバスの変更を伴わない範囲で授業内容の見直しを常に図っていきたい。
※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載	

国際医療福祉大学 授業計画（シラバス）					キャンパス		成田キャンパス								
科目名		データリテラシー（NS）				授業開始年度		2023							
科目担当責任者		宮嶋 宏行		科目担当者											
学科		看護学科			学年		1学年		期		前期				
曜日時限		火曜4限		必修／選択		必修		単位数		1		時間数		30	
授業の形態		☐ 講義 ☒ 演習 ☐ 実習 ☐ 実験 ☐ 実技 ☐ その他（													

第3回	データを読む（２）データのばらつき		
第4回	データを読む（３）相関と因果		
第5回	データを読む（４）母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査）		
第6回	データを読む（５）クロス集計表、分割表		
第7回	データを扱う（１）データの集計（和、平均）		
第8回	データを扱う（２）データの集計（条件で判断する）		
第8回	データを扱う（３）データの並べ替え（並べ替え、フィルタ）		
第10回	データを説明する（１）データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップなど）		
第11回	データを説明する（２）データの比較（条件をそろえた比較、A/Bテスト）		
第12回	データを説明する（３）可視化の事例		
第13回	グループワーク（１）データを収集	B	
第14回	グループワーク（２）データを分析し可視化する	B	
第15回	グループワーク（３）データを読み説明する（プレゼン）	C	

	<第15回> 成績評価：24点（GW参加度：9点＋レポート15点）
--	--------------------------------------

本授業に関連する実務経験等	
実務経験等の授業への展開	各教員が実務経験に基づき授業展開する。
オフィスアワー	長沢：水曜日および木曜日の午後（A312）又は各グループ教員
その他	

授業計画			
回数	内容	対応するAL	担当
第1回 <VOD>	医学の基本（病気にどう立ち向かうか） ー疾病へのアプローチ、診断法、検査から治療への道筋、治療法をどのように選択するか	－	下川 宏明
第2回 <VOD>	がんと闘う（悪性腫瘍への挑戦） ーがんとは何か？、がんの原因、日本人のがんの疫学、がんの早期発見、がんの治療戦略、がん医療の進歩と展望）	－	宮崎 勝 潮見 隆之 河上 裕
第3回 <VOD>	患者中心の医療の実現のためにーインフォームド・コンセント（IC） ー様々な場面におけるIC（高齢者、小児、終末期）、医療従事者・患者関係、病名告知、その他（EBMとNBM、協働意思決定、臨床倫理の原則など）	－	荻野 美恵子
第4回 <VOD>	死と再生を巡る生命倫理 ーターミナルケア・緩和ケア、安楽死と尊厳死、死生観について、医学的無益性の議論、脳死と臓器移植、再生医療	－	戸松 義晴
第5回 <VOD>	医薬品の安全管理 ー医薬品安全を守るためにどうしたらいいか、医薬品副作用と救済制度	－	百瀬 泰行 中村 裕義（三田病院） 池田 賢二（成田病院）
第6回 <VOD>	医療安全とそれを守るために ー医療安全について、医療安全の予防策、医療事故発生時の対応とその再発防止、医療安全体制の構築（安全文化の醸成）	－	宮田 哲郎 矢島 鉄也（特任）
第7回 <VOD>	医療事故の実際とその法的解釈 ー医療・介護事故の事例提示とその法的解釈（ケーススタディーなど）	－	西内 岳
第8回 <対面>	総括と討論および学習成果発表！ （医療事故に関してのケーススタディーを行い事故防止策について発表・議論を行う）	B	各キャンパス学部長・学科長
第9回 <VOD>	社会におけるデータ・AI利活用 ー事業活動におけるデータ・AI利活用の広がり（生産、消費、文化活動など）、活用目的ごとのデータ・AI活用の広がり（仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替など）、データ・AI利活用のための技術（データ解析、非構造化データ処理、データ可視化、パターン認識技術、特化型AIと汎用AI）	－	三浦 総一郎 宮嶋 宏行
第10回 <VOD>	医の倫理と医療プロフェッショナリズム・医療情報を扱う上での留意点 ー医の倫理の歴史、医療プロフェッショナリズムの涵養、医療職の社会的責任、個人情報保護（守秘義務）、利益相反や情報開示、臨床試験と倫理（医薬品・医療機器に関する法規制）、研究倫理、医療サービスにおける法律と倫理（ELSI、GDPR、忘れられる権利、オプトアウト、データ倫理、AI社会原則など）	－	天野 隆弘 宮嶋 宏行
第11回 <VOD>	先端医療現場での倫理的問題と医療データを守る上での留意事項 ーゲノム医療の問題点、生殖医療（出生以前診断）をめぐる話題、エンハンスメント、情報科学技術の発展に伴う倫理的問題点など(情報セキュリティ、匿名加工情報、暗号化、悪意ある情報搾取、セキュリティ事故の事例紹介など)	－	藤井 知行 辻 省次 西垣 昌和 宮嶋 宏行

第12回 ＜VOD＞	保健・医療・福祉の専門職を目指す大学生に役立つコンピュータの基礎知識とメディア・リテラシー・インターネットリテラシー ーコンピュータの仕組み、どのように活かすのか、データ処理方法と今後の展開、VDT作業障害について、メディアリテラシーについて、インターネットとWEBの基礎知識	ー	篠原 信夫 高須賀 茂人 宮嶋 宏行
第13回 ＜VOD＞	医療データ管理と病院管理・データ利活用の現場 ー病院管理はなぜ必要か？診療情報の意義と利用法、限りある資源を無駄にしないために（医療資源の配分）、医療データサイエンス（データ解析や可視化してどう役立てるか）、データサイエンスのサイクル	ー	山本 康弘 石川ベンジャミン光一 宮嶋 宏行
第14回 ＜VOD＞	ICT・AIの医学・医療への応用とセキュリティー ー（AI技術・VR・AR技術・ロボット技術・遠隔診断などの臨床・教育への応用）、AI利活用のための技術、AI利活用の最新動向、AIサービスの責任論、AI活用の負の事例紹介など		田村雄一 西田 裕介 桐生 茂、 （飯塚 統 : コメント） 宮嶋 宏行
第15回 ＜対面＞	総括と討論および学習成果発表Ⅱ ー情報セキュリティ・インシデント演習	B	宮嶋 宏行

国際医療福祉大学 授業計画（シラバス）					キャンパス	成田キャンパス	
科目名	情報処理Ⅱ（基礎）（RT）				授業開始年度	2023	
科目担当責任者	宮嶋 宏行	科目担当者					
学科	放射線・情報科学科		学年	1-4学年	期	前期	
曜日時限	火曜2限	必修／選択	必修	単位数	1	時間数	30
授業の形態	☐ 講義 ☒ 演習 ☐ 実習 ☐ 実験 ☐ 実技 ☐ その他（ ）						
アクティブラーニング（AL）	☐ Aディスカッション/ディベート ☒ Bグループワーク ☒ Cプレゼンテーション ☐ D実習/フィールドワーク ☐ Eその他（ ）						
クラスコード							
授業の概要（主題）	本科目では、数理・データサイエンス・AI（人工知能）への関心を高め、かつ、それらを適切に理解し、活用する基礎的な能力を育成することを目的とする。このために、「社会におけるデータ・AI活用」（導入：社会で起きている変化／データ・AI活用の最新動向）および「データリテラシー」（基礎：データを読む／データを説明する／データを扱う）の二分野について、演習を通じて実践的に学習していく。「データを読む」では文章作成、「データを説明する」「データを扱う」では表計算の演習も同時に行う。						
授業の到達目標	1. データ・AIによって、社会および日常生活が大きく変化していることを理解する 2. データの特徴を読み解き、起きている事象の背景や意味合いを理解できる 3. データの比較対象を正しく設定し、数字を比べることができる 4. 適切な可視化手法を選択し、他者にデータを説明できる 5. 文献や現象を読み解き、それらの関係を分析・考察し表現することができる 6. スプレッドシート等を使って、小規模データ（数百件～数千件レベル）を集計・加工できる						
対応するDP	対応するポリシーについては学生便覧の関連するページを参照のこと。						
対応するCP	対応するポリシーについては学生便覧の関連するページを参照のこと。						
履修条件							
教科書	30 時間アカデミック 情報リテラシー Office2016（杉本くみ子・大澤栄子、実教出版、ISBN 978-4-407-34023-5）						
参考書	教養としてのデータサイエンス(データサイエンス入門シリーズ)(北川源四郎／竹村彰通・編、講談社、ISBN978-4-06-523809-7)						
準備学修	<各回共通> 復習：授業で学習した単元の例題や演習問題を自分で解いてみること。（60分程度）						
課題等に関するフィードバック	学生に共通する間違いや留意点について実習中に気が付いた時点ですぐに解説する。						
その他アドバイス	授業中に疑問が生じた場合には、あいまいにせず必ず確認すること。						
成績評価の方法	☐ 定期試験 ☒ 実技試験 ☐ 実習評価 ☐ 小テスト ☒ レポート ☒ その他（グループワーク）						
評価の基準	実技試験50%、レポート20%、グループワーク30%						
本授業に関連する実務経験等							
実務経験等の授業への展開							
オフィスアワー	木曜3限 研究室（A330）						
その他							
授業計画							
回数	内容				対応するAL	担当	
第1回	データリテラシー入門：社会で起きている変化（ビックデータ、第4次産業革命、人間の知的活動とAI）、社会で活用されているデータ（データの種類、データの所有者、構造化データと非構造化データ）						
第2回	データを読む（1）データの種類、データの分布と代表値						

第3回	データを読む（２）データのばらつき		
第4回	データを読む（３）相関と因果		
第5回	データを読む（４）母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査）		
第6回	データを読む（５）クロス集計表、分割表		
第7回	データを扱う（１）データの集計（和、平均）		
第8回	データを扱う（２）データの集計（条件で判断する）		
第8回	データを扱う（３）データの並べ替え（並べ替え、フィルタ）		
第10回	データを説明する（１）データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップなど）		
第11回	データを説明する（２）データの比較（条件をそろえた比較、A/Bテスト）		
第12回	データを説明する（３）可視化の事例		
第13回	グループワーク（１）データを収集	B	
第14回	グループワーク（２）データを分析し可視化する	B	
第15回	グループワーク（３）データを読み説明する（プレゼン）	C	

国際医療福祉大学 授業計画（シラバス）				キャンパス	東京キャンパス		
科目名	心理学統計法Ⅰ（単変量解析講義・データリテラシー）			授業開始年度	2023		
科目担当責任者	中田 光紀	科目担当者					
学科	心理学科	学年	1学年	期	前期		
曜日時限	木曜3限	必修／選択	必修	単位数	2	時間数	30
授業の形態	☒ 講義 ☒ 演習 ☐ 実習 ☐ 実験 ☐ 実技 ☐ その他（ ）						
アクティブラーニング（AL）	☒ Aディスカッション/ディベート ☒ Bグループワーク ☐ Cプレゼンテーション ☐ D実習/フィールドワーク ☐ Eその他（ ）						
クラスコード	arwdewj						
授業の概要（主題）	心理統計法に必要な数理・データサイエンス・AI・統計の基礎となるデータ（測定値や尺度）の考え方と尺度作成の基本を学ぶ。その基礎をもとに、データ収集からデータ入力とデータ整理の進め方を学ぶ。入力したデータの集計方法、基礎統計結果とそれを使用した図表の作成を学習する。統計手法は、基礎データの要約（クロス集計当）ならびに各種検定（平均値の差の検定、独立性の検定、3群間以上の差の検定）、相関や統計的推定（信頼区間等）を取り上げ、データの種類や性質によってどの手法を使用すればよいか、手法の基本的な理解を含めて学習する。また、近年のデータサイエンス分野の急速な拡大に伴い、ビッグデータ・AI等が実社会にどのように利用されているかを学ぶ。						
授業の到達目標	1. 心理学の実験・調査等によって得られる数値データの意味について理解することができる 2. 心理統計（記述統計・推測統計の基礎）の知識を利用し、データを分析できる 3. 数理・データサイエンス（統計学・コンピューターサイエンス）・AIの基本について説明することができる						
対応するDP	対応するポリシーについては学生便覧の関連するページを参照のこと。						
対応するCP	対応するポリシーについては学生便覧の関連するページを参照のこと。						
履修条件	なし						
教科書	読んでわかる心理統計法（ライブラリ読んでわかる心理学）』、服部 環（著）・山際 勇一郎（著）、サイエンス社、2019年、4781914535 授業毎にプリントを用意し、それに沿って授業を進める。						
参考書	1.よく分かる心理統計 山田剛史・村井潤一郎/著 ミネルヴァ書房 2.心理統計法への招待―統計をやさしく学び身近にするために 中村 知靖/著、前田 忠彦/著、松井 仁/著 サイエンス社 3.本当にわかりやすいすぐ大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本 吉田寿夫/著 北大路書房						
準備学修	予習：授業前に配布する資料を読み込み、授業時にわからないことを質問できるよう準備すること(30分)。 復習：授業後の復習を重点的に行うこと。毎回の授業の内容を振り返り、ノートをまとめること(60分)。						
課題等に関するフィードバック	受講生が授業目標に到達するために、授業の最後に「確認課題」としてその日の授業内容を振り返る課題を出す。						
その他アドバイス	√（ルート）や階乗の計算ができる電卓を各自用意すること。関数電卓であることが望ましい。						
成績評価の方法	☒ 定期試験 ☐ 実技試験 ☐ 実習評価 ☐ 小テスト ☐ レポート ☒ その他（授業時の発言や受講態度、授業時の確認課題の内容）						
評価の基準	定期試験70% 授業時の発言・受講態度30%						
本授業に関連する実務経験等	日本の厚生労働省ならびに米国の健康福祉省の研究員						
実務経験等の授業への展開	実務経験を生かした講義を行う。						
オフィスアワー	水曜日 昼休み・15:30～16:30・9F学部長室、その他時間を希望する場合は事前に連絡すること (nakataa@iuhw.ac.jp)。						
その他							

授業計画			
回数	内容	対応するAL	担当
第1回	データリテラシー入門：社会で起きている変化（ビックデータ、第4次産業革命、人間の知的活動とAI）、社会で活用されているデータ（データの種類、データの所有者、構造化データと非構造化データ）	A,B	
第2回			
第3回	データを読む（1）データの種類、データの分布と代表値	A,B	
第4回	データを読む（2）データのばらつき		
第5回	データを読む（3）相関と因果、散布図、共分散、相関、相関係数	A,B	
第6回	データを読む（4）母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査）	-	
第7回	データを読む（5）クロス集計表、分割表	A,B	
第8回	データを扱う（1）データの集計（和、平均）	A,B	
第9回	データを扱う（2）データの集計（条件で判断する）	A,B	
第10回	データを扱う（3）データの並べ替え（並べ替え、フィルタ）	A, B	
第11回	データを説明する（1）データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップなど）	A,B	
第12回	データを説明する（2）データの比較（条件をそろえた比較、A/Bテスト）、2群の平均値の差の検定	A,B	
第13回	1 要因分散分析	A,B	
第14回	データを説明する（3）可視化の事例	A,B	
第15回	適合度の検定と独立性の検定	A,B	
第16回	グループワーク（1）データを収集、分析し可視化する	A,B	
第17回	グループワーク（2）データを読み説明する（プレゼン）	A,B	

その他	
-----	--

授業計画			
回数	内容	対応するAL	担当
第1回	記述統計 1 4月12日		藤田 烈
第2回	記述統計 2 4月15日		藤田 烈
第3回	記述統計 3 4月19日		藤田 烈
第4回	確立と確率分布 4月26日		藤田 烈
第5回	相関 5月10日		藤田 烈
第6回	回帰分析 1 5月17日		藤田 烈
第7回	回帰分析 2 5月24日		藤田 烈
第8回	中間試験 5月31日		藤田 烈
第9回	推測統計の基礎 6月7日		藤田 烈
第10回	点推定と区間推定 1 6月14日		藤田 烈
第11回	点推定と区間推定 2 6月21日		藤田 烈
第12回	仮説検定 1 6月28日		藤田 烈
第13回	仮説検定 2 7月5日		藤田 烈
第14回	仮説検定 3 7月12日		藤田 烈
第15回	講義総括 7月19日		藤田 烈

国際医療福祉大学 授業計画（シラバス）					キャンパス	東京キャンパス	
科目名	データ処理 I（初級・データリテラシー）				授業開始年度	2023	
科目担当責任者	石川 ベンジャミン光一	科目担当者	笠島 めぐみ				
学科	医療マネジメント学科			学年	1学年	期	後期
曜日時限	木曜3限	必修／選択	必修	単位数	2	時間数	30時間
授業の形態	■講義 □演習 □実習 □実験 □実技 □その他（ ）						
アクティブラーニング（AL）	■Aディスカッション/ディベート ■Bグループワーク ■Cプレゼンテーション ■D実習/フィールドワーク □Eその他（ ）						
クラスコード	mxm2b7f						
授業の概要（主題）	実際にデータに触れてみることを通して、データとはどのようなものであるかを体感します。人工知能(AI)やビジネスインテリジェンス(BI)などのツールを利用してデータ処理に取り組んでみるとともに、医療データの取扱いに必要な個人情報保護の考え方や、システム、統計ソフト、ビッグデータの基礎などの基本を学びます。						
授業の到達目標	データ、特に医療データに慣れ、読み方を理解することができる。 コンピュータやネットワークの仕組み、データの整理方法などの基礎を習得し、そのうえで、データを合体させたり、読み替えたりしながら、データの基礎的な分析を行い、課題解決に向けた結果を他者に示すことができる。 個人情報保護、情報セキュリティ及び関連法規・倫理的側面についての基礎知識を習得する。						
対応するDP	対応するポリシーについては学生便覧の関連するページを参照のこと。						
対応するCP	対応するポリシーについては学生便覧の関連するページを参照のこと。						
履修条件	特になし						
教科書	特になし						
参考書	授業において紹介するもののほか、資料を配付することがある						
準備学修	種々のデータに慣れ、自らデータ処理を行う授業です。操作手順がわからないときは、教員や周辺の友人に聴くなどして、その場で解決するようにしてください。また課題に対応するときも、わからないときはインターネットで解決策を検索するなど、不明点を自力で解決する方法を身に付けることを目指してください（予習・復習各30分程度）。						
課題等に関するフィードバック	小テスト・中間レポートについて次回以降の講義でコメントする。						
その他アドバイス							
成績評価の方法	小テスト、ミニレポート、課題レポート						
評価の基準	小テスト（20％）・ミニレポート（30％）、課題レポート（50％）						
本授業に関連する実務経験等	【石川B光一】国立研究開発法人における病院情報システムの整備と医療データ分析研究への従事 【高橋 泰】臨床医としての実務経験						
実務経験等の授業への展開	【石川B光一】病院情報システムのデータベース設計や医療データ解析に関する知見を反映した授業を実施する。 【高橋 泰】教員が培った経験を生かした内容も講義中に扱う。						
オフィスアワー	水曜日12:00-13:00／5階学科事務室						
その他							
授業計画							
回数	内容				対応するAL	担当	
第1回	まず、データに触れてみよう①					高橋・石川	
第2回	まず、データに触れてみよう②					高橋・石川	
第3回	まず、データに触れてみよう③					高橋・石川	

第4回	まず、データに触れてみよう④～情報倫理と情報保護		高橋・石川
第5回	医療現場の課題解決に向けたAIの利用		高橋
第6回	BIツールを利用したデータの可視化に取り組もう①		石川
第7回	BIツールを利用したデータの可視化に取り組もう②		石川
第8回	BIツールを利用したデータの可視化に取り組もう③		石川
第9回	BIツールを利用したデータの可視化に取り組もう④		石川
第10回	データを生かしたレポートを作成しよう①		石川
第11回	データを生かしたレポートを作成しよう②		石川
第12回	データを生かしたレポートを作成しよう③		石川
第13回	データを生かしたレポートを作成しよう④		石川
第14回	診療データの交換と利活用		平松・石川
第15回	総括		石川、高橋

国際医療福祉大学 授業計画（シラバス）					キャンパス	大川キャンパス		
科目名		情報処理 I（基礎）			授業開始年度		2023	
科目担当責任者		安本 誠一	科目担当者					
学科		看護学科		学年	1学年		期	前期
曜日時限		木曜1限	必修／選択	必修	単位数	1	時間数	30時間
授業の形態		□講義 ■演習 □実習 □実験 □実技 □その他（						

第3回	データを読む（２）データのばらつき	－	
第4回	データを読む（３）相関と因果	－	
第5回	データを読む（４）母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査）	－	
第6回	データを読む（５）クロス集計表、分割表	－	
第7回	データを扱う（１）データの集計（和、平均）	－	
第8回	データを扱う（２）データの集計（条件で判断する）	－	
第9回	データを扱う（３）データの並べ替え（並べ替え、フィルタ）	－	
第10回	データを説明する（１）データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップなど）	－	
第11回	データを説明する（２）データの比較（条件をそろえた比較、A/Bテスト）	－	
第12回	データを説明する（３）可視化の事例	－	
第13回	グループワーク（１）データを収集	B	
第14回	グループワーク（２）データを分析し可視化する	B	
第15回	グループワーク（３）データを読み説明する（プレゼン）	C	

実務経験等	
実務経験等の 授業への展開	
オフィスアワー	月曜日・5限・4号館5階研究室2・(yositake@iuhw.ac.jp)・その他在室時対応可
その他	

授業計画			
回数	内容	対応するAL	担当
第1回	情報リテラシー（１）コンピュータとは（ガイダンス、コンピュータの基本操作）	E	吉武 康之
第2回	情報リテラシー（２）データリテラシー入門：社会で起きている変化、社会で活用されているデータ	-	吉武 康之
第3回	情報リテラシー（３）コンピュータネットワーク、ネットワークサービス A-(5)-①-5 ・インターネット上の情報が持つ意味・特徴を知り、情報倫理、情報セキュリティに配慮して活用できる。（知識・態度）	-	吉武 康之
第4回	情報リテラシー（４）情報倫理、情報セキュリティ A-(5)-①-5 ・インターネット上の情報が持つ意味・特徴を知り、情報倫理、情報セキュリティに配慮して活用できる。（知識・態度）	E	吉武 康之
第5回	データを読む（１）データの種類、データの分布と代表値、データのばらつき	-	吉武 康之
第6回	データを読む（２）相関と因果、母集団と標本抽出、クロス集計表	-	吉武 康之
第7回	データを扱う（１）データの集計（和、平均、条件判断で判断する）、データの並べ替え（並べ替え、フィルタ）	-	吉武 康之
第8回	データを説明する（１）データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップなど）	-	吉武 康之
第9回	グループワーク（１）データを収集する プレゼンテーションツールを用いた資料作成	B	吉武 康之
第10回	グループワーク（２）データを分析し可視化する、データを説明する プレゼンテーションツールを用いたプレゼンテーション、画像ファイルの取扱い	B	吉武 康之
第11回	データを扱う（２）データの抽出・表示 化学情報の抽出・表示	-	吉武 康之
第12回	データを説明する（２）データの比較 配座解析、分子の構造最適化	-	吉武 康之
第13回	データを説明する（３）可視化の事例 生体高分子の表示、医薬品結合部位の表示・解析	-	吉武 康之
第14回	総合演習（１）データを収集・分析し可視化する 医薬品情報の収集・分析 A-(5)-①-2, A-(5)-③-2 ・講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。（技能） ・生涯にわたって継続的に学習するために必要な情報を収集できる。（技能）	-	吉武 康之
第15回	総合演習（２）データを収集・分析し説明する 医薬品情報の収集・分析・提供 A-(5)-①-2, A-(5)-③-2、演習課題の総括 ・講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。（技能） ・生涯にわたって継続的に学習するために必要な情報を収集できる。（技能）	-	吉武 康之

			大川キャンパス	
科目名	医薬品情報学Ⅰ（医薬品情報の収集と活用）		授業開始年度	2025
科目担当責任者	宗像 千恵	科目担当者	朴 珍相、一木 裕子	

学科	薬学科			学年	3 年	期	前期
曜日時限	火曜 4 限	必修/選択	必修	単位数	2	時間数	30 時間
授業の形態	☒ 講義 ☐ 演習 ☐ 実習 ☐ 実験 ☐ 実技 ☐ その他()						
アクティブ・ラーニング (AL)	☐ A ディスカッション/ディベート ☐ B グループワーク ☐ C プレゼンテーション ☐ D 実習/フィールドワーク ☐ E その他()						

授業の概要 (主題)	薬物治療に必要な情報を医療チームおよび患者に提供するために、医薬品情報の収集、評価、加工などに関する基本的知識を修得し、それらを活用するための基本的事項を身につける。 ※授業計画各項目の括弧内に記載されている番号は、「薬学教育モデル・コアカリキュラム(平成 25 年度改定版)」の到達目標に対応している。
授業の到達目標	1. 医薬品を使用したり取り扱う上で、必須の医薬品情報を列挙できる。 2. 医薬品情報に関わっている職種を列挙し、その役割を概説できる。 3. 医薬品の開発過程で行われる試験と得られる医薬品情報について概説できる。 4. 医薬品の市販後に行われる調査・試験と得られる医薬品情報について概説できる。 5. 医薬品情報に関する代表的な法律・制度とレギュラトリーサイエンスについて概説できる。 3. 医薬品情報源の一次資料、二次資料、三次資料について列挙し、それらの特徴を説明できる。 6. 行政機関や製薬企業などの発行する資料を列挙し、概説できる。 7. 医薬品添付文書の法的位置づけ、記載項目の意味や記載すべき内容について説明できる。 8. 医薬品インタビューフォームの位置づけと用途を説明できる。 9. 医学・薬学文献データベースと検索におけるキーワード、シソーラスの重要性について理解する。 10. 医薬品情報を評価する際に必要な基本的項目を列挙できる。 11. 医薬品情報を加工・提供し管理する方法と注意点について説明できる。 12. 病院や薬局において医薬品を選択する際に検討すべき項目を列挙し、その意義を説明できる。
対応する DP	対応するポリシーについては学生便覧の関連するページを参照のこと。
対応する CP	対応するポリシーについては学生便覧の関連するページを参照のこと。
履修条件	なし

教科書	「コンパス医薬品情報学 ー理論と演習ー改訂第 3 版」小林道也・中村仁編(南江堂)、2022、ISBN: 978-4-524-40409-4
参考書	「スタンダード薬学シリーズⅡ6 医療薬学Ⅴ 補訂版 薬物治療に役立つ情報」日本薬学会編、東京化学同人、2021、ISBN:9784807917266 「医薬品情報学(第 5 版)」山崎幹夫監修、東京大学出版会、2021、ISBN:978-4-13-062422-0 「図解 医薬品情報学 改訂 5 版」折井孝男編、南山堂、2023、ISBN:978-4-525-78165-1
準備学修	<各回共通>講義終了後、教科書および配布資料を見直して復習する。(60 分) 理解を深め、解からないことを質問できるように学習した内容をまとめる。(120 分) 講義で示された医薬品情報等を実際に利用して理解を深める。(60 分)
課題等に関するフィードバック	適宜、授業の振り返りや、学んだことを応用した演習などを実施しながら、受講者の理解度を確認し、不十分な内容についての補てん、フィードバックを行っていく。
その他アドバイス	配布された講義資料だけでなく、教科書や参考書を用い理解を深めること。 講義中、分からないことは積極的に質問すること。 講義後、復習したうえ、理解が難しい場合は早めに質問し、わからないまま放置しないこと。

成績評価の方法	定期試験
評価の基準	定期試験 100%

本授業に関連する実務経験等	病院・薬局で薬剤師として勤務した経験がある(宗像、一木) 病院で医療・医薬品情報データベースのマネージャーとして勤務した経験がある(朴)
実務経験の授業への展開	薬剤師として勤務した中で実際に経験した事例等を交え、講義・演習を実施する。(宗像、一木)
オフィスアワー	宗像千恵:火曜 3 限 4 号館 5 階共同研究室 朴 珍相:研究室在室中は随時対応する。4 号館 5 階共同研究室 一木 裕子:火曜 5 限 4 号館 5 階研究室 17(他の曜日・時限でも、在室時であれば対応する)

			大川キャンパス	
科目名	医薬品情報学Ⅰ（医薬品情報の収集と活用）		授業開始年度	2025
科目担当責任者	宗像 千恵	科目担当者	朴 珍相、一木 裕子	

授業計画			
内容		対応する AL	担当
第 1 回	概論①: 医薬品情報の重要性 医薬品の適正使用と医薬品情報	—	宗像千恵
第 2 回	概論②: 医薬品情報とは (E3(1)-②-1) 医薬品情報に関わる職種 (E3(1)-②-2)	—	宗像千恵
第 3 回	医薬品の情報源: 医療用医薬品添付文書 (E3(1)-②-4.5)	—	宗像千恵
第 4 回	保健・医療・福祉の専門職を目指す大学生に役立つコンピュータの基礎知識と メディア・リテラシー・インターネットリテラシー —コンピュータの仕組み、どのように活かすのか、データ処理方法と今後の展 開、VDT 作業障害について、メディアリテラシーについて、インターネットと WEB の基礎知識 (VOD)	—	宗像千恵 (VOD) 篠原 信夫 高須賀 茂人
第 5 回	医薬品の情報源: 医薬品インタビューフォーム (E3(1)-②-6)	—	一木裕子
第 6 回	医薬品の情報源: 医薬品インタビューフォーム (E3(1)-②-6) 医薬品の情報源: RMP、DSU、安全性情報など (E3(1)-②-3)	—	一木裕子
第 7 回	医薬品の開発過程で得られる情報 (E3(1)-①-3) 医薬品の市販後に得られる情報 (E3(1)-①-4)	—	宗像千恵
第 8 回	医薬品の開発過程で得られる情報 (E3(1)-①-3) 医薬品の市販後に得られる情報 (E3(1)-①-4)	—	宗像千恵
第 9 回	医薬品情報の検索: 情報データベースとその検索方法 (E3(1)-③-2)	—	朴珍相
第 10 回	医薬品情報の評価①: 情報の信頼性と妥当性 (E3(1)-③-3)	—	朴珍相
第 11 回	Evidence-Based Medicine (E3(1)-④-1) 代表的な臨床研究法/研究論文の批判的吟味/メタアナリシス (E3(1)-④-2,3,4)	—	朴珍相
第 12 回	医療データ管理と病院管理・データ利活用の現場 —病院管理はなぜ必要か? 診療情報の意義と利用法、限りある資源を無駄に しないために(医療資源の配分)、医療データサイエンス(データ解析や可視化 してどう役立てるか)、データサイエンスのサイクル (VOD)	—	朴珍相 (VOD) 山本 康弘 石川ベンジャミン 光一
第 13 回	医薬品の情報源: 加工度による分類 (E3(1)-②-1,2) 医薬品の情報源: 情報発信元による分類 (E3(1)-②-3) 医薬品の情報源: その他の利用頻度の高い情報 (E3(1)-②-2,③-1)	—	一木裕子
第 14 回	医薬品情報の加工と提供 (E3(1)-③-5) 医療スタッフへの能動的医薬品情報の提供 医薬品情報の評価②: 医薬品の評価 (E3(1)-⑦-1)	—	一木裕子
第 15 回	全体のまとめ等	—	宗像千恵

		大川キャンパス	
科目名	病院・薬局事前実習Ⅰ（実務実習に必要な基本的知識）（2023 年度入学生用）		授業開始年度 2026
科目担当責任者	家入 一郎	科目担当者	多田納 豊、太田 昭一郎、西村 信弘、緒方 勝也、村田 祐造、宗像 千恵、坂井 崇亮、阿部 義人、石田 卓巳、猪部 学、塚本 宏樹、山本 緑、吉武 康之、中矢 正、貝塚 拓、梶岡 俊一、磯田 紀之、柴田 健太郎、川端 猛夫、澤井 円香、齊藤 秀俊、一木 裕子、平木 洋一、成川 佑次、福田 光良、宗像 達夫

学科	薬学科			学年	4 学年	期	前期
曜日時限	月曜 1 限 月曜 2 限 月曜 3 限 月曜 4 限 実習	必修/選択	必修	単位数	2	時間数	90 時間
授業の形態	■講義 ■演習 ■実習 □実験 □実技 □その他()						
アクティブ・ラーニング (AL)	■A ディスカッション/ディベート ■B グループワーク ■C プレゼンテーション ■D 実習/フィールドワーク ■E その他(グーグルフォーム等を用いた双方向授業)						

授業の概要 (主題)	5 年次の病院・薬局実務実習のための事前学習として、1～4 年次までに学習した科目を症例や処方箋を基に総復習を行うとともに、薬剤師としての自覚を持ち、ヒトを思い敬う態度や医療の担い手としての倫理観を身に付けることを目標としている。 ※各項目末尾の括弧内に記載されている番号は、「薬学教育モデル・コアカリキュラム（平成 25 年度改訂版）」の到達目標に対応している。
授業の到達目標	1. 物質の物理的性質を理解するために、原子・分子の構造、熱力学、反応速度論などに関する基本的事項を身につける。 2. 化学物質（医薬品を含む）を適切に分析できるようになるために、物質の定性、定量に関する基本的事項を修得する。 3. 化学物質を理解できるようになるために、代表的な有機化合物の構造、性質、反応、分離法、構造決定法、および無機化合物の構造と性質に関する基本的事項を 修得する。 4. 医薬品の生体内での作用を化学的に理解できるようになるために、医薬品標的および医薬品の構造と性質、生体反応の化学に関する基本的事項を修得する。 5. 自然界に存在する物質を医薬品として利用できるようになるために、代表的な生 薬の基原、特色、臨床応用および天然生物活性物質の単離、構造、物性、作用な どに関する基本的事項を修得する。 6. 生命現象を細胞レベル、分子レベルで理解できるようになるために、生命体の最小単位である細胞の成り立ちや生命現象を担う分子に関する基本的事項を修得する。 7. 人体の成り立ちを個体、器官、細胞の各レベルで理解できるようになるために、人体の構造、機能、調節に関する基本的事項を修得する。 8. 生体の恒常性が崩れたときに生ずる変化を理解できるようになるために、免疫反応による生体防御機構とその破綻、および代表的な病原微生物に関する基本的事 項を修得する。 9. 人々の健康増進、公衆衛生の向上に貢献できるようになるために、現代社会にお ける疾病とその予防、栄養と健康に関する基本的知識、技能、態度を修得する。 10. 人々の健康にとってより良い環境の維持と公衆衛生の向上に貢献できるようにな るために、化学物質などのヒトへの影響、適正な使用、および地球生態系や生活 環境と健康との関わりにおける基本的知識、技能、態度を修得する。 11. 国民の健康管理、医療安全、薬害防止における役割を理解し、薬剤師としての使命感を身につける。倫理的問題に配慮して主体的に行動するために、生命・医療に係る倫理観を身につけ、医療の担い手としての感性を養う。
対応する DP	対応するポリシーについては学生便覧の関連するページを参照のこと。
対応する CP	対応するポリシーについては学生便覧の関連するページを参照のこと。
履修条件	

教科書	特に指定しない。 電子データ(Google classroom)又はプリント等を配布する。
参考書	コアカリ重点ポイント集 vol.1～vol.3 医療系薬学実習Ⅰ、Ⅱの実習テキスト

		大川キャンパス	
科目名	病院・薬局事前実習Ⅰ（実務実習に必要な基本的知識）（2023年度入学生用）		授業開始年度 2026
科目担当責任者	家入 一郎	科目担当者	多田納 豊、太田 昭一郎、西村 信弘、緒方 勝也、村田 祐造、宗像 千恵、坂井 崇亮、阿部 義人、石田 卓巳、猪部 学、塚本 宏樹、山本 緑、吉武 康之、中矢 正、貝塚 拓、梶岡 俊一、磯田 紀之、柴田 健太郎、川端 猛夫、澤井 円香、齊藤 秀俊、一木 裕子、平木 洋一、成川 佑次、福田 光良、宗像 達夫

準備学修	事前配布のスケジュールを確認し、必ずその日に行う内容を予習して臨むこと。 各回予習 60 分、復習 60 分 ディスカッションやグループワークでは、自分の意見をエビデンスに基づいて主張できるよう文献等を調べる(120 分)。 遅刻・欠席は認めない(急病などやむを得ない理由で欠席する場合は、必ず担当教員に連絡すること)。
課題等に関するフィードバック	ヒューマニズムや医療倫理に関する到達度評価において形成的評価を行う。
その他アドバイス	

成績評価の方法	到達度評価、単位認定試験
評価の基準	①グループワークの達成度評価が平均で3以上であること。 ②単位認定試験で 6 割以上の点数を取得すること。(単位認定試験は2回実施し、その合計点を評価する。) ①と②両方とも条件を満たすことで単位取得となる。

本授業に関連する実務経験等	
実務経験の授業への展開	
オフィスアワー	阿部義人:火曜日・5限・4号館5階 4539(y_abe@iuhw.ac.jp) 石田卓巳:水曜日・5限、研究室1(4503) 石橋正己:火曜日・5限・4号館5階 研究室6(mishibashi@iuhw.ac.jp) 猪部 学:火曜日・5限(4号館5階研究室14)・メールも可(アドレスは講義資料に記載) 太田昭一郎:水曜日・6限(3号館4階研究室13)、他の日時でも空きがあれば対応可能(事前予約推奨)、E-mail(sho.ohata@iuhw.ac.jp)での質問も随時受け付ける。 緒方勝也:月曜日・5限・4号館5階研究室16 梶岡俊一:木曜日5限4号館5F 研究室4534(他の曜日・時限でも、アポの予約あれば対応する) 川端猛夫:月曜日・4、5限、火曜日・6限・4号館5階研究室11 西村信弘:火曜日・5・6限・4号館5階研究室20(他の曜日・時間でも対応可能な場合は対応する。) 平木洋一:月曜日・火曜日の各4時限目・4号館5階研究室5 村田祐造:月曜日・5限、火曜日・昼休み。その他随時。1号館4階23研究室 一木裕子:火曜日・5限・4号館5階研究室17 齊藤秀俊:月曜日・5限(4号館5階研究室19) 多田納豊:水曜日・6限・4号館5階4540(研究室9)(他の曜日・時間でも、対応可能な場合は対応する) 塚本宏樹:月曜日・5限(4号館5階研究室13)(tsukamoh@iuhw.ac.jp、原則対面対応、アポ優先) 成川佑次:水曜日・5限・4号館5階4541(他の曜日・時限でも在室時には対応可) 宗像達夫:月曜日・5限・4号館5階4537(munakata@iuhw.ac.jp) 山本 緑:火曜日・5限・4号館5階研究室4(他の曜日・時間でも対応可能な場合は対応する。) 吉武康之:月曜日・5限・4号館5階4511(yositake@iuhw.ac.jp) 貝塚 拓:火曜日・4限、共同研究室(4605) 中矢 正:月曜日・5限・4号館5階 共同研究室(tadashi.nakaya@iuhw.ac.jp) 宗像千恵:火曜日・3限・4号館5階 共同研究室4508 磯田紀之:月曜日・5限・4号館5階 共同研究室(他の曜日・時限でも在室時には対応可) 坂井崇亮:月曜日・6限・4号館5階 共同研究室(他の曜日・時限でも在室時には対応可) 澤井円香:火曜日・4限・4号館5階 共同研究室(他の曜日・時限でも在室時には対応可) 福田光良:火曜日・4、5限・4号館5階 共同研究室
その他	

		大川キャンパス	
科目名	病院・薬局事前実習Ⅰ（実務実習に必要な基本的知識）（2023 年度入学生）		授業開始年度
			2026
科目担当責任者	家入 一郎	科目担当者	多田納 豊、太田 昭一郎、西村 信弘、緒方 勝也、村田 祐造、宗像 千恵、坂井 崇亮、阿部 義人、石田 卓巳、猪部 学、塚本 宏樹、山本 緑、吉武 康之、中矢 正、貝塚 拓、梶岡 俊一、磯田 紀之、柴田 健太郎、川端 猛夫、澤井 円香、齊藤 秀俊、一木 裕子、平木 洋一、成川 佑次、福田 光良、宗像 達夫

授業計画			
内容		対応する AL	担当
(第 1-12 回)	症例に基づき、必要な基礎知識の確認と統合を行う。 1. C1 物質の物理的性質、C2 化学物質の分析	—	阿部 宗像達 中矢
(第 13-26 回)	症例に基づき、必要な基礎知識の確認と統合を行う。 2. C3 化学物質の性質と反応、C4 生体分子・医薬品を化学による理解、C5 自然が生み出す薬物	—	石橋、川端、成川、吉武、磯田、坂井
(第 27-40 回)	症例に基づき、必要な基礎知識の確認と統合を行う。 3. C6 生命現象の基礎、C7 人体の成り立ちと生体機能の調節、C8 生 体防御と微生物	—	猪部、太田、緒方、梶岡、村田、多田納、塚本
(第 41-50 回)	症例に基づき、必要な基礎知識の確認と統合を行う。 4. D1 健康、D2 環境	—	石田、山本、貝塚、澤井
(第 51-56 回)	5. A 基本事項 (1)薬剤師の使命 (2)薬剤師に求められる倫理観 B 薬学と社会 (1)人と社会に関わる薬剤師 4) 薬剤師が倫理規範や法令を守ることの重要性について討議する。 5) 倫理規範や法令に則した行動を取る。 ①医の倫理と医療プロフェッショナリズム・医療情報を扱う上での留意点 —医の倫理の歴史、医療プロフェッショナリズムの涵養、医療職の社会的責任、個人情報保護（守秘義務）、利益相反や情報開示、臨床試験と倫理（医薬品・医療機器に関する法規制）、研究倫理、医療サービスにおける法律と倫理（ELSI、GDPR、忘れられる権利、オプトアウト、データ倫理、AI 社会原則など）（VOD）A-(1)-①-2) A-(1)-①-3) A-(1)-①-4) A-(1)-①-6) A-(2)-③-4) ②先端医療現場での倫理的問題と医療データを守る上での留意事項 —ゲノム医療の問題点、生殖医療（出生以前診断）をめぐる話題、エンハンスメント、情報科学技術の発展に伴う倫理的問題点など(情報セキュリティ、匿名加工情報、暗号化、悪意ある情報搾取、セキュリティ事故の事例紹介など)(VOD) A-(2)-①-3) A-(2)-①-4) A-(2)-②-3) A-(2)-③-4)	A ディスカッション B グループワーク C 発表会	西村、平木、一木、宗像千、福田、多田納 (VOD) ①天野隆弘 ②藤井知行、辻省次、西垣昌和
(第 57-58 回)	医療統計学の基礎を学ぶ。臨床データの統計解析を行う。 E3 薬物治療に役立つ情報	—	一木
(第 59-64 回)	疾患と基にした分野横断型総合講義・演習 1. 糖尿病、2. がん、3. 花粉症	E その他(グループワーク等を用いた双方向授業)	阿部、宗像達、中矢、石橋、川端、成川、吉武、磯田、坂井、猪部、太田、塚本、貝塚、窪田、齊藤、平木、一木、宗像千
(第 65-67 回)	特殊剤型(吸入デバイス)の服薬指導について F(2)-④-6	B グループワーク D 実習	西村、平木、一木、宗像千、福田

			大田原キャンパス	
科目名	医薬品情報学Ⅱ (EBMと臨床研究)		授業開始年度	2028
科目担当責任者	宗像 千恵	科目担当者		

学科	薬学科			学年	6 学年	期	前期
曜日時限	月曜 2 限	必修/選択	必修	単位数	1	時間数	15 時間
授業の形態	講義						
アクティブ・ラーニング (AL)	☐ A ディスカッション/ディベート ☐ B グループワーク ☐ C プレゼンテーション ☐ D 実習/フィールドワーク ☐ E その他()						

授業の概要 (主題)	医薬品情報を適切に解析・評価し、evidence-based medicine (EBM)に基づく医薬品の適正使用に貢献するために、1) 臨床上の疑問点を解決するための方法論である EBM、2) Evidence を生み出す臨床研究のデザインや解析方法、および 3) 臨床研究データの解釈に欠かせない生物統計学について学ぶ。さらに、有効性・安全性のみならず医療経済性等の多様な観点からの医薬品の比較・評価の重要性を学ぶ。 授業計画各項目に「薬学教育モデル・コアカリキュラム(平成 25 年度改訂版)」の到達目標を示す。
授業の到達目標	EBM の実践、生物統計および臨床研究デザイン・解析に関する基本的事項が説明できる。
対応する DP	対応するポリシーについては学生便覧の関連するページを参照のこと。
対応する CP	対応するポリシーについては学生便覧の関連するページを参照のこと。
履修条件	—

教科書	コンパス医薬品情報学 ー理論と演習ー、小林 道也 (編)、南江堂、(医薬品情報学Ⅰで購入済み)
参考書	ベーシック薬学教科書シリーズ 医薬品情報学 第2版、上村 直樹 (編)、化学同人、978-4759816259
準備学修	予習:教科書の次回講義範囲に対応する範囲を読んでおく(60 分)。 復習:各回講義で配布するプリントを復習する。プリント末の演習問題を解く(30 分)。
課題等に関するフィードバック	演習問題への回答、授業後にあった質問を全体へフィードバックし、解説する。
その他アドバイス	PubMed などで臨床研究論文を検索してみましょう。論文を読み、用いられている研究デザインや統計手法等を確認してみましょう。

成績評価の方法	定期試験
評価の基準	定期試験 100%

本授業に関連する実務経験等	病院・薬局で薬剤師として勤務した経験がある。
実務経験の授業への展開	薬剤師として勤務した中で実際に経験した事例等を交え、講義・演習を実施する。
オフィスアワー	宗像千恵:火曜 3 限 4 号館 5 階共同研究室
その他	—

		大田原キャンパス	
科目名	医薬品情報学Ⅱ (EBMと臨床研究)	授業開始年度	2024
科目担当責任者	宗像 千恵	科目担当者	

授業計画			
内容		対応する AL	担当
第 1 回	EBM(E3(1)④EBM) EBM の概念と実践プロセス、代表的臨床研究方法(メタアナリシスなど)のエビデンスレベル、臨床研究論文の批判的吟味と内的・外的妥当性について概説出来る。	—	宗像 千恵
第 2 回	生物統計その 1(E3(1)⑤生物統計) 臨床研究における基本的な統計量、帰無仮説の概念、検定と推定、代表的な検定(パラメトリック検定とノンパラメトリック検定)について概説出来る。	—	宗像 千恵
第 3 回	生物統計その 2(E3(1)⑤生物統計) 回帰分析(直線回帰など)、相関係数(ピアソンの相関係数など)、生存時間解析法(カプランマイヤー曲線など)について概説出来る。	—	宗像 千恵
第 4 回	臨床研究デザインと解析その 1(E3(1)⑥臨床研究デザインと解析) 代表的な臨床研究手法、介入研究と観察研究、治験、バイアス、交絡因子について概説出来る。 観察研究(コホート研究、ケースコントロール研究など)のデザインを概説出来る。主なパラメータ(相対リスク、治療必要数、オッズ比など)を計算出来る。	—	宗像 千恵
第 5 回	臨床研究デザインと解析その 2(E3(1)⑥臨床研究デザインと解析) 介入研究(無作為化比較試験など)のデザイン、無作為化、盲検化、ITT 解析と per protocol 解析、優越性試験と非劣性試験について概説出来る。 メタアナリシスと結果表現方法(フォレストプロットなど)、有害事象と副作用について概説出来る。臨床研究論文を読むことが出来る。	—	宗像 千恵
第 6 回	社会におけるデータ・AI 利活用 —事業活動におけるデータ・AI 利活用の広がり(生産、消費、文化活動など)、活用目的ごとのデータ・AI 活用の広がり(仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替など)、データ・AI 利活用のための技術(データ解析、非構造化データ処理、データ可視化、パターン認識技術、特化型 AI と汎用 AI)(VOD)	—	(VOD) 三浦 総一郎 宮嶋 宏行
第 7 回	ICT・AI の医学・医療への応用とセキュリティー —(AI 技術・VR・AR 技術・ロボット技術・遠隔診断などの臨床・教育への応用)、AI 利活用のための技術、AI 利活用の最新動向、AI サービスの責任論、AI 活用の負の事例紹介など(VOD)	—	(VOD) 田村雄一 西田 裕介 桐生 茂、 (飯塚 統)
第 8 回	医薬品と医療の経済性(B(3)② 1-4) 医薬品の評価(E3(1)⑦) 医薬品の市場、流通の仕組み、経済性評価等について理解し、有効性・安全性のみならず多様な観点の医薬品情報に基づいて医薬品評価が出来る。	—	宗像 千恵

別表1 授業科目の名称及び単位数
保健医療学部 看護学科

授業科目の名称			配当年次		単位数		時間	備 考
					必修	選択		
総合教育	人間系	文学論	1	2	3	4	2	30
		演劇論	1	2	3	4	1	15
		心理学	1	2	3	4	2	30
		哲学	1	2	3	4	2	30
		コミュニケーション概論	1				2	30
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	2	30
		人間学	1	2	3	4	2	30
		歴史学	1	2	3	4	2	30
		倫理学	1	2	3	4	2	30
		宗教学	1	2	3	4	2	30
		日本近現代史	1	2	3	4	2	30
		文化人類学	1	2	3	4	2	30
		教育学	1	2	3	4	2	30
		教育方法論	1	2	3	4	2	30
		死生学-死を通して生を考える-	1	2	3	4	2	30
		生きがい論	1	2	3	4	2	30
	社会系	法学	1	2	3	4	2	30
		日本国憲法 ※	1	2	3	4	2	30
		法と道徳・倫理	1	2	3	4	2	30
		社会学	1	2	3	4	2	30
		日本政治経済論	1	2	3	4	2	30
		マスメディア論	1	2	3	4	2	30
		福祉経済学	1	2	3	4	2	30
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4	2	30
		国際関係論	1	2	3	4	2	30
		世界の経済	1	2	3	4	2	30
		国際医療福祉論	1	2	3	4	2	30
		組織運営管理論	1	2	3	4	2	30
		海外保健福祉事情	1	2	3	4	2	30
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識		2			1	30
		地球環境論	1	2	3	4	2	30
		ボランティア論	1	2	3	4	2	30
		ボランティアコーディネート論	1	2	3	4	2	30
		手話入門	1	2	3	4	2	30
		経済の仕組み	1	2	3	4	2	30
		経済の歴史	1	2	3	4	2	30
	自然・情報系	統計学		2			2	30
		疫学・保健医療統計学			3		2	30
		数学	1	2	3	4	2	30
		物理学	1	2	3	4	2	30
		化学	1	2	3	4	2	30
		生物学	1	2	3	4	2	30
		コンピュータの基礎	1				2	30
		データリテラシー	1				1	30
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4	1	30
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4	1	30
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1	2	3	4	1	30
		医学／医療史	1	2	3	4	2	30
		人間工学	1	2	3	4	2	30
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1				1	30
		郷土論～栃木学～	1	2	3	4	1	15
		医療福祉教養講義	1	2	3	4	1	15
		メディカルマナー入門	1	2	3	4	2	30
		総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1	2	3	4	1	15
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1	2	3	4	1	15
		食と人間	1	2			1	15
		人間と性	1	2	3	4	1	15
		持続可能な発展	1	2	3	4	2	30
		読書ゼミナール	1	2	3	4	1	15
		現代医療福祉事情	1	2	3	4	1	15
		ボランティア実践	1	2	3	4	1	15

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語CALL1 (Primary)	1	1		30	
		英語CALL2 (Basic)	1	1		30	
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語応用	1 2 3 4		1	30	
		韓国語発展	1 2 3 4		1	30	
	保健体育系	健康科学理論 ※	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践 ※	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1	2		30	
		救急医学	2		1	15	
		微生物と病気	1 2 3 4		2	30	
		リハビリテーション概論	2	2		30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		看護論	1		2	30	
		ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
		ケースワーク論	1 2		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1	2		30	
		社会福祉学	1 2		2	30	
		臨床心理学概論	2	2		30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習		4	1	45	
		リスクマネジメント論	3 4		2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15	
		レクリエーション概論	2 3 4		1	15	
	専門基礎	生体形態論Ⅰ（運動器系・循環器系）	1		1	30	
		生体形態論Ⅱ（内臓学・神経系・感覚器系）	1		1	30	
		生体機能論Ⅰ（循環・呼吸・消化・腎臓）	1		1	30	
		生体機能論Ⅱ（神経・運動・感覚）	1		1	30	
		栄養学	1		1	30	
		微生物学	1		1	30	
		病理学	1		1	30	
		薬理学	2		1	30	
		老年学	2		1	30	
		機能障害論Ⅰ（循環器・呼吸器・血液）	2		1	30	
		機能障害論Ⅱ（脳神経・消化器・内分泌）	2		1	30	
		機能障害論Ⅲ（生殖・腎泌尿器・運動・免疫）	2		1	30	
		機能障害論Ⅳ（精神・小児・老年関連疾患）	2		1	30	
	専門	基礎看護学概論	1		2	30	
		看護理論	1		1	15	
		看護方法論（看護過程）	2		1	30	
		日常生活援助論Ⅰ（環境と清潔）	1		1	30	
		日常生活援助論Ⅱ（食事と排泄）	1		1	30	
		看護技術論Ⅰ（ヘルスアセスメント）	1		1	30	
		看護技術論Ⅱ（診療支援技術）	1		1	30	
		基礎看護学実践演習	2		1	30	
		看護管理学	3		2	30	
		基礎看護学実習Ⅰ（看護援助の基本）	1		1	45	
		基礎看護学実習Ⅱ（看護過程の展開）	2		2	90	
		成人看護学概論	2		1	15	
		急性期看護学方法論	2		1	30	
慢性期・回復期看護学方法論		2		1	30		
がん・緩和ケア看護学方法論		2		1	30		
急性期看護学演習		3		1	30		
慢性期・回復期看護学演習		3		1	30		
救急医療とクリティカルケア看護		3		1	15		
高齢者看護学概論		2		1	15		
高齢者看護学方法論Ⅰ（生活機能を整える看護）		2		1	30		
高齢者看護学方法論Ⅱ（生活・療養の場における看護）		3		1	15		
高齢者看護学演習		3		1	30		
小児看護学概論		2		1	15		
小児看護学方法論		2		2	30		
小児看護学演習		3		1	30		
リプロダクティブヘルス看護学概論		2		1	15		
リプロダクティブヘルス看護学方法論	2		2	30			
リプロダクティブヘルス看護学演習	3		1	30			

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門	精神看護学概論	2	1		15	
		精神看護学方法論	2	2		30	
		精神看護学演習	3	1		30	
		生活療養支援実習Ⅰ(介護予防・生活支援実習)	2	1		45	
		生活療養支援実習Ⅱ(周手術期・クリティカルケア看護学実習)	3	2		90	
		生活療養支援実習Ⅲ(慢性・回復期看護学実習)	3	3		135	
		生活療養支援実習Ⅳ(施設看護実習)	3	2		90	
		生活療養支援実習Ⅴ(地域療養支援サービス実習)	3	1		45	
		小児看護学実習	3	2		90	
		リプロダクティブヘルス看護学実習	3	2		90	
		精神看護学実習	3	2		90	
		地域・在宅看護学概論	1	2		30	
		地域・在宅看護学方法論Ⅰ(生活を支える看護)	2	2		30	
		地域・在宅看護学方法論Ⅱ(対象別看護)	3	1		15	
		地域・在宅看護学演習	3	1		15	
		看護研究	3	2		30	
		看護研究ゼミⅠ(ベーシック)	4	1		30	
		看護研究ゼミⅡ(アドバンス)	4		1	30	
		看護学統合特論	4	1		45	
		看護管理学演習	4		1	30	
		国際看護学	4		1	15	
		家族看護学	2	1		15	
		看護倫理学	2		1	15	
		災害看護学	4		2	30	
		地域・在宅看護学実習	3	2		90	
		地域統合看護学実習(地域包括生活療養支援実習)	4	3		135	
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	1	2		30	
		公衆衛生看護学方法論	4	2		30	
		対象別保健活動論Ⅰ(発達段階別) ※	4		2	30	
		対象別保健活動論Ⅱ(障害別) ※	4		1	15	
		地域診断論 ※	3		1	30	
		健康教育論	3	2		30	
		産業保健論	2	1		15	
		学校保健論	2	1		15	
		健康危機管理論 ※	3		1	15	
		公衆衛生看護管理論 ※	4		2	30	
		公衆衛生看護特論 ※	4		1	30	
		公衆衛生看護学実習 ※	4		4	180	

別表1 授業科目の名称及び単位数
保健医療学部 理学療法学科

授業科目の名称			配当年次				単位数 必修 選択	時間	備 考
総合教育	人間系	文学論	1	2	3	4	2	30	
		演劇論	1	2	3	4	1	15	
		心理学	1	2	3	4	2	30	
		哲学	1	2	3	4	2	30	
		コミュニケーション概論	1	2	3	4	2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	2	30	
		人間学	1	2	3	4	2	30	
		歴史学	1	2	3	4	2	30	
		倫理学	1	2	3	4	2	30	
		宗教学	1	2	3	4	2	30	
		日本近現代史	1	2	3	4	2	30	
		文化人類学	1	2	3	4	2	30	
		教育学	1	2	3	4	2	30	
		教育方法論	1	2	3	4	2	30	
		死生学-死を通して生を考える-	1	2	3	4	2	30	
		生きがい論	1	2	3	4	2	30	
	社会系	法学	1	2	3	4	2	30	
		日本国憲法	1	2	3	4	2	30	
		法と道徳・倫理	1	2	3	4	2	30	
		社会学	1	2	3	4	2	30	
		日本政治経済論	1	2	3	4	2	30	
		マスメディア論	1	2	3	4	2	30	
		福祉経済学	1	2	3	4	2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4	2	30	
		国際関係論	1	2	3	4	2	30	
		世界の経済	1	2	3	4	2	30	
		国際医療福祉論	1	2	3	4	2	30	
		組織運営管理論	1	2	3	4	2	30	
		海外保健福祉事情	1	2	3	4	2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2	3	4	1	30	
		地球環境論	1	2	3	4	2	30	
		ボランティア論	1	2	3	4	2	30	
		ボランティアコーディネート論	1	2	3	4	2	30	
		手話入門	1	2	3	4	2	30	
		経済の仕組み	1	2	3	4	2	30	
		経済の歴史	1	2	3	4	2	30	
	自然・情報系	統計学	1	2	3	4	2	30	
		疫学・保健医療統計学	1	2	3	4	2	30	
		数学	1	2	3	4	2	30	
		物理学	1	2	3	4	2	30	
		化学	1	2	3	4	2	30	
		生物学	1	2	3	4	2	30	
		コンピュータの基礎	1	2	3	4	2	30	
		データリテラシー	1	2	3	4	1	30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4	1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4	1	30	
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1	2	3	4	1	30	
		医学／医療史	1	2	3	4	2	30	
		人間工学	1	2	3	4	2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1				1	30	
		郷土論～栃木学～	1	2	3	4	1	15	
		医療福祉教養講義	1	2	3	4	1	15	
		メディカルマナー入門	1	2	3	4	2	30	
		総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1	2	3	4	1	15	
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1	2	3	4	1	15	
		食と人間	1	2			1	15	
		人間と性	1	2	3	4	1	15	
		持続可能な発展	1	2	3	4	2	30	
		読書ゼミナール	1	2	3	4	1	15	
		現代医療福祉事情	1	2	3	4	1	15	
		ボランティア実践	1	2	3	4	1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語CALL1 (Primary)	1	1		30	
		英語CALL2 (Basic)	1	1		30	
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語応用	1 2 3 4		1	30	
		韓国語発展	1 2 3 4		1	30	
	系 体 保 育 健	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1 2 3 4		2	30	
		救急医学	2 3	1		15	
		微生物と病気	1 2 3 4		2	30	
		リハビリテーション概論	1		2	30	
		関連職種連携論	2		2	30	
		看護論	1		2	30	
		ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
		ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
		社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
		臨床心理学概論	2		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習		4	1	45	
		リスクマネジメント論	3 4		2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15	
		レクリエーション概論	2 3 4		1	15	
	専門基礎	解剖学Ⅰ（運動器系、内臓器系）	1		1	30	
		解剖学Ⅱ（内臓器系、神経系）	1		1	30	
		解剖学実習Ⅰ（肉眼）	1		1	45	
		解剖学実習Ⅱ（組織）	1		1	45	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1		1	30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1		1	30	
		生理学実習	1		1	45	
		運動学Ⅰ（基礎）	1		1	30	
		運動学Ⅱ（応用）	1		1	30	
		運動生理学	1		2	30	
		病理学	2		1	30	
		臨床医学概論	2		1	30	
		内科学Ⅰ（基礎）	2		1	30	
		内科学Ⅱ（臨床）	2		1	30	
		神経学Ⅰ（基礎）	2		1	30	
		神経学Ⅱ（臨床）	2		1	30	
		整形外科Ⅰ（基礎）	2		1	30	
		整形外科Ⅱ（臨床）	2		1	30	
		精神医学Ⅰ（総論・各論）	2		1	30	
		精神医学Ⅱ（各論）	2		1	30	
		運動学実習Ⅰ（基礎）	2		1	45	
		運動学実習Ⅱ（応用）	2		1	45	
		人間発達学	2		1	30	
		リハビリテーション医学	3		1	30	
		小児科学	2		1	30	
		老年学	2 3 4		1	30	
		神経心理学概論	2 3 4		2	30	
		臨床薬理学概論	2 3 4	1		15	
		スポーツ傷害学	2 3 4		1	15	
		外科学	2 3 4		1	15	
		栄養学	2 3 4		1	15	
	専門	パルペーション（運動機能）	1		1	15	
		理学療法概論	1		2	30	
		PTスキルⅠ演習（課題発表・PBL）	1		1	30	
		PTスキルⅡ演習（課題学習・口頭試問）	2		1	30	
		PTスキルⅢ演習（課題学習）	3		1	30	
		PTスキルⅣ演習（口頭試問・OSCE・CBT）	3		2	60	
		病態運動学	3		2	30	
		運動解剖学	2		2	30	
		バイオメカニクス	1 2 3 4		1	15	
		運動心理学	1 2 3 4		1	15	
		スポーツ心理学	1 2 3 4		1	15	
		スポーツ医科学	1 2 3 4		1	15	
		理学療法評価学	2		2	30	
		理学療法診断学Ⅰ（基礎）	2		1	30	
		理学療法診断学Ⅱ（疾患編）	2		1	30	
		理学療法診断学Ⅲ（神経・画像評価学を含む）	2		1	15	
		理学療法診断学Ⅳ（電気診断学）	2 3 4		1	15	
		動作分析学	2 3 4		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門	臨床動作分析学	2 3 4		1	15	
		運動負荷学	2 3 4		1	15	
		理学療法計測法	2 3 4	1		15	
		クリニカルリーズニング	2 3 4		1	15	
		高次脳機能障害学	2 3 4		1	15	
		物理療法学Ⅰ（基礎）	1	1		30	
		物理療法学Ⅱ（応用）	2	1		30	
		運動療法学総論	2	1		30	
		癌のリハビリテーション	2 3		1	15	
		生活技術学	3	1		30	
		生活環境学	3	1		30	
		義肢学	3	1		30	
		装具学	3	1		30	
		理学療法治療総論	3	1		15	
		運動系理学療法学Ⅰ（基礎）	3	1		30	
		運動系理学療法学Ⅱ（応用）	3	1		30	
		神経系理学療法学Ⅰ（脳血管）	3	1		30	
		神経系理学療法学Ⅱ（神経筋）	3	1		30	
		小児理学療法学	3	1		30	
		循環器系理学療法学	3	1		15	
		呼吸器系理学療法学	3	1		15	
		代謝系理学療法学	3	1		15	
		地域理学療法学演習（在宅・地域）	3	1		30	
		急性期理学療法学	2 3 4		1	15	
		スポーツ理学療法学	2 3 4		1	15	
		スポーツ傷害治療学	2 3 4		1	15	
		ヘルスプロモーション論	2 3 4		1	15	
		産科理学療法学	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅰ（神経筋促進治療学）	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅱ（神経発達学的治療学）	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅲ（マニュアルセラピー関節）	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅳ（マニュアルセラピー脊柱）	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅴ（マニュアルセラピー徒手）	3 4		1	15	
		基礎実習	1		1	45	
		検査実習	2		2	90	
		地域リハビリテーション実習	3 4	1		45	
		評価実習	3		4	180	
		総合臨床実習	4	12		540	
		理学療法特論Ⅰ（基礎）	4	2		30	
		理学療法特論Ⅱ（応用）	2 3 4		2	30	
		理学療法研究法	2 3 4		1	15	
		理学療法教育学	2 3 4		1	15	
		理学療法統計法	4		1	15	
		理学療法管理学	2 3 4	2		30	
		障害者スポーツ概論	2 3 4		1	15	
		ジャーナルリーディング	2 3 4		1	15	
		理学療法国際事情	1 2 3 4		1	15	
		卒業研究	4		4	180	

別表1 授業科目の名称及び単位数
保健医療学部 作業療法学科

授業科目の名称			配当年次		単位数		時間	備 考
					必修	選択		
総合教育	人間系	文学論	1	2	3	4	2	30
		演劇論	1	2	3	4	1	15
		心理学	1	2	3	4	2	30
		哲学	1	2	3	4	2	30
		コミュニケーション概論	1	2	3	4	2	30
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	2	30
		人間学	1	2	3	4	2	30
		歴史学	1	2	3	4	2	30
		倫理学	1	2	3	4	2	30
		宗教学	1	2	3	4	2	30
		日本近現代史	1	2	3	4	2	30
		文化人類学	1	2	3	4	2	30
		教育学	1	2	3	4	2	30
		教育方法論	1	2	3	4	2	30
	社会系	死生学-死を通して生を考える-	1	2	3	4	2	30
		生きがい論	1	2	3	4	2	30
		法学	1	2	3	4	2	30
		日本国憲法	1	2	3	4	2	30
		法と道徳・倫理	1	2	3	4	2	30
		社会学	1	2	3	4	2	30
		日本政治経済論	1	2	3	4	2	30
		マスメディア論	1	2	3	4	2	30
		福祉経済学	1	2	3	4	2	30
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4	2	30
		国際関係論	1	2	3	4	2	30
		世界の経済	1	2	3	4	2	30
		国際医療福祉論	1	2	3	4	2	30
		組織運営管理論	1	2	3	4	2	30
		海外保健福祉事情	1	2	3	4	2	30
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2	3	4	1	30
		地球環境論	1	2	3	4	2	30
		ボランティア論	1	2	3	4	2	30
		ボランティアコーディネート論	1	2	3	4	2	30
		手話入門	1	2	3	4	2	30
		経済の仕組み	1	2	3	4	2	30
		経済の歴史	1	2	3	4	2	30
	自然・情報系	統計学	1	2	3	4	2	30
		疫学・保健医療統計学	1	2	3	4	2	30
		数学	1	2	3	4	2	30
		物理学	1	2	3	4	2	30
		化学	1	2	3	4	2	30
		生物学	1	2	3	4	2	30
		コンピュータの基礎	1	2	3	4	2	30
		データリテラシー	1	2	3	4	1	30
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4	1	30
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4	1	30
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1	2	3	4	1	30
		医学／医療史	1	2	3	4	2	30
		人間工学	1	2	3	4	2	30
	総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1				1	30
		郷土論～栃木学～	1	2	3	4	1	15
		医療福祉教養講義	1	2	3	4	1	15
		メディカルマナー入門	1	2	3	4	2	30
		総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-	1	2	3	4	1	15
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1	2	3	4	1	15
		食と人間	1	2			1	15
		人間と性	1	2	3	4	1	15
		持続可能な発展	1	2	3	4	2	30
		読書ゼミナール	1	2	3	4	1	15
		現代医療福祉事情	1	2	3	4	1	15
		ボランティア実践	1	2	3	4	1	15

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考	
				必修	選択			
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30		
		英語講読2 (Basic)	1	1		30		
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4		1	30		
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4		1	30		
		英語CALL1 (Primary)	1	1		30		
		英語CALL2 (Basic)	1	1		30		
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4		1	30		
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4		1	30		
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4		1	30		
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4		1	30		
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30		
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30		
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30		
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30		
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30		
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30		
		中国語入門	1 2 3 4		1	30		
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30		
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30		
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30		
		韓国語応用	1 2 3 4		1	30		
		韓国語発展	1 2 3 4		1	30		
	系 体 保 育 健	健康科学理論	1 2 3 4		1	15		
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30		

授業科目の名称			配当年次				単位数		時間	備 考	
							必修	選択			
専門基礎／学部共通	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1	2	3	4	2		30		
		救急医学		2	3	4	1		15		
		微生物と病気	1	2	3	4		2	30		
		リハビリテーション概論	1	2	3	4	2		30		
		関連職種連携論		2			2		30		
		看護論	1					2	30		
		ケアマネジメント論		2	3	4		1	15		
		ケースワーク論	1	2	3	4		1	15		
		医療管理学	1	2	3	4		2	30		
		保健医療福祉制度論	1	2	3	4		2	30		
		社会福祉学	1	2	3	4		2	30		
		臨床心理学概論	1	2	3	4	2		30		
		福祉支援工学概論	1	2	3	4		2	30		
		関連職種連携ワーク		3			1		30		
		関連職種連携実習			4			1	45		
		リスクマネジメント論		3	4			2	30		
		電子カルテシステム入門		2	3	4		1	15		
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）		2	3	4		1	15		
		レクリエーション概論		2	3	4		1	15		
	専門基礎	解剖学Ⅰ（運動器系、循環器系）	1				1		30		
		解剖学Ⅱ（内臓学、神経系、感覚器系）	1				1		30		
		解剖学実習	1				1		45		
		生理学Ⅰ（植物性功能）	1				1		30		
		生理学Ⅱ（動物性功能）	1				1		30		
		生理学実習	1				1		45		
		運動学Ⅰ（基礎）	1				1		30		
		運動学Ⅱ（応用）	1				1		30		
		運動学実習		2			1		45		
		運動生理学		2			1		30		
		病理学		2			1		30		
		内科学		2			1		30		
		神経学Ⅰ（基礎）		2			1		30		
		神経学Ⅱ（臨床）		2			1		30		
		整形外科Ⅰ（基礎）		2			1		30		
		整形外科Ⅱ（臨床）		2			1		30		
		精神医学Ⅰ（基礎）		2			1		30		
		精神医学Ⅱ（臨床）		3			1		30		
		小児科学		2			1		30		
		老年学		3			1		30		
		リハビリテーション医学		3			1		30		
		人間発達学	1				1		30		
		病態生理学		2				1	15		
		臨床薬理学概論		2			1		15		
		栄養学		2				1	15		
		外科学		2				1	15		
		脳神経外科学		2				1	15		
		神経心理学概論		2				1	15		
		対人援助論		2	3	4		1	15		

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考	
				必修	選択			
専門教育	専門	作業療法概論	1	1		15		
		作業学概論	1	1		15		
		作業工程技術学・基礎論	1	1		30		
		作業工程技術学・応用論	1	1		30		
		作業分析学Ⅰ（基礎）	2	1		30		
		作業分析学Ⅱ（応用）	2	1		30		
		作業応用論	2 3 4		1	30		
		研究法概論	3	1		15		
		研究法演習	3	1		30		
		卒業研究	4		1	30		
		作業療法管理学（倫理・管理）	4	1		15		
		作業療法総括論	4	1		30		
		作業療法評価学概論	2	1		15		
		作業療法評価学各論	2	1		30		
		作業療法評価学演習	2	1		30		
		基礎運動機能評価法	2	1		30		
		生活機能論	2	1		30		
		上肢機能評価法	2		1	15		
		日常生活活動評価法	2		1	15		
		認知機能評価法	3		1	15		
		作業療法諸理論	2 3 4		1	15		
		作業療法適用学概論	2	1		15		
		内科系疾患作業療法学	3	1		30		
		運動器疾患作業療法学	3	1		30		
		中枢神経疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30		
		中枢神経疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30		
		精神疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30		
		精神疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30		
		小児作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30		
		小児作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30		
		老年作業療法学	3	1		30		
		認知障害作業療法学	3	1		30		
		認知症作業療法特論	3		1	15		
		作業療法適用学特論	3		1	15		
		作業療法応用学概論	4	1		15		
		就学・就労支援論	4	1		15		
		生活技術学Ⅰ（総論）	2	1		30		
		生活技術学Ⅱ（各論）	3	1		30		
		コミュニケーション技術論	2	1		30		
		職業関連技術学	3	1		30		
		作業療法の諸外国事情	2 3 4		1	15		
		地域生活作業療法論	4	1		30		
		地域ケアシステム論	3 4		1	15		
		生活支援計画論	3 4		1	15		
		障害代償学概論	2	1		15		
		義肢適用論	3	1		15		
		装具・副子適用論	3	1		30		
		自助具・福祉機器適用論	3	1		30		
		住環境整備論	3	1		15		
		バリアフリー論	2 3 4		1	15		
		臨床実習特論Ⅰ（OSCE）	3		1	15		
		臨床実習特論Ⅱ（OSCE）	4		1	15		
		臨床実習Ⅰ（早期臨床見学）	1	1		45		
		臨床実習Ⅱ（早期臨床体験）	2	1		45		
		臨床実習Ⅲ（臨床評価）	3	3		135		
		臨床実習Ⅳ（臨床推論・作業療法計画立案）	3	5		225		
		総合実習Ⅰ（作業療法実践）	4	6		270		
		総合実習Ⅱ（作業療法実践）	4	6		270		
		地域リハビリテーション実習	4	1		45		
		臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	1		1	15		
		臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践過程）	2		1	15		
		臨床実習ゼミⅢ（作業療法計画立案）	3		1	15		
		臨床実習ゼミⅣ（作業療法実践）	4		1	15		

別表1 授業科目の名称及び単位数
保健医療学部 言語聴覚学科

授業科目の名称			配当年次		単位数		時間	備 考
					必修	選択		
総合教育	人間系	文学論	1	2	3	4	2	30
		演劇論	1	2	3	4	1	15
		心理学	1	2	3	4	2	30
		哲学	1	2	3	4	2	30
		コミュニケーション概論	1	2	3	4	2	30
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	2	30
		人間学	1	2	3	4	2	30
		歴史学	1	2	3	4	2	30
		倫理学	1	2	3	4	2	30
		宗教学	1	2	3	4	2	30
		日本近現代史	1	2	3	4	2	30
		文化人類学	1	2	3	4	2	30
		教育学	1	2	3	4	2	30
		教育方法論	1	2	3	4	2	30
		死生学-死を通して生を考える-	1	2	3	4	2	30
		生きがい論	1	2	3	4	2	30
	社会系	法学	1	2	3	4	2	30
		日本国憲法	1	2	3	4	2	30
		法と道徳・倫理	1	2	3	4	2	30
		社会学	1	2	3	4	2	30
		日本政治経済論	1	2	3	4	2	30
		マスメディア論	1	2	3	4	2	30
		福祉経済学	1	2	3	4	2	30
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4	2	30
		国際関係論	1	2	3	4	2	30
		世界の経済	1	2	3	4	2	30
		国際医療福祉論	1	2	3	4	2	30
		組織運営管理論	1	2	3	4	2	30
		海外保健福祉事情	1	2	3	4	2	30
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2	3	4	1	30
		地球環境論	1	2	3	4	2	30
		ボランティア論	1	2	3	4	2	30
		ボランティアコーディネート論	1	2	3	4	2	30
		手話入門	1	2	3	4	2	30
		経済の仕組み	1	2	3	4	2	30
		経済の歴史	1	2	3	4	2	30
	自然・情報系	統計学	1	2	3	4	2	30
		疫学・保健医療統計学	1	2	3	4	2	30
		数学	1	2	3	4	2	30
		物理学	1	2	3	4	2	30
		化学	1	2	3	4	2	30
		生物学	1	2	3	4	2	30
		コンピュータの基礎	1	2	3	4	2	30
		データリテラシー	1	2	3	4	1	30
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4	1	30
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4	1	30
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	2	3	4	1	30
		医学／医療史	1	2	3	4	2	30
		人間工学	1	2	3	4	2	30
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1				1	30
		郷土論～栃木学～	1	2	3	4	1	15
		医療福祉教養講義	1	2	3	4	1	15
		メディカルマナー入門	1	2	3	4	2	30
		総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1	2	3	4	1	15
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1	2	3	4	1	15
		食と人間	1	2			1	15
		人間と性	1	2	3	4	1	15
		持続可能な発展	1	2	3	4	2	30
		読書ゼミナール	1	2	3	4	1	15
		現代医療福祉事情	1	2	3	4	1	15
		ボランティア実践	1	2	3	4	1	15

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語CALL1 (Primary)	1	1		30	
		英語CALL2 (Basic)	1	1		30	
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語応用	1 2 3 4		1	30	
		韓国語発展	1 2 3 4		1	30	
	系 体 保 育 健	健康科学理論	1 2 3 4	1		15	
		健康科学実践	1 2 3 4	1		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1 2 3 4		2	30	
		救急医学	2 3		1	15	
		微生物と病気	1 2 3 4		2	30	
		リハビリテーション概論	1 2	2		30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		看護論	1		2	30	
		ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
		ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1	2		30	
		社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
		臨床心理学概論	1 2 3 4		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	3 4		2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15	
		レクリエーション概論	2 3 4		1	15	
	専門基礎	解剖学	1		2	30	
		生理学	1		2	30	
		病理学	1		1	15	
		医学概論	1		1	15	
		内科学	3	1		30	
		精神医学	3	1		30	
		リハビリテーション医学	2	1		30	
		小児科学	2	1		30	
		耳鼻咽喉科学	3	1		30	
		臨床神経学	2	1		30	
		形成外科学	3	1		15	
		臨床歯科医学	2	1		15	
		口腔外科学	3	1		15	
		音声言語医学	2	1		30	
		中枢神経機能学	2	1		30	
		聴覚医学	2	1		30	
		児童精神医学	1 2 3 4		1	15	
		老年学	1 2 3 4		1	30	
		遺伝学	1 2 3 4		1	15	
		脳神経外科学	1 2 3 4		1	15	
		臨床心理学	2	1		30	
		生涯発達心理学	1	1		30	
		学習心理学	2	1		30	
		神経心理学	1	1		30	
		認知心理学	2	1		30	
		心理測定法	2	1		30	
		心理測定法演習	2	1		30	
		言語学	1	1		30	
		言語心理学	2	1		30	
		言語発達学	2	1		30	
		基礎音声学	1	1		30	
		音声学	2	1		30	
		音声音響学	2	1		30	
		聴覚心理学	3	1		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門	言語聴覚障害学概論	1	1		30	
		コミュニケーション技能演習	1	1		30	
		コミュニケーション障害演習	2	1		15	
		言語聴覚障害診断学	3	1		30	
		失語症・高次脳機能障害学総論Ⅰ	2	1		30	
		失語症・高次脳機能障害学総論Ⅱ	2	1		30	
		失語症学Ⅰ（評価・診断）	3	1		30	
		失語症学Ⅱ（治療）	3	1		30	
		失語症・高次脳機能障害学演習	3	1		30	
		高次脳機能障害学	3	1		30	
		言語発達障害学総論	2	1		30	
		言語発達障害学各論	2	1		30	
		言語発達障害学Ⅰ（評価・診断）	3	1		30	
		言語発達障害学Ⅰ演習（評価・診断）	3	1		30	
		言語発達障害学Ⅱ（指導）	3	1		30	
		言語発達障害学Ⅱ演習（指導）	3	1		30	
		聴覚障害学総論	2	1		30	
		聴覚機能評価学	2	2		60	
		聴覚補償論（補聴器・人工内耳など）	3	1		30	
		小児聴覚障害学Ⅰ（評価・診断）	3	1		30	
		小児聴覚障害学Ⅱ（指導）	3	1		30	
		成人聴覚障害学（二重障害を含む）	3	1		30	
		発声発語障害学総論	2	2		30	
		構音障害学Ⅰ（理論）	2	1		30	
		構音障害学Ⅱ（評価・診断）	3	1		30	
		構音障害学演習（治療）	3	1		45	
		流暢性障害学	2	1		30	
		音声障害学	3	1		30	
		摂食・嚥下障害学Ⅰ（理論・評価診断）	3	1		30	
		摂食・嚥下障害学Ⅱ（治療）	3	1		30	
		言語聴覚障害学研究法	3		2	30	
		言語聴覚障害基礎演習	3	1		15	
		言語聴覚療法特論	4	1		15	
		言語聴覚障害学特論（総括）	4	1		15	
		卒業研究	4		4	60	
		臨床実習Ⅰ（基礎）	3	2		90	
		臨床実習Ⅱ（総合）	4	10		450	

別表1 授業科目の名称及び単位数
保健医療学部 視機能療学科

授業科目の名称			配当年次		単位数		時間	備 考
					必修	選択		
総合教育	人間系	文学論	1	2	3	4	2	30
		演劇論	1	2	3	4	1	15
		心理学	1	2	3	4	2	30
		哲学	1	2	3	4	2	30
		コミュニケーション概論	1	2	3	4	2	30
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	2	30
		人間学	1	2	3	4	2	30
		歴史学	1	2	3	4	2	30
		倫理学	1	2	3	4	2	30
		宗教学	1	2	3	4	2	30
		日本近現代史	1	2	3	4	2	30
		文化人類学	1	2	3	4	2	30
		教育学	1	2	3	4	2	30
		教育方法論	1	2	3	4	2	30
	社会系	死生学-死を通して生を考える-	1	2	3	4	2	30
		生きがい論	1	2	3	4	2	30
		法学	1	2	3	4	2	30
		日本国憲法	1	2	3	4	2	30
		法と道徳・倫理	1	2	3	4	2	30
		社会学	1	2	3	4	2	30
		日本政治経済論	1	2	3	4	2	30
		マスメディア論	1	2	3	4	2	30
		福祉経済学	1	2	3	4	2	30
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4	2	30
		国際関係論	1	2	3	4	2	30
		世界の経済	1	2	3	4	2	30
		国際医療福祉論	1	2	3	4	2	30
		組織運営管理論	1	2	3	4	2	30
		海外保健福祉事情	1	2	3	4	2	30
	自然・情報系	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2	3	4	1	30
		地球環境論	1	2	3	4	2	30
		ボランティア論	1	2	3	4	2	30
		ボランティアコーディネート論	1	2	3	4	2	30
		手話入門	1	2	3	4	2	30
		経済の仕組み	1	2	3	4	2	30
		経済の歴史	1	2	3	4	2	30
		統計学	1	2	3	4	2	30
		疫学・保健医療統計学	1	2	3	4	2	30
		数学	1	2	3	4	2	30
		物理学	1	2	3	4	2	30
		化学	1	2	3	4	2	30
		生物学	1	2	3	4	2	30
		コンピュータの基礎	1	2	3	4	2	30
	総合系	データリテラシー	1	2	3	4	1	30
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4	1	30
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4	1	30
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1	2	3	4	1	30
		医学／医療史	1	2	3	4	2	30
		人間工学	1	2	3	4	2	30
		大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1				1	30
		郷土論～栃木学～	1	2	3	4	1	15
		医療福祉教養講義	1	2	3	4	1	15
		メディカルマナー入門	1	2	3	4	2	30
		総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-	1	2	3	4	1	15
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1	2	3	4	1	15
		食と人間	1	2			1	15
		人間と性	1	2	3	4	1	15
		持続可能な発展	1	2	3	4	2	30
		読書ゼミナール	1	2	3	4	1	15
		現代医療福祉事情	1	2	3	4	1	15
		ボランティア実践	1	2	3	4	1	15

別表1 授業科目の名称及び単位数
保健医療学部 視機能療法学科

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考	
				必修	選択			
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30		
		英語講読2 (Basic)	1	1		30		
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4		1	30		
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4		1	30		
		英語CALL1 (Primary)	1	1		30		
		英語CALL2 (Basic)	1	1		30		
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4		1	30		
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4		1	30		
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4		1	30		
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4		1	30		
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30		
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30		
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30		
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30		
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30		
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30		
		中国語入門	1 2 3 4		1	30		
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30		
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30		
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30		
		韓国語応用	1 2 3 4		1	30		
		韓国語発展	1 2 3 4		1	30		
	体育健康系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15		
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30		

別表1 授業科目の名称及び単位数
保健医療学部 視機能療法学科

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考	
				必修	選択			
専門教育	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1	2		30		
		救急医学	2		1	15		
		微生物と病気	1 2 3 4		2	30		
		リハビリテーション概論	1	2		30		
		関連職種連携論	2	2		30		
		看護論	1		2	30		
		ケアマネジメント論	2		1	15		
		ケースワーク論	1 2		1	15		
		医療管理学	1 2		2	30		
		保健医療福祉制度論	1 2		2	30		
		社会福祉学	1	2		30		
		臨床心理学概論	2	2		30		
		福祉支援工学概論	1 2		2	30		
		関連職種連携ワーク	3	1		30		
		関連職種連携実習		4	1	45		
		リスクマネジメント論	3 4		2	30		
		電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15		
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15		
		レクリエーション概論	2 3 4		1	15		
	専門基礎	解剖学Ⅰ（運動器系、内臓器系）	1	1		30		
		解剖学Ⅱ（内臓器系、神経系）	1	1		30		
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1		30		
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1	1		30		
		人間発達学	1	1		30		
		病理学	2		1	30		
		関係法規・医学概論	2	1		15		
		内科学Ⅰ（基礎）	2	1		30		
		内科学Ⅱ（応用）	2		1	30		
		神経学	2		1	30		
		精神衛生	2	1		30		
		リハビリテーション医学	2	1		30		
		小児科学	2	1		30		
		老年学	2		1	30		
		神経心理学概論	2		2	30		
		薬理学	2	1		30		
		外科学	2		1	15		
		栄養学	2		1	15		
		保育	2	1		15		
		視能学概論	1	2		30		
		視器解剖生理学	1	2		30		
		視器解剖病態学	2	2		30		
		視覚運動生理学	2	2		30		
		生理光学Ⅰ（基礎）	1	2		30		
		視覚臨床生理学	3	2		30		
		高次脳機能障害	3	1		30		

別表1 授業科目の名称及び単位数
保健医療学部 視機能療法学科

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専 門 教 育	専 門	生理光学Ⅱ（応用）	2	2		30	
		生理光学Ⅲ（実践）	2	2		30	
		生理光学実習	2	2		90	
		臨床屈折矯正学演習	3	1		30	
		視能障害学Ⅰ（基礎）	2	2		30	
		視能障害学Ⅱ（応用）	3	2		30	
		神経眼科学	3	2		30	
		視能矯正学Ⅰ（外眼筋の作用と眼球運動）	1	2		30	
		視能矯正学Ⅱ（両眼視の基礎）	2	2		30	
		視能矯正学Ⅲ（弱視・斜視の基本的知識）	2	2		30	
		視能矯正学実習	2	2		90	
		視能検査学Ⅰ（機能検査）	3	2		30	
		視能検査学Ⅱ（形態・画像検査）	3	2		30	
		視能検査学実習Ⅰ（機能検査）	3	3		135	
		視能検査学実習Ⅱ（形態・画像検査）	3	3		135	
		視能訓練学Ⅰ（病態評価の基本的知識）	2	2		30	
		視能訓練学Ⅱ（弱視・斜視の病態）	3	2		30	
		視能訓練学Ⅲ（視能矯正管理の実践）	3	2		30	
		視能学総合演習Ⅰ（実践）	3	1		30	
		視能学総合演習Ⅱ（発展）	4	2		60	
		臨地実習Ⅰ（基本）	3	1		45	
		臨地実習Ⅱ（応用）	4	1		45	
		臨地実習Ⅲ（発展）	4	12		540	
		視能学評価実習	4	1		45	
		保健福祉実習	3	1		45	
		視覚リハビリテーション	3	1		30	
		視覚リハビリテーション演習	3	1		30	
		視能学研究法Ⅰ（文献詳読）	3	1		15	
		視能学研究法Ⅱ（データ解析と考察）	3	1		15	
		卒業研究	4		2	60	

別表1 授業科目の名称及び単位数
保健医療学部 放射線・情報科学科

授業科目の名称			配当年次		単位数		時間	備 考
					必修	選択		
総合教育	人間系	文学論	1	2	3	4	2	30
		演劇論	1	2	3	4	1	15
		心理学	1	2	3	4	2	30
		哲学	1	2	3	4	2	30
		コミュニケーション概論	1	2	3	4	2	30
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	2	30
		人間学	1	2	3	4	2	30
		歴史学	1	2	3	4	2	30
		倫理学	1	2	3	4	2	30
		宗教学	1	2	3	4	2	30
		日本近現代史	1	2	3	4	2	30
		文化人類学	1	2	3	4	2	30
		教育学	1	2	3	4	2	30
		教育方法論	1	2	3	4	2	30
	社会系	死生学-死を通して生を考える-	1	2	3	4	2	30
		生きがい論	1	2	3	4	2	30
		法学	1	2	3	4	2	30
		日本国憲法	1	2	3	4	2	30
		法と道徳・倫理	1	2	3	4	2	30
		社会学	1	2	3	4	2	30
		日本政治経済論	1	2	3	4	2	30
		マスメディア論	1	2	3	4	2	30
		福祉経済学	1	2	3	4	2	30
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4	2	30
		国際関係論	1	2	3	4	2	30
		世界の経済	1	2	3	4	2	30
		国際医療福祉論	1	2	3	4	2	30
		組織運営管理論	1	2	3	4	2	30
		海外保健福祉事情	1	2	3	4	2	30
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2	3	4	1	30
		地球環境論	1	2	3	4	2	30
		ボランティア論	1	2	3	4	2	30
		ボランティアコーディネート論	1	2	3	4	2	30
		手話入門	1	2	3	4	2	30
		経済の仕組み	1	2	3	4	2	30
		経済の歴史	1	2	3	4	2	30
	自然・情報系	統計学	1	2	3	4	2	30
		疫学・保健医療統計学	1	2	3	4	2	30
		数学	1	2	3	4	2	30
		物理学	1	2	3	4	2	30
		化学	1	2	3	4	2	30
		生物学	1				2	30
		コンピュータの基礎	1				2	30
		データリテラシー	1				1	30
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4	1	30
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4	1	30
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1	2	3	4	1	30
		医学／医療史	1	2	3	4	2	30
		人間工学	1	2	3	4	2	30
	総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1				1	30
		郷土論～栃木学～	1	2	3	4	1	15
		医療福祉教養講義	1	2	3	4	1	15
		メディカルマナー入門	1	2	3	4	2	30
		総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-	1	2	3	4	1	15
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1	2	3	4	1	15
		食と人間	1	2			1	15
		人間と性	1	2	3	4	1	15
		持続可能な発展	1	2	3	4	2	30
		読書ゼミナール	1	2	3	4	1	15
		現代医療福祉事情	1	2	3	4	1	15
		ボランティア実践	1	2	3	4	1	15

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語CALL1 (Primary)	1	1		30	
		英語CALL2 (Basic)	1	1		30	
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語応用	1 2 3 4		1	30	
		韓国語発展	1 2 3 4		1	30	
	系 体 保 育 健	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	2	2		30	
		救急医学	2		1	15	
		微生物と病気	1 2 3 4		2	30	
		リハビリテーション概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		看護論	1		2	30	
		ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
		ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
		社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
		臨床心理学概論	1 2 3 4		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習		4	1	45	
		リスクマネジメント論	3 4		2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15	
		レクリエーション概論	2 3 4		1	15	
	専門基礎	基礎数学	1		1	30	
		基礎統計学	2		1	30	
		自然科学概論	1		2	30	
		基礎物理学	1		1	30	
		基礎化学	1		1	30	
		基礎生物学	1		1	30	
		自然科学実験	1		1	45	
		解剖学Ⅰ（運動器系・循環器系・内臓系）	1		1	30	
		解剖学Ⅱ（内臓系・神経系・感覚器系）	1		1	30	
		生理学	1		2	30	
		病理学	2		2	30	
		病態生理学	2		1	15	
		臨床解剖学	3		1	30	
		医学概論	1		2	30	
		看護概論	3		1	15	
	専門	応用数学	1		1	30	
		放射線物理学Ⅰ（基礎）	1		1	30	
		放射線物理学Ⅱ（発展）	2		1	30	
		放射化学	2		1	30	
		放射線生物学	2		1	30	
		放射線科学演習	2		1	30	
		放射線計測学	2		1	30	
		放射線計測学実験	2		1	45	
		放射線管理学	2		2	30	
		放射線管理学実験	4		1	45	
		放射線関係法規	3		1	15	
		画像情報学Ⅰ（感光理論・処理）	1		2	30	
		画像情報学Ⅱ（画質評価）	1		2	30	
		画像情報学実験	1		1	45	
		画像情報学特論	4		1	30	
		コンピュータ演習Ⅰ（データ処理）	1		1	30	
		コンピュータ演習Ⅱ（プログラミング）	2		1	30	
		医療情報システム論	3		1	15	
		医用工学	1		1	30	
		医用工学演習	2		1	30	
		X線機器工学	1		2	30	
		診療画像機器工学	2		1	30	
		X線機器工学実験	2		1	45	
		診療画像機器工学実験	2		1	45	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考		
				必修	選択				
専 門 教 育	専 門	診療放射線概論	1	1		15			
		診療画像検査学概論	1	1		15			
		X線検査学Ⅰ（単純撮影・他）	2	1		30			
		X線検査学Ⅱ（造影検査・他）	2	1		30			
		X線C T検査学	2	2		30			
		MRⅠ検査学	2	2		30			
		MRⅠ特論		4		1	30		
		超音波検査学	2	2		30			
		診療画像学実験Ⅰ（X線検査・他）	2	1		45			
		診療画像学実験Ⅱ（CT・MRI・超音波検査・他）	2	1		45			
		核医学Ⅰ（基礎）	2	2		30			
		核医学Ⅱ（臨床）		3	2		30		
		核医学実験		3	2		60		
		核医学特論		4		1	30		
		放射線治療学Ⅰ（物理・技術）	2	2		30			
		放射線治療学Ⅱ（臨床）		3	2		30		
		放射線治療機器工学	2	1		15			
		放射線治療学実験		3	2		60		
		放射線腫瘍特論		4		1	30		
		画像解剖学	2	1		30			
		画像診断学		4	1		30		
		画像診断学演習		4		1	30		
		死亡時画像診断学		4		1	30		
		臨床医学Ⅰ（基礎）		3	1		30		
		臨床医学Ⅱ（発展）		4	1		30		
		臨床薬理学		3	1		15		
		放射線救急医学		3	2		30		
		医療安全概論		3	1		30		
		医療安全管理学		4	1		30		
		臨床画像学演習		3	2		60		
		診療画像臨床実習		3	8		360		
		核医学検査臨床実習		3	2		90		
		放射線治療臨床実習		3	2		90		
		診療放射線特論		4	1		30		
		放射線学演習Ⅰ（基礎）		4	1		30		
		放射線学演習Ⅱ（総合）		4	1		30		
		卒業研究Ⅰ（調査・計画）		4	1		45		
		卒業研究Ⅱ（研究報告）		4	1		45		

別表1 授業科目の名称及び単位数
医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
		演劇論	1 2 3 4		1	15	
		心理学	1 2 3 4		2	30	
		哲学	1 2 3 4		2	30	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		歴史学	1 2 3 4		2	30	
		倫理学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
		教育方法論	1 2 3 4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える-	1 2 3 4		2	30	
		生きがい論	1 2 3 4		2	30	
	社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
		日本国憲法	1 2 3 4		2	30	
		法と道徳・倫理	1 2 3 4		2	30	
		社会学	1 2 3 4		2	30	
		日本政治経済論	1 2 3 4		2	30	
		マスメディア論	1 2 3 4		2	30	
		福祉経済学	1 2 3 4		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4		2	30	
		国際関係論	1 2 3 4		2	30	
		世界の経済	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1 2 3 4	1		30	
		地球環境論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティアコーディネート論	1 2 3 4		2	30	
		手話入門	1 2 3 4		2	30	
		経済の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		経済の歴史	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	統計学	1 2 3 4		2	30	
		疫学・保健医療統計学	1 2 3 4		2	30	
		数学	1 2 3 4		2	30	
		物理学	1 2 3 4		2	30	
		化学	1 2 3 4		2	30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
		コンピュータの基礎	1 2 3 4		2	30	
		データリテラシー	1 2 3 4	1		30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1 2 3 4	1		30	
		医学／医療史	1 2 3 4		2	30	
		人間工学	1 2 3 4		2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1		30	
		郷土論～栃木学～	1 2 3 4		1	15	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
		総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1 2 3 4		1	15	
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1 2 3 4		1	15	
		食と人間	1 2 3 4		1	15	
		人間と性	1 2 3 4		1	15	
		持続可能な発展	1 2 3 4		2	30	
		読書ゼミナール	1 2 3 4		1	15	
		現代医療福祉事情	1 2 3 4		1	15	
		ボランティア実践	1 2 3 4		1	15	

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語CALL1 (Primary)	1	1		30	
		英語CALL2 (Basic)	1	1		30	
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語応用	1 2 3 4		1	30	
		韓国語発展	1 2 3 4		1	30	
	体育健康系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1 2 3 4		2	30	
		救急医学	2 3 4		1	15	
		微生物と病気	1 2 3 4		2	30	
		リハビリテーション概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		看護論	1		2	30	
		ケアマネジメント論	1 2 3 4		1	15	
		ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
		社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
		臨床心理学概論	1 2 3 4		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	3 4		2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15	
		レクリエーション概論	2 3 4		1	15	
	専門	入門ゼミ	1 2	1		30	
		こころとからだのしくみⅠ（身体）	1 2		2	30	
		こころとからだのしくみⅡ（精神）	1 2		2	30	
		医学概論	1		2	30	
		医療概論	1		2	30	
		社会福祉の原理と政策	1 2		4	60	
		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	1		2	30	
		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	1		2	30	
		介護の基本Ⅰ（介護福祉士の職務・職業倫理等）	1 2		4	60	
		生活支援技術Ⅰ（生活支援）	1 2		2	30	
		人間関係とチームケア	1 2		2	30	
		医療管理総論	1		2	30	
		経営学	1		4	60	
		簿記論Ⅰ（基礎）	1		4	60	
		臨床医学総論	1		2	30	
		ソーシャルワーク演習Ⅰ	1		1	30	
		診療情報・マネジメント基礎演習	1		1	30	
		簿記演習Ⅰ（基礎）	1 2		2	60	
		レクリエーション指導法	1 2 3 4		4	60	
		こころとからだのしくみⅢ（生活支援）	2		4	60	
		コミュニケーション技術	2		4	60	
		介護の基本Ⅱ（自立に向けた介護等）	2		4	60	
		介護過程Ⅰ（介護過程の意義・展開）	2		4	60	
		障害の理解	2		4	60	
		生活支援技術Ⅱ（身支度・移動の介護）	2		4	60	
		生活支援技術Ⅲ（入浴・排泄・食事の介護）	2		4	60	
		生活支援技術Ⅳ（住環境・家事）	2		4	60	
		生活支援技術Ⅴ（睡眠・終末期の介護）	2		2	30	
		医療的ケア論Ⅰ	2		1	15	
		介護実習Ⅰ（多様な施設における実習）	2 3		2	90	
		介護総合演習Ⅰ（基礎）	2 3		2	60	
		医療福祉関連法規	2		2	30	
		医療管理各論Ⅰ（病院管理）	2		2	30	
		医療管理各論Ⅱ（医療保険・介護保険制度）	2		2	30	
		医療管理各論Ⅲ（医療安全・医療の質管理）	2		2	30	
		保健医療情報学	2		2	30	
		医療統計Ⅰ（統計理論）	2		2	30	
		医療統計Ⅱ（病院統計・疾病統計）	2		2	30	
		医療情報統計演習	2 3		1	30	
		臨床医学各論A(新生物と消化器・泌尿器系)	1 2		2	30	
		臨床医学各論B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系)	1 2		2	30	
		臨床医学各論C(感染症と血液・代謝・内分泌等)	2 3		2	30	
		臨床医学各論D(循環器・呼吸器と周産期系)	2 3		2	30	
		ゼミナールⅠ（基礎）	2		2	60	
		経営学演習	2		2	60	
		診療報酬請求論Ⅰ（初級）	2		2	30	
		簿記論Ⅱ（商業簿記）	2 3		2	30	

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門	簿記論Ⅲ（工業簿記）	2 3		2	30	
		ソーシャルワーク演習Ⅱ	2		2	60	
		認知症の理解	2		4	60	
		発達と老化の理解	2		4	60	
		社会保障	2 3 4		4	60	
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2 3 4		4	60	
		児童・家庭福祉	2 3 4		2	30	
		子ども家庭援助論	2 3 4		2	30	
		障害者福祉	2 3 4		2	30	
		地域福祉と包括的支援体制	2 3 4		4	60	
		高齢者福祉	2 3 4		2	30	
		精神医学と精神医療	2 3 4		4	60	
		現代の精神保健の課題と支援	2 3 4		4	60	
		精神保健福祉の原理	2 3 4		4	60	
		高齢者援助論	2 3 4		2	30	
		障害者援助論	2 3 4		2	30	
		心理学と心理的支援	2 3 4		2	30	
		カウンセリング論	2 3 4		2	30	
		医学・医療用語	1 2 3 4		2	30	
		薬学概論	2 3 4		2	30	
		医療福祉管理会計論	2 3 4		2	30	
		医療福祉財務会計論	2 3 4		2	30	
		会計学	2 3 4		2	30	
		経営戦略論	3 4		2	30	
		人事労務管理論	3 4		2	30	
		ソーシャルワーク実習指導	2 3 4		3	90	
		ソーシャルワーク実習Ⅰ	2		2	90	
		介護の基本Ⅲ（リスクマネジメント・連携等）	3		4	60	
		介護過程Ⅱ（介護過程の実践的展開）	3		4	60	
		介護過程Ⅲ（介護過程とチームアプローチ）	3		2	30	
		介護総合演習Ⅱ（応用）	3		2	60	
		生活支援技術Ⅵ（形態別に応じた介護）	3		4	60	
		医療的ケア論Ⅱ	3		2	30	
		医療的ケア論Ⅲ	3		2	30	
		医療的ケア論Ⅳ（演習）	3		1	30	
		介護実習Ⅱ（ケアプラン作成）	3		4	180	
		介護実習Ⅲ（ケアプラン実施）	3		4	180	
		ゼミナールⅡ（応用）	3		2	60	
		診療情報管理Ⅰ（法令・諸規則）	3		2	30	
		診療情報管理Ⅱ（診療情報管理士の実務）	3		2	30	
		診療情報管理Ⅲ（DPC・医師事務作業補助・がん登録）	3		2	30	
		診療報酬請求演習	3		1	30	
		診療報酬請求論Ⅱ（中級）	2		2	30	
		診療報酬請求論Ⅲ（上級）	3		2	30	
		病院原価計算概論	3		2	30	
		病院施設管理論	3		2	30	
		病院管理演習Ⅰ（基礎）	3		1	30	
		病院管理演習Ⅱ（応用）	3		1	30	
		病院実習	3		4	180	
		簿記演習Ⅱ（応用）	2 3		2	60	
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	3 4		4	60	
		医療ソーシャルワーク論	3 4		2	30	
		権利擁護を支える法制度	3 4		2	30	
		貧困に対する支援	3 4		2	30	
		刑事司法と福祉	3 4		2	30	
		社会福祉調査の基礎	3 4		2	30	
		福祉サービスの組織と経営	3 4		2	30	
		メンタルヘルスソーシャルワークの理論と方法	3 4		4	60	
		精神保健福祉制度論	3 4		2	30	
		精神障害リハビリテーション論	3 4		2	30	
		ソーシャルワーク演習Ⅲ	3 4		1	30	
		ソーシャルワーク演習Ⅳ	3 4		1	30	
		ソーシャルワーク実習Ⅱ	3 4		4	180	
		保健医療と福祉	3 4		2	30	
		マーケティング論	3 4		2	30	
		マネジメント論	3 4		2	30	
		経営分析論	3 4		2	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門	財務管理論	3 4		2	30	
		国際統計分類Ⅰ（国際疾病分類）	3		2	30	
		国際統計分類Ⅱ（分類コードの実際）	3		2	30	
		国際統計分類Ⅰ特別講義（基礎）	3		2	30	
		国際統計分類Ⅱ特別講義（応用）	3		2	30	
		診療情報管理演習Ⅰ（基礎）	3 4		1	30	
		診療情報管理演習Ⅱ（専門）	3 4		1	30	
		診療情報管理演習Ⅲ（分類法）	3 4		1	30	
		医療ソーシャルワーク実習指導	4		2	60	
		医療ソーシャルワーク実習	4		4	180	
		医療福祉実習指導	4		1	30	
		医療福祉実習	4		2	90	
		介護福祉特別講義Ⅰ	4		2	30	
		介護福祉特別講義Ⅱ	4		2	30	
		介護福祉特別講義Ⅲ	4		2	30	
		社会福祉特別講義Ⅰ（人と社会）	4		2	30	
		社会福祉特別講義Ⅱ（相談援助）	4		2	30	
		社会福祉特別講義Ⅲ（地域福祉）	4		2	30	
		社会福祉特別講義Ⅳ（福祉とサービスの知識）	4		2	30	
		社会福祉特別講義Ⅴ（関連サービスの知識）	4		2	30	
		メンタルヘルスソーシャルワーク演習	4		3	90	
		メンタルヘルスソーシャルワーク実習指導	4		3	90	
		メンタルヘルスソーシャルワーク実習A	4		4	180	SW実習ⅠⅡの履修者はA、それ以外はBを選択
		メンタルヘルスソーシャルワーク実習B	4		5	225	
		精神保健福祉特別講義Ⅰ（基礎）	4		2	30	
		精神保健福祉特別講義Ⅱ（応用）	4		2	30	
		医療マネジメント特別講義Ⅰ（基礎）	4		1	30	
		医療マネジメント特別講義Ⅱ（応用）	4		1	30	
		卒業研究	4		4	180	

別表1 授業科目の名称及び単位数
薬学部 薬学科

授業科目の名称			配当年次						単位数		時間	備 考
総合教育	人間系	文学論	1	2	3	4	5	6		2	30	
		演劇論	1	2	3	4	5	6		1	15	
		心理学	1						2		30	
		哲学	1	2	3	4	5	6		2	30	
		コミュニケーション概論	1						2		30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	5	6		2	30	
		人間学	1	2	3	4	5	6		2	30	
		歴史学	1	2	3	4	5	6		2	30	
		倫理学	1	2	3	4	5	6		2	30	
		宗教学	1	2	3	4	5	6		2	30	
		日本近現代史	1	2	3	4	5	6		2	30	
		文化人類学	1	2	3	4	5	6		2	30	
		教育学	1	2	3	4	5	6		2	30	
		教育方法論	1	2	3	4	5	6		2	30	
		死生学-死を通して生を考える-	1	2	3	4	5	6		2	30	
		生きがい論	1	2	3	4	5	6		2	30	
	社会系	法学	1						2		30	
		日本国憲法	1	2	3	4	5	6		2	30	
		法と道徳・倫理	1	2	3	4	5	6		2	30	
		社会学	1	2	3	4	5	6		2	30	
		日本政治経済論	1	2	3	4	5	6		2	30	
		マスメディア論	1	2	3	4	5	6		2	30	
		福祉経済学	1	2	3	4	5	6		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4	5	6		2	30	
		国際関係論	1	2	3	4	5	6		2	30	
		世界の経済	1	2	3	4	5	6		2	30	
		国際医療福祉論	1	2	3	4	5	6		2	30	
		組織運営管理論	1	2	3	4	5	6		2	30	
		海外保健福祉事情	1	2	3	4	5	6		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2	3	4	5	6	1		30	
		地球環境論	1	2	3	4	5	6		2	30	
		ボランティア論	1	2	3	4	5	6		2	30	
		ボランティアコーディネート論	1	2	3	4	5	6		2	30	
		手話入門	1	2	3	4	5	6		2	30	
		経済の仕組み	1	2	3	4	5	6		2	30	
		経済の歴史	1	2	3	4	5	6		2	30	
	自然・情報系	統計学	1						2		30	
		疫学・保健医療統計学	1	2	3	4	5	6		2	30	
		数学	1						2		30	
		物理学	1	2	3	4	5	6		2	30	
		化学	1						2		30	
		生物学	1						2		30	
		コンピュータの基礎	1	2	3	4	5	6		2	30	
		データリテラシー	1						1		30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4	5	6		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4	5	6		1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1						1		30	
		医学／医療史	1	2	3	4	5	6		2	30	
		人間工学	1	2	3	4	5	6		2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1						1		30	
		郷土論～栃木学～	1	2	3	4	5	6		1	15	
		医療福祉教養講義	1	2	3	4	5	6		1	15	
		メディカルマナー入門	1	2	3	4	5	6		2	30	
		総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1	2	3	4	5	6		1	15	
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1	2	3	4	5	6		1	15	
		食と人間	1	2	3	4	5	6		1	15	
		人間と性	1	2	3	4	5	6		1	15	
		持続可能な発展	1	2	3	4	5	6		2	30	
		読書ゼミナール	1	2	3	4	5	6		1	15	
		現代医療福祉事情	1	2	3	4	5	6		1	15	
		ボランティア実践	1	2	3	4	5	6		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読2 (Basic)	2	1		30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4 5 6		1	30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4 5 6		1	30	
		英語CALL1 (Primary)	1	1		30	
		英語CALL2 (Basic)	2	1		30	
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4 5 6		1	30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4 5 6		1	30	
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4 5 6		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4 5 6		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4 5 6		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4 5 6		1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4 5 6		1	30	
		韓国語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30	
		韓国語応用	1 2 3 4 5 6		1	30	
		韓国語発展	1 2 3 4 5 6		1	30	
	系 体 保 育 健	健康科学理論	1 2 3 4 5 6		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4 5 6		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	3	2		30	
		救急医学	3 4		1	15	
		微生物と病気	1 2 3 4 5 6		2	30	
		リハビリテーション概論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		看護論	1		2	30	
		ケアマネジメント論	2 3 4 5 6		1	15	
		ケースワーク論	1 2 3 4 5 6		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		社会福祉学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		臨床心理学概論	1	2		30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	5		1	45	
		リスクマネジメント論	3 4 5 6		2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3 4 5 6		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4 5 6		1	15	
		レクリエーション概論	2 3 4 5 6		1	15	
	専門基礎	薬学演習Ⅰ（物理・化学・生物：基礎）	2	1		30	
		薬学演習Ⅱ（物理・化学・生物：応用）	3	1		30	
		薬学演習Ⅲ（医療倫理・ヒューマニズム）	3	1		30	
		薬学計算	2	1		30	
		病原微生物学	3	2		30	
		コミュニケーション実習	2	1		45	
		基礎薬学実習Ⅰ（物理）	1	1		45	
		基礎薬学実習Ⅱ（生物）	1	1		45	
	専門	薬学概論	1	2		30	
		有機化学Ⅰ（脂肪族化合物1）	1	2		30	
		有機化学Ⅱ（脂肪族化合物2）	2	2		30	
		有機化学Ⅲ（芳香族化合物）	2	2		30	
		生薬学	2	2		30	
		天然物化学	2	1		15	
		医薬品構造化学	3	1		15	
		分析化学Ⅰ（溶液中の化学平衡と滴定法）	1	2		30	
		分析化学Ⅱ（機器分析、分離分析および臨床分析）	2	2		30	
		医薬品構造解析	2	2		30	
		薬品物理化学Ⅰ（物性とエネルギー）	1	2		30	
		薬品物理化学Ⅱ（平衡と変化）	2	2		30	
		放射化学	2	1		15	
		生化学Ⅰ（生体分子）	1	2		30	
		生化学Ⅱ（生体エネルギー・代謝）	2	2		30	
		分子生物学Ⅰ（遺伝情報・細胞内情報伝達）	2	2		30	
		分子生物学Ⅱ（細胞間コミュニケーション・遺伝）	2	2		30	
		解剖生理学Ⅰ（外皮系、骨格系・筋肉系、循環器系）	1	2		30	
		解剖生理学Ⅱ（神経系、内分泌系）	2	2		30	
		解剖生理学Ⅲ（消化器系、呼吸器系、泌尿器系）	2	2		30	
		がん薬物療法学	3	2		30	
		ゲノム医療	3	1		15	
		化学療法学	3	2		30	
		免疫学	2	2		30	
		疾病と病態生理学Ⅰ（内分泌系、神経精神系疾患等）	2	2		30	
		疾病と病態生理学Ⅱ（循環器系疾患、消化器系疾患等）	3	2		30	
		疾病と病態生理学Ⅲ（呼吸器系疾患、代謝性疾患等）	3	2		30	
		薬理学Ⅰ（総論、末梢神経薬理等）	3	2		30	
		薬理学Ⅱ（中枢神経薬理、免疫・炎症薬理等）	3	2		30	
		薬理学Ⅲ（循環器薬理、消化器薬理等）	4	2		30	
		薬理学Ⅳ（呼吸器薬理、内分泌薬理等）	4	2		30	
		医薬品安全性学	4	2		30	
		臨床検査医学	3	2		30	
		薬物治療学Ⅰ（神経精神系疾患、内分泌系疾患等）	4	2		30	
		薬物治療学Ⅱ（循環器系疾患、呼吸器系疾患等）	4	2		30	
		薬物治療学Ⅲ（症例・病態解析）	6	2		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考	
				必修	選択			
専門教育	専門	物理薬剤学	2	2		30		
		製剤設計とDDS	4	2		30		
		臨床薬学Ⅰ（調剤の基礎）	3	2		30		
		臨床薬学Ⅱ（調剤の実践）	4	2		30		
		臨床薬学Ⅲ（薬物療法の実践）	4	2		30		
		臨床薬学Ⅳ（チーム医療・地域医療の実践その前に）	4 5	1		15		
		薬物動態学	3	2		30		
		臨床薬物動態学	4	2		30		
		医薬品情報学Ⅰ（医薬品情報の収集と活用）	3	2		30		
		医薬品情報学Ⅱ（EBMと臨床研究）	6	1		15		
		衛生化学Ⅰ（食品・栄養）	2	2		30		
		衛生化学Ⅱ（毒性・代謝）	3	2		30		
		環境衛生学	3	2		30		
		医療関係法規	4	2		30		
		日本薬局方	3	1		15		
		漢方医学Ⅰ（漢方の基礎）	3	2		30		
		漢方医学Ⅱ（漢方の応用）	4	1		15		
		OTC医薬品概論	3	2		30		
		化学系薬学実習Ⅰ（有機合成）	2	1		45		
		化学系薬学実習Ⅱ（天然資源）	2	1		45		
		物理系薬学実習	2	1		45		
		生物系薬学実習	4	1		45		
		分子生物学実習	3	1		45		
		臨床検査医学実習	3	1		45		
		衛生系薬学実習	3	1		45		
		早期体験実習	1	1		45		
		医療系薬学実習Ⅰ（調剤の基礎と情報収集）	3	1		45		
		医療系薬学実習Ⅱ（調剤の実践と服薬指導）	4	1		45		
		病院・薬局事前実習Ⅰ（実務実習に必要な基本的知識）	4	2		90		
		病院・薬局事前実習Ⅱ（実務実習に必要な基本的技能）	4	2		90		
		病院・薬局実務実習Ⅰ（主に病院での実習）	5 6	10		450		
		病院・薬局実務実習Ⅱ（主に薬局での実習）	5 6	10		450		
		総合薬学演習Ⅰ（薬剤師の使命を含む基礎項目の確認）	6	1		15		
		総合薬学演習Ⅱ（理解力および問題解決能力の養成）	6	1		15		
		卒業研究	5 6	8		360		

別表1 授業科目の名称及び単位数
留学生用日本語科目(保健医療学部・医療福祉学部・薬学部 共通)

授業科目の名称			配当年次	単位数			時間	備 考
				必修	選択	自由		
総合教育	外国語系	作文・読解Ⅰ（入門）	1 2 3 4 5 6		1		30	
		作文・読解Ⅱ（応用）	1 2 3 4 5 6	1			30	
		作文・読解Ⅲ（完成）	1 2 3 4 5 6		1		30	
		文法・語彙Ⅰ（入門）	1 2 3 4 5 6		1		30	
		文法・語彙Ⅱ（応用）	1 2 3 4 5 6	1			30	
		文法・語彙Ⅲ（完成）	1 2 3 4 5 6		1		30	
		発表・討論Ⅰ（応用）	1 2 3 4 5 6	1			30	
		発表・討論Ⅱ（完成）	1 2 3 4 5 6		1		30	
		医療福祉専門漢字	1 2 3 4 5 6	1			30	
		医療福祉専門語彙	1 2 3 4 5 6	1			30	
		日本語基礎Ⅰ（初級）	1 2			3	90	
日本語基礎Ⅱ（初級）	1 2			3	90			

別表1 授業科目の名称及び単位数
医学部 医学科

授業科目の名称			配当年次	履修区分・単位数			時間	備 考
				必修	選択	自由		
総合教育科目	人間系	大学入門講座 - 医療人・社会人として成長するために -	1 2	1			30	
		死生学	1		1		15	
		医学史	1		1		15	
		芸術政策論	1		1		15	
		日本の近現代史	1		1		15	
		医療プロフェッショナルリズムⅠ（入門）	1	2			60	
		医療プロフェッショナルリズムⅡ（応用）	2	1			30	
		医療プロフェッショナルリズムⅢ（発展）	3	1			30	
	社会系	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1 2	1			30	
		法と医療	1 2	1			15	
		英字新聞で読む社会学・政治学	1			1	15	
		現代日本考～政治・経済・社会・文化を理解する道しるべ～	1			1	15	
		海外保健福祉事情	2			2	90	
	全地球的な課題	国際機関論	1		1		15	
		持続可能な発展	1		1		15	
		異文化コミュニケーション	1		1		15	
		国際関係論	1		1		15	
		経済成長をめぐる世界の諸問題	1		1		15	
		国際医療保健学Ⅰ（入門）	1	1			15	
		国際医療保健学Ⅱ（応用）	2	1			15	
		国際医療保健学Ⅲ（発展）	3	1			30	
	数学・自然科学系	医療必修 - 医療の倫理とプロ意識・医療情報 -	1 2	1			30	
		データリテラシー	1	1			15	
		数学	1			1	15	
		生物学	1			1	15	
		化学	1			1	15	
		物理学	1			1	15	
		医療生物学	1	1			15	
		医療化学	1	1			15	
		医療物理学・医用工学	1	1			15	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	3		1		30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	3		1		30	
	外国語系	英語ⅠA（入門）	1	2			60	
		英語ⅠB（初級）	1	1			30	
		英語Ⅱ（中級）	2	1			30	
		英語Ⅲ（上級）	3	1			30	
		英語コミュニケーションA（入門）	1 2 3			2.5	75	
		英語コミュニケーションB（実践）	1 2 3			2.5	75	
		英語コミュニケーションC（発展）	1 2 3			2.5	75	
		ドイツ語入門(会話含む)	1			1	30	
		中国語入門(会話含む)	1			1	30	
		韓国語入門(会話含む)	1			1	30	
		フランス語入門(会話含む)	1			1	30	
		スペイン語入門(会話含む)	1			1	30	
		タイ語入門(会話含む)	1			1	30	
		ベトナム語入門(会話含む)	1			1	30	
		ビルマ語入門(会話含む)	1			1	30	
		ドイツ語応用(会話含む)	1			1	30	
		中国語応用(会話含む)	1			1	30	
		韓国語応用(会話含む)	1			1	30	
		フランス語応用(会話含む)	1			1	30	
		スペイン語応用(会話含む)	1			1	30	
		タイ語応用(会話含む)	1			1	30	
		ベトナム語応用(会話含む)	1			1	30	
		ビルマ語応用(会話含む)	1			1	30	
		日本語Ⅰ-A(作文)	1			1	30	
		日本語Ⅰ-B(文法・語彙)	1			1	30	
		日本語Ⅱ-A(作文)	1			1	30	
		日本語Ⅱ-B(文法・語彙)	1			1	30	
		日本語Ⅱ-C(発表討論)	1			1	30	
		日本語Ⅱ-D(専門日本語)	1			1	30	
		日本語Ⅲ-A(作文)	1			1	30	
		日本語Ⅲ-B(文法・語彙)	1			1	30	
		日本語Ⅲ-C(発表・討論)	1			1	30	
		日本語Ⅲ-D(専門日本語)	1			1	30	
		医療福祉専門漢字	1			1	30	
		医療福祉専門語彙	1			1	30	
		日本語Ⅳ-C(発表・討論)	2 3			1	30	
		日本語Ⅴ-C(発表・討論)	2 3			1	30	
		日本語Ⅳ-E(読解・作文)	2 3			1	30	
		日本語Ⅴ-E(読解・作文)	2 3			1	30	

授業科目の名称			配当年次	履修区分・単位数			時間	備 考
				必修	選択	自由		
専門教育科目	専門基礎科目	医学英語Ⅰ（基礎）	1	2			60	
		医学英語Ⅱ（臨床英語の基本）	2	1			30	
		医学英語Ⅲ（臨床英語の応用）	3	1			30	
		医学英語Ⅳ（医学英語の実践：基本）	4	1			30	
		医学英語Ⅴ（医学英語の実践：応用）	5	1			30	
		医学英語Ⅵ（医学英語の総括）	6	1			30	
		骨学・神経解剖学	2	1			30	
		医療面接・身体診察Ⅰ（入門）	1	1			30	
		医療面接・身体診察Ⅱ（応用）	2	1			30	
		基礎医学総論Ⅰ（生化学）	1	3			45	
		基礎医学総論Ⅱ（分子生物学）	1	2			30	
		基礎医学総論Ⅲ（免疫学）	1	1			15	
		基礎医学総論Ⅳ（生理学）	1	2			30	
		基礎医学総論Ⅴ（薬理学）	1	2			30	
		基礎医学総論Ⅵ（組織学）	1	1			15	
		基礎医学総論Ⅶ（組織学演習）	1	1			30	
		基礎医学総論Ⅷ（病理学）	1	1			15	
		基礎医学総論Ⅸ（病理学演習）	1	1			30	
		人体発生学	1	1			15	
		生殖・妊娠・分娩	1	1			15	
		器官別統合講義Ⅰ（循環器系）	1	5			75	
		器官別統合講義Ⅱ（呼吸器系）	2	5			75	
		器官別統合講義Ⅲ（消化器系）	2	5			75	
		器官別統合講義Ⅳ（内分泌代謝系）	2	4			60	
		器官別統合講義Ⅴ（腎泌尿器系）	2	3			45	
		器官別統合講義Ⅵ（婦人科系（乳腺含む））	2	4			60	
		器官別統合講義Ⅶ（運動器・皮膚・膠原病）	2	4			60	
		器官別統合講義Ⅷ（脳神経・精神系）	2	6			90	
		器官別統合講義Ⅸ（感覚器系）	3	3			45	
		器官別統合講義Ⅹ（血液系）	3	3			45	
		人体解剖学実習	2	3			135	
		早期体験実習Ⅰ（基礎）	1	0.5			15	
		早期体験実習Ⅱ（応用）	2	0.5			15	
		早期体験実習Ⅲ（発展）	3	0.5			15	
		関連職種連携ワーク	3	1			30	
		関連職種連携実習	5			1	45	
	専門科目	胎児・小児の成長と疾患（成育と臨床）	3	2			30	
		感染症	1	3			45	
		腫瘍と臨床（放射線治療・緩和）	3	3			45	
		救急と集中治療	3	1			15	
		麻酔	3	1			15	
		予防医学・行動科学	3	1			15	
		老年医学	3	1			15	
		社会医学Ⅰ（医療管理学）	3	1			15	
		社会医学Ⅱ（衛生学・公衆衛生学）	3	3			45	
		社会医学Ⅲ（法医学）	3	1.5			23	
		社会医学Ⅳ（臨床疫学・EBM）	3	1.5			23	
		総合臨床医学	3 4	11			165	
		臨床診断入門	3 4	9.5			285	
		症候と臨床推論	3 4	8			240	
		総括講義	6	8			120	
		医学研究	6	8			360	
		臨床実習Ⅰ（基礎）	4	20			900	
		臨床実習Ⅱ（発展）	5	20			900	
		臨床実習Ⅲ（専門）	5	20			900	
		臨床実習Ⅳ（実践）	6	16			720	
		臨床実習Ⅴ（発展）	6	8			360	

別表1 授業科目の名称及び単位数
成田看護学部 看護学科

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
総合教育科目	人間系	文学論	1	2 3 4	2	30
		演劇論	1	2 3 4	1	15
		パフォーマンス表現論	1		2	30
		心理学	1	2 3 4	2	30
		哲学	1	2 3 4	2	30
		コミュニケーション概論	1	2 3 4	2	30
		雑談と傾聴-話す力と聴く力-	1	2 3 4	2	30
		人間学	1	2 3 4	2	30
		歴史学	1	2 3 4	2	30
		倫理学	1	2 3 4	2	30
		宗教学	1	2 3 4	2	30
		日本近現代史	1	2 3 4	2	30
		文化人類学	1	2 3 4	2	30
		教育学	1	2 3 4	2	30
		教育方法論	1	2 3 4	2	30
		死生学-死を通して生を考える-	1	2 3 4	2	30
	社会系	法学	1	2 3 4	2	30
		法と道徳・倫理	1	2 3 4	2	30
		医療関連法規	1		2	30
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1		1	30
		経済の仕組み	1	2 3 4	2	30
		経済の歴史	1	2 3 4	2	30
		世界の経済	1	2 3 4	2	30
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2 3 4	2	30
		世界の中の和文化	1	2 3 4	1	15
		経営の仕組み	1	2 3 4	2	30
		組織運営管理論	1	2 3 4	2	30
		社会学（人間と社会）	1	2 3 4	2	30
		マスメディア論	1	2 3 4	2	30
		新聞でみた日本と世界	1	2 3 4	2	30
		国際関係論	1	2 3 4	2	30
		国際医療福祉論	1	2 3 4	2	30
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	1	2	1	30
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）		2 3	1	45
		ボランティア論	1	2 3 4	2	30
		ボランティアコーディネート論	1	2 3 4	2	30
		手話入門	1	2 3 4	2	30
		防災と生活デザイン	1	2 3 4	2	30
	自然・情報系	保健統計	1		2	30
		疫学	1		2	30
		数学	1	2 3 4	2	30
		物理学	1	2 3 4	2	30
		化学	1	2 3 4	2	30
		生物学	1	2 3 4	2	30
		データリテラシー	1		1	30
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2 3 4	1	30
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2 3 4	1	30
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1		1	30
		医学/医療史	1	2 3 4	2	30
		人間工学	1	2 3 4	2	30
	総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1		1	30
		郷土論	1	2 3 4	1	15
		医療福祉教養講義	1	2 3 4	1	15
		メディカルマナー入門	1	2 3 4	2	30
		食と人間	1	2 3 4	1	15
		総合講義	1	2 3 4	1	15

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育科目	外国語系	英語講読 1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読 2 (Basic)	1	1		30	
		英語 C A L L 1 (Primary)	1	1		30	
		英語 C A L L 2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読 4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話 4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		国際医療通訳入門	1 2 3 4		1	30	
		資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語文献講読	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		タイ語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		タイ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ベトナム語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ベトナム語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ビルマ語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ビルマ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-A (文法・表現)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-B (記述)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-C (読解)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-D (会話)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-A (文法・表現)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-B (記述)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-C (読解)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-D (会話)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-A (文法・表現)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-B (記述)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-C (読解)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-D (会話)	1 2 3 4		1	30	
		医療福祉専門漢字	1 2 3 4		1	30	
		医療福祉専門語彙	1 2 3 4		1	30	
	保健 体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称				配当年次	単位数		時間	備 考
					必修	選択		
専門教育科目	専門基礎科目	キャンパス共通設置科目	公衆衛生学	1	2		30	
			救急医学	1 2 3 4		1	15	
			感染と免疫	1	2		30	
			リハビリテーション概論	1 2 3 4		2	30	
			関連職種連携論	2	2		30	
			ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
			ケースワーク論	2 3 4		1	15	
			医療管理学	1 2 3 4		2	30	
			保健医療福祉制度論	1	2		30	
			社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
			臨床心理学概論	1 2 3 4		2	30	
			医療情報学概論	2 3 4		2	30	
			福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
			関連職種連携ワーク	3	1		30	
			関連職種連携実習		4	1	45	
			リスクマネジメント論	2 3 4		2	30	
			電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15	
			エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）		4	1	15	
			レクリエーション概論	1 2 3 4		1	15	
			国際保健医療学	1	1		15	
			異文化体験実習	1 2 3 4		1	45	
		学部設置科目	行動科学とモチベーション	1 2		1	15	
			キャリアデザイン	1		1	15	
			からだの構造	1	1		30	
			からだの機能	1	1		30	
			疾病・治療学Ⅰ（呼吸、循環）	1	2		30	
			疾病・治療学Ⅱ（消化、代謝）	2	2		30	
			疾病・治療学Ⅲ（生殖、免疫、運動器）	2	2		30	
			疾病・治療学Ⅳ（小児、感覚器）	2	2		30	
			疾病・治療学Ⅴ（脳神経系、精神系）	2	2		30	
			人間と栄養	1	1		15	
			薬理学	2	2		30	
			人間発達学	1	1		15	
			先端医療とヘルスケアテクノロジー		4	1	15	
			遺伝と医療	1	1		15	

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育科目	専門科目	基礎看護学	看護学概論	1	2	30	
		基礎看護学	看護理論	1	1	15	
		基礎看護学	基礎看護学方法論Ⅰ（看護コミュニケーション）	1	1	15	
		基礎看護学	基礎看護学方法論Ⅱ（看護過程）	2	2	30	
		基礎看護学	基礎看護学演習Ⅰ（日常生活援助技術）	1	2	60	
		基礎看護学	基礎看護学演習Ⅱ（ヘルスアセスメント）	1	1	30	
		基礎看護学	基礎看護学演習Ⅲ（医療支援技術）	2	1	30	
		基礎看護学	基礎看護学実習Ⅰ（入門）	1	1	45	
		基礎看護学	基礎看護学実習Ⅱ（基礎）	2	2	90	
		看護管理学	看護情報リテラシー	1	1	15	
		看護管理学	看護管理学概論	4	1	15	
		看護管理学	看護管理学演習	4	1	30	
		看護管理学	保健事業戦略とマネジメント	4	1	15	
		リプロダクティブヘルス看護学	リプロダクティブヘルス看護学概論	1	1	15	
		リプロダクティブヘルス看護学	リプロダクティブヘルス看護学方法論	2	2	30	
		リプロダクティブヘルス看護学	リプロダクティブヘルス看護学演習	3	1	30	
		リプロダクティブヘルス看護学	リプロダクティブヘルス看護学実習Ⅰ（病院・施設実習）	2	1	45	
		リプロダクティブヘルス看護学	リプロダクティブヘルス看護学実習Ⅱ（産科病棟外来実習）	3	1	45	
		小児看護学	小児看護学概論	2	1	15	
		小児看護学	小児看護学方法論	3	2	30	
		小児看護学	小児看護学演習	3	1	30	
		小児看護学	小児看護学実習	3	2	90	
		成人看護学	成人看護学概論	2	1	15	
		成人看護学	成人看護学方法論Ⅰ	3	2	60	
		成人看護学	成人看護学方法論Ⅱ	3	2	60	
		成人看護学	成人看護学方法論Ⅲ	3	1	30	
		成人看護学	成人看護学実習Ⅰ	3	2	90	
		成人看護学	成人看護学実習Ⅱ	3	2	90	
		成人看護学	成人看護学実習Ⅲ	3	1	45	
		老年看護学	老年看護学概論	2	1	15	
		老年看護学	老年看護学方法論	3	2	30	
		老年看護学	老年看護学演習	3	1	30	
		老年看護学	老年看護学実習	3	2	90	
		精神看護学	精神看護学概論	2	1	15	
		精神看護学	精神看護学方法論	3	2	30	
		精神看護学	精神看護学演習	3	1	30	
		精神看護学	精神看護学実習	3	2	90	
		国際看護学	国際看護学Ⅰ（異文化と看護）	2	1	15	
		国際看護学	国際看護学Ⅱ（活動の実践）	2 3 4	1	15	
		国際看護学	国際看護研修（途上国）	3 4	2	90	
		感染症看護学	感染症看護論	2	1	15	
		感染症看護学	災害関連健康危機管理論	4	1	15	
		感染症看護学	国際検疫看護論	4	1	15	
		公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2	2	30	
		公衆衛生看護学	産業・学校保健	2	2	30	
		公衆衛生看護学	公衆衛生看護活動方法論Ⅰ（公衆衛生看護技術）	2	2	30	
		公衆衛生看護学	公衆衛生看護活動方法論Ⅱ（地域アセスメント）	3	2	30	
		公衆衛生看護学	公衆衛生看護活動対象論Ⅰ（発達段階別保健活動）	2	2	30	
		公衆衛生看護学	公衆衛生看護活動対象論Ⅱ（健康課題別保健活動）	3	2	30	
		公衆衛生看護学	公衆衛生看護活動対象論Ⅲ（地域包括ケア等）	4	1	15	
		公衆衛生看護学	家族看護論	2	1	15	
		公衆衛生看護学	公衆衛生看護活動展開論	4	2	30	
		公衆衛生看護学	公衆衛生看護学実習Ⅰ（行政保健）	4	4	180	
		公衆衛生看護学	公衆衛生看護学実習Ⅱ（産業保健）	4	1	45	
		地域看護学・在宅	地域・在宅看護学概論	2	1	15	
		地域看護学・在宅	地域・在宅看護学方法論Ⅰ	3	2	30	
		地域看護学・在宅	地域・在宅看護学方法論Ⅱ	3	2	30	
		地域看護学・在宅	地域・在宅看護学演習	3	1	30	
		地域看護学・在宅	地域・在宅看護学実習	3	2	90	
		統合分野	看護総合実習	4	5	225	
		統合分野	看護倫理学	4	1	15	
		統合分野	看護研究	4	2	30	
		統合分野	研究ゼミナール	4	1	30	
		統合分野	海外看護研修	4	2	90	

別表1 授業科目の名称及び単位数
成田保健医療学部 理学療法学科

授業科目の名称			配当年次				単位数 必修 選択	時間	備 考
総合教育科目	人間系	文学論	1	2	3	4	2	30	
		演劇論	1	2	3	4	1	15	
		パフォーマンス表現論	1	2	3	4	2	30	
		心理学	1	2	3	4	2	30	
		哲学	1	2	3	4	2	30	
		コミュニケーション概論	1	2	3	4	2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	2	30	
		人間学	1	2	3	4	2	30	
		歴史学	1	2	3	4	2	30	
		倫理学	1	2	3	4	2	30	
		宗教学	1	2	3	4	2	30	
		日本近現代史	1	2	3	4	2	30	
		文化人類学	1	2	3	4	2	30	
		教育学	1				2	30	
		教育方法論	1	2	3	4	2	30	
		死生学-死を通して生を考える	1	2	3	4	2	30	
	社会系	法学	1	2	3	4	2	30	
		法と道徳・倫理	1	2	3	4	2	30	
		医療関連法規	1	2	3	4	2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1				1	30	
		経済の仕組み	1	2	3	4	2	30	
		経済の歴史	1	2	3	4	2	30	
		世界の経済	1	2	3	4	2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4	2	30	
		世界の中の和文化	1	2	3	4	1	15	
		経営の仕組み	1	2	3	4	2	30	
		組織運営管理論	1	2	3	4	2	30	
		社会学（人間と社会）	1	2	3	4	2	30	
		マスメディア論	1	2	3	4	2	30	
		新聞でみた日本と世界	1	2	3	4	2	30	
		国際関係論	1	2	3	4	2	30	
		国際医療福祉論	1	2	3	4	2	30	
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	1	2			1	30	
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）		2	3		1	45	
		ボランティア論	1	2	3	4	2	30	
		ボランティアコーディネート論	1	2	3	4	2	30	
		手話入門	1	2	3	4	2	30	
		防災と生活デザイン	1	2	3	4	2	30	
	自然・情報系	統計学	1	2	3	4	2	30	
		疫学・保健医療統計学	1	2	3	4	2	30	
		数学	1	2	3	4	2	30	
		物理学	1	2	3	4	2	30	
		化学	1	2	3	4	2	30	
		生物学	1	2	3	4	2	30	
		データリテラシー	1				1	30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4	1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4	1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1				1	30	
		医学/医療史	1	2	3	4	2	30	
		人間工学	1	2	3	4	2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1				1	30	
		郷土論	1	2	3	4	1	15	
		医療福祉教養講義	1	2	3	4	1	15	
		メディカルマナー入門	1	2	3	4	2	30	
		食と人間	1	2	3	4	1	15	
		総合講義	1	2	3	4	1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育科目	外国語系	英語講読 1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読 2 (Basic)	1	1		30	
		英語 C A L L 1 (Primary)	1	1		30	
		英語 C A L L 2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読 4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話 4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		国際医療通訳入門	1 2 3 4		1	30	
		資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語文献講読	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		タイ語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		タイ語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ベトナム語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ベトナム語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ビルマ語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ビルマ語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-A (文法・表現)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-B (記述)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-C (読解)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-D (会話)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-A (文法・表現)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-B (記述)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-C (読解)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-D (会話)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-A (文法・表現)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-B (記述)	1 2 3 4		1	30	
	日本語Ⅲ-C (読解)	1 2 3 4		1	30		
	日本語Ⅲ-D (会話)	1 2 3 4		1	30		
	医療福祉専門漢字	1 2 3 4		1	30		
	医療福祉専門語彙	1 2 3 4		1	30		
	保健 体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門基礎科目 / 学部共通	公衆衛生学	1 2		2	30		
	救急医学	2	1		15		
	感染と免疫	1 2		2	30		
	リハビリテーション概論	1	1		30		
	関連職種連携論	2	2		30		
	ケアマネジメント論	2 3		1	15		
	ケースワーク論	1 2		1	15		
	医療管理学	1 2		2	30		
	保健医療福祉制度論	1 2		2	30		
	社会福祉学	1 2		2	30		
	臨床心理学概論	2		2	30		
	医療情報学概論	2 3		2	30		
	福祉支援工学概論	1 2		2	30		
	関連職種連携ワーク	3	1		30		
	関連職種連携実習		4	1	45		
	リスクマネジメント論	3 4		2	30		
	電子カルテシステム入門	2 3		1	15		
	エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3		1	15		
	レクリエーション概論	3		1	15		
	災害保健学	1 2 3		1	15		
	予防保健学	1 2 3		1	15		
	国際医療保健学	1 2 3 4		1	15		
	異文化体験実習	1 2 3 4		1	45		
	専門教育科目	解剖学Ⅰ（運動器系、内臓器系）	1	1		30	
		解剖学Ⅱ（内臓器系、神経系）	1	1		30	
		解剖学実習Ⅰ（肉眼）	1	1		45	
		解剖学実習Ⅱ（組織）	1	1		45	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1		30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1	1		30	
		生理学実習	1	1		45	
		運動学Ⅰ（基礎）	1	1		30	
		運動学Ⅱ（応用）	1	1		30	
		運動生理学	1	1		30	
		病理学	2	1		30	
		臨床医学概論	2	1		30	
内科学Ⅰ（基礎）		2	1		30		
内科学Ⅱ（臨床）		2	1		30		
神経学Ⅰ（基礎）		2	1		30		
神経学Ⅱ（臨床）		2	1		30		
整形外科Ⅰ（基礎）		2	1		30		
整形外科Ⅱ（臨床）		2	1		30		
精神医学Ⅰ（総論・各論）		2	1		30		
精神医学Ⅱ（各論）		2 3		1	30		
運動学特論		2	2		60		
人間発達学		2	1		30		
リハビリテーション医学		2	1		30		
小児科学		2	1		30		
老年学		2 3		1	30		
神経心理学概論		2 3		2	30		
臨床薬理学概論		2	1		15		
スポーツ傷害学		2 3		1	15		
外科学		2 3		1	15		
栄養学		2 3		1	15		
国際医療保健学演習		2 3 4		1	15		
国際医療保健学実習		2 3 4		1	45		

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育科目	専門科目	理学療法概論	1	2		30	
		機能解剖学	2	1		30	
		病態運動学	3	1		30	
		物理療法Ⅰ(理論)	1	1		30	
		物理療法Ⅱ(実践)	2	1		30	
		PTスキルⅠ演習(キャリアデザイン)	1	1		30	
		PTスキルⅡ演習(検査・測定)	2	1		30	
		PTスキルⅢ演習(専門知識の確認)	3	2		60	
		PTスキルⅣ演習(臨床PBL)	3	2		60	
		理学療法評価学	2	2		30	
		理学療法診断学Ⅰ(基礎)	2	1		30	
		理学療法診断学Ⅱ(神経診断学)	2	1		30	
		理学療法診断学Ⅲ(神経・画像評価学を含む)	2	1		30	
		スポーツバイオメカニクス	2		1	15	
		動作分析学	2	1		15	
		運動処方理論	2		1	15	
		運動療法学総論	3	1		30	
		理学療法治療学総論	3	1		30	
		メディカルイングリッシュボキャブラリー	2		1	15	
		グローバルメディカルコミュニケーションⅠ(基礎)	3		1	15	
		グローバルメディカルコミュニケーションⅡ(応用)	3		1	15	
		運動系理学療法学Ⅰ(評価)	2	1		30	
		運動系理学療法学Ⅱ(治療)	3	1		30	
		神経系理学療法学Ⅰ(評価)	2	1		30	
		神経系理学療法学Ⅱ(治療)	3	1		30	
		内科系理学療法学Ⅰ(評価)	2	1		30	
		内科系理学療法学Ⅱ(治療)	3	1		30	
		高齢者理学療法学	3		1	15	
		装具学	3	1		30	
		義肢学	3	1		30	
		生活技術学	3	1		30	
		生活環境学	3	1		30	
		地域理学療法学演習(在宅・地域)	3	1		30	
		小児理学療法学	3	1		30	
		理学療法治療学特論Ⅰ(神経系治療手技)	3		1	30	
		理学療法治療学特論Ⅱ(運動器系治療手技)	3		1	30	
		先端機能解剖学	3 4		1	15	
		先端運動系理学療法学	3 4		1	15	
		先端神経系理学療法学	3 4		1	15	
		先端内科系理学療法学	3 4		1	15	
		先端スポーツ理学療法学	3 4		1	15	
		先端予防理学療法学	3 4		1	15	
		テーピング治療学	3		1	15	
		クリニカルリーズニング	3	1		30	
		リハビリテーション栄養学	3		1	15	
		運動心理学	3		1	15	
		理学療法管理学	3	2		30	
		ウィメンズヘルス理学療法学	3		1	15	
		理学療法国際実習	4		1	45	
		障がい者スポーツ概論	3		1	15	
		理学療法特論	4	1		30	
		基礎実習	1		1	45	
		地域リハビリテーション実習(訪問・通所)	2		1	45	
		検査実習	2		2	90	
		評価実習	3		4	180	
		総合臨床実習	4	12		540	
		理学療法研究のデザイン	3		1	30	
		卒業研究	4	2		60	

別表1 授業科目の名称及び単位数
成田保健医療学部 作業療法学科

授業科目の名称			配当年次		単位数		時間	備 考
					必修	選択		
総合教育科目	人間系	文学論	1	2	3	4	2	30
		演劇論	1	2	3	4	1	15
		パフォーマンス表現論	1	2	3	4	2	30
		心理学	1	2	3	4	2	30
		哲学	1	2	3	4	2	30
		コミュニケーション概論	1	2	3	4	2	30
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	2	30
		人間学	1	2	3	4	2	30
		歴史学	1	2	3	4	2	30
		倫理学	1	2	3	4	2	30
		宗教学	1	2	3	4	2	30
		日本近現代史	1	2	3	4	2	30
		文化人類学	1	2	3	4	2	30
		教育学	1	2	3	4	2	30
		教育方法論	1	2	3	4	2	30
		死生学-死を通して生を考える	1	2	3	4	2	30
	社会系	法学	1	2	3	4	2	30
		法と道徳・倫理	1	2	3	4	2	30
		医療関連法規	1	2	3	4	2	30
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1				1	30
		経済の仕組み	1	2	3	4	2	30
		経済の歴史	1	2	3	4	2	30
		世界の経済	1	2	3	4	2	30
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4	2	30
		世界の中の和文化	1	2	3	4	1	15
		経営の仕組み	1	2	3	4	2	30
		組織運営管理論	1	2	3	4	2	30
		社会学（人間と社会）	1	2	3	4	2	30
		マスメディア論	1	2	3	4	2	30
		新聞でみた日本と世界	1	2	3	4	2	30
		国際関係論	1	2	3	4	2	30
		国際医療福祉論	1	2	3	4	2	30
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	1	2			1	30
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）		2	3		1	45
		ボランティア論	1	2	3	4	2	30
		ボランティアコーディネート論	1	2	3	4	2	30
		手話入門	1	2	3	4	2	30
		防災と生活デザイン	1	2	3	4	2	30
	自然・情報系	統計学	1	2	3	4	2	30
		疫学・保健医療統計学	1	2	3	4	2	30
		数学	1	2	3	4	2	30
		物理学	1	2	3	4	2	30
		化学	1	2	3	4	2	30
		生物学	1	2	3	4	2	30
		データリテラシー	1				1	30
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4	1	30
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4	1	30
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1				1	30
		医学/医療史	1	2	3	4	2	30
		人間工学	1	2	3	4	2	30
	総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1				1	30
		郷土論	1	2	3	4	1	15
		医療福祉教養講義	1	2	3	4	1	15
		メディカルマナー入門	1	2	3	4	2	30
		食と人間	1	2	3	4	1	15
		総合講義	1	2	3	4	1	15

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育科目	外国語系	英語講読 1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読 2 (Basic)	1	1		30	
		英語 C A L L 1 (Primary)	1	1		30	
		英語 C A L L 2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読 4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話 4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		国際医療通訳入門	1 2 3 4		1	30	
		資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語文献講読	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		タイ語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		タイ語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ベトナム語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ベトナム語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ビルマ語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ビルマ語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-A (文法・表現)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-B (記述)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-C (読解)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-D (会話)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-A (文法・表現)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-B (記述)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-C (読解)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-D (会話)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-A (文法・表現)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-B (記述)	1 2 3 4		1	30	
	日本語Ⅲ-C (読解)	1 2 3 4		1	30		
	日本語Ⅲ-D (会話)	1 2 3 4		1	30		
	医療福祉専門漢字	1 2 3 4		1	30		
	医療福祉専門語彙	1 2 3 4		1	30		
	保健 体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門基礎科目 / 学部共通	専門基礎科目 / 学部共通	公衆衛生学	1	2		30	
		救急医学	2	1		15	
		感染と免疫	1 2		2	30	
		リハビリテーション概論	1	2		30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		ケアマネジメント論	2 3		1	15	
		ケースワーク論	1 2		1	15	
		医療管理学	2 3		2	30	
		保健医療福祉制度論	3 4		2	30	
		社会福祉学	1 2		2	30	
		臨床心理学概論	2	2		30	
		医療情報学概論	2 3		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	3 4		2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3		1	15	
		レクリエーション概論	3 4		1	15	
		災害保健学	1 2		1	15	
		予防保健学	1 2		1	15	
		国際医療保健学	1 2		1	15	
		異文化体験実習	1 2		1	45	
	専門基礎科目	解剖学Ⅰ（運動器系、循環器系）	1	1		30	
		解剖学Ⅱ（内臓学、神経系、感覚器系）	1	1		30	
		解剖学実習	1	1		45	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1		30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1	1		30	
		生理学実習	1	1		45	
		運動学Ⅰ（基礎）	1	1		30	
		運動学Ⅱ（応用）	1	1		30	
		運動学実習	2	1		45	
		運動生理学	2	1		30	
		病理学	2	1		30	
		内科学	2	1		30	
		神経学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		神経学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		整形外科Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		整形外科Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		精神医学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		精神医学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		小児科学	2	1		30	
		老年学	2	1		30	
		リハビリテーション医学	2	1		30	
		人間発達学	1	1		30	
		病態生理学	2 3		1	15	
		臨床薬理学概論	2	1		15	
		栄養学	2 3		1	15	
		外科学	2 3		1	15	
		脳神経外科学	2 3		1	15	
		神経心理学概論	2 3		1	15	
		対人援助論	1 2		1	15	
		国際医療保健学演習	2 3 4		1	15	
		国際医療保健学実習	2 3 4		1	45	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門 教育 科目	専門 科目	作業療法概論	1	1		15	
		作業学概論	1	1		15	
		作業工程技術学・基礎論	1	1		30	
		作業工程技術学・応用論	3	1		30	
		作業分析学Ⅰ（基礎）	1	1		30	
		作業分析学Ⅱ（応用）	2	1		30	
		作業応用論	2 3		1	30	
		研究法概論	3	1		15	
		研究法演習	3	1		30	
		卒業研究	4		1	30	
		作業療法管理学Ⅰ（基礎）	3	1		15	
		作業療法管理学Ⅱ（応用）	4	1		15	
		作業療法総括論	4	1		30	
		作業療法評価学概論	2	1		15	
		作業療法評価学各論	2	1		30	
		作業療法評価学演習	2	1		30	
		基礎運動機能評価法	2	1		30	
		生活機能論	2	1		15	
		基礎精神機能評価法	2	1		30	
		上肢機能評価法	2 3		1	15	
		日常生活活動評価法	2 3		1	15	
		高次脳機能評価法	2 3		1	15	
		作業療法適用学概論	2	1		15	
		内科系疾患作業療法学	3	1		30	
		運動器疾患作業療法学	3	1		30	
		中枢神経疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		中枢神経疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		精神疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		精神疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		小児作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		小児作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		老年作業療法学	3	1		30	
		作業療法諸理論	4		1	15	
		作業療法応用学概論	3	1		15	
		就学・就労支援論	3	1		15	
		生活技術学Ⅰ（総論）	2	1		30	
		生活技術学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		コミュニケーション技術論	1 2		1	30	
		職業関連技術学	3	1		30	
		地域生活作業療法論	3	1		30	
		リハビリテーション英語Ⅰ（基礎）	2 3		1	15	
		リハビリテーション英語Ⅱ（応用）	2 3		1	15	
		災害リハビリテーション学	3 4		1	15	
		認知症作業療法特論	3 4		1	15	
		先端作業療法特論	1 2		1	15	
		地域生活支援論	3 4		1	15	
		障害代償学概論	3	1		15	
		住環境整備論	3	1		15	
		義肢・装具・副子適用論	3	1		30	
		自助具・福祉機器適用論	3	1		30	
		バリアフリー論	2 3		1	15	
		臨床実習Ⅰ（早期臨床見学）	1		1	45	
		臨床実習Ⅱ（早期臨床体験）	2		1	45	
		臨床実習Ⅲ（臨床評価）	3	2		90	
		臨床実習Ⅳ（臨床推論）	3	5		225	
		総合実習Ⅰ（作業療法実践）	4	7		315	
		総合実習Ⅱ（作業療法実践）	4	6		270	
		地域リハビリテーション実習	3	1		45	
		地域生活支援システム実習	4	1		45	
		臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	1 2		1	15	
		臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践過程）	2 3		1	15	
		臨床実習ゼミⅢ（作業療法計画立案）	3 4		1	15	
		臨床実習ゼミⅣ（作業療法実践）	4		1	15	
		臨床実習特論	3		1	15	

別表1 授業科目の名称及び単位数
成田保健医療学部 言語聴覚学科

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考	
				必修	選択			
総合教育	人間系	文学論	1 2 3		2	30		
		演劇論	1 2 3		1	15		
		パフォーマンス表現論	1 2 3		2	30		
		心理学	1 2		2	30		
		哲学	1 2 3		2	30		
		コミュニケーション概論	1 2		2	30		
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3		2	30		
		人間学	1 2		2	30		
		歴史学	1 2		2	30		
		倫理学	1 2		2	30		
		宗教学	1 2		2	30		
		日本近現代史	1 2		2	30		
		文化人類学	1 2 3		2	30		
		教育学	1 2		2	30		
		教育方法論	1 2 3 4		2	30		
		死生学-死を通して生を考える	1 2		2	30		
	社会系	法学	1 2		2	30		
		法と道徳・倫理	1 2		2	30		
		医療関連法規	1 2 3		2	30		
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1		30		
		経済の仕組み	1 2 3		2	30		
		経済の歴史	1 2		2	30		
		世界の経済	1 2 3		2	30		
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2		2	30		
		世界の中の和文化	1 2 3		1	15		
		経営の仕組み	1 2 3		2	30		
		組織運営管理論	1 2 3		2	30		
		社会学（人間と社会）	1 2 3		2	30		
		マスメディア論	1 2		2	30		
		新聞でみた日本と世界	1 2 3		2	30		
		国際関係論	1 2 3		2	30		
		国際医療福祉論	1 2 3		2	30		
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	1 2	1		30		
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2 3	1		45		
		ボランティア論	1 2		2	30		
		ボランティアコーディネート論	1 2		2	30		
		手話入門	1 2 3		2	30		
		防災と生活デザイン	1 2 3		2	30		
		自然・情報系	統計学	1	2		30	
			疫学・保健医療統計学	1 2		2	30	
			数学	1 2 3		2	30	
			物理学	1 2 3		2	30	
	化学		1 2 3		2	30		
	生物学		1 2 3		2	30		
	データリテラシー		1	1		30		
	医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2 3 4		1	30		
	医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2 3 4		1	30		
	医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－		1	1		30		
	医学/医療史		1 2		2	30		
	人間工学		1 2		2	30		
	総合系		大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1		30	
			郷土論	1 2 3		1	15	
		医療福祉教養講義	1 2		1	15		
		メディカルマナー入門	1 2		2	30		
		食と人間	1 2		1	15		
		総合講義	1 2 3 4		1	15		

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読 1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読 2 (Basic)	1	1		30	
		英語 C A L L 1 (Primary)	1	1		30	
		英語 C A L L 2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読 3 (Intermediate)	2 3		1	30	
		英語講読 4 (Advanced)	2		1	30	
		英語会話 1 (Primary)	1 2 3		1	30	
		英語会話 2 (Basic)	1 2		1	30	
		英語会話 3 (Intermediate)	2 3		1	30	
		英語会話 4 (Advanced)	2		1	30	
		英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3		1	30	
		英語ライティング 2 (Basic)	1 2		1	30	
		国際医療通訳入門	1 2 3		1	30	
		資格英語 1 (Primary)	1 2 3		1	30	
		資格英語 2 (Basic)	1 2		1	30	
		基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3		1	30	
		基礎英文法 2 (Basic)	1 2		1	30	
		上級英語文献講読	1 2 3		1	30	
		上級英語会話 1 (発展)	1 2 3		1	30	
		上級英語会話 2 (総合)	1 2		1	30	
		ドイツ語入門(会話含む)	1 2 3		1	30	
		ドイツ語基礎(会話含む)	1 2		1	30	
		中国語入門(会話含む)	1 2 3		1	30	
		中国語基礎(会話含む)	1 2		1	30	
		韓国語入門(会話含む)	1 2 3		1	30	
		韓国語基礎(会話含む)	1 2		1	30	
		フランス語入門(会話含む)	1 2 3		1	30	
		フランス語基礎(会話含む)	1 2		1	30	
		スペイン語入門(会話含む)	1 2 3		1	30	
		スペイン語基礎(会話含む)	1 2		1	30	
		タイ語入門(会話含む)	1 2 3		1	30	
		タイ語基礎(会話含む)	1 2		1	30	
		ベトナム語入門(会話含む)	1 2 3		1	30	
		ベトナム語基礎(会話含む)	1 2		1	30	
		ビルマ語入門(会話含む)	1 2 3		1	30	
		ビルマ語基礎(会話含む)	1 2		1	30	
		日本語Ⅰ-A (文法・表現)	1 2 3		1	30	
		日本語Ⅰ-B (記述)	1 2 3		1	30	
		日本語Ⅰ-C (読解)	1 2		1	30	
		日本語Ⅰ-D (会話)	1 2		1	30	
		日本語Ⅱ-A (文法・表現)	1 2 3		1	30	
		日本語Ⅱ-B (記述)	1 2 3		1	30	
		日本語Ⅱ-C (読解)	1 2		1	30	
		日本語Ⅱ-D (会話)	1 2		1	30	
		日本語Ⅲ-A (文法・表現)	1 2 3		1	30	
		日本語Ⅲ-B (記述)	1 2 3		1	30	
		日本語Ⅲ-C (読解)	1 2		1	30	
		日本語Ⅲ-D (会話)	1 2		1	30	
	医療福祉専門漢字	1 2 3		1	30		
	医療福祉専門語彙	1 2 3		1	30		
	保健 体育系	健康科学理論	1	1		15	
		健康科学実践	1	1		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育科目	専門基礎科目 / 学部共通	公衆衛生学	1 2		2	30	
		救急医学	2 3		1	15	
		感染と免疫	1 2		2	30	
		リハビリテーション概論	1	2		30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		ケアマネジメント論	2 3		1	15	
		ケースワーク論	1 2		1	15	
		医療管理学	2 3		2	30	
		保健医療福祉制度論	1	2		30	
		社会福祉学	1 2		2	30	
		臨床心理学概論	3		2	30	
		医療情報学概論	2 3		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	2		2	30	
		電子カルテシステム入門	2		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3		1	15	
		レクリエーション概論	1 2		1	15	
		災害保健学	1 2 3		1	15	
		予防保健学	1 2 3		1	15	
		国際医療保健学	1 2 3		1	15	
		教職教養	2 3		1	30	
		異文化体験実習	1 2		1	45	
	専門基礎科目	解剖学	1	2		30	
		生理学	1	2		30	
		病理学	1	1		15	
		医学概論	1	1		15	
		内科学	1	1		30	
		精神医学	2	1		30	
		リハビリテーション医学	2	1		30	
		小児科学	2	1		30	
		耳鼻咽喉科学	2	1		30	
		臨床神経学	2	1		30	
		形成外科学	2	1		15	
		臨床歯科医学	2	1		15	
		口腔外科学	2	1		15	
		音声言語医学	1	1		30	
		中枢神経機能学	1	1		30	
		聴覚医学	1	1		30	
		小児神経学	1 2		1	15	
		老年学	1 2		1	15	
		遺伝学	1 2		1	15	
		脳神経外科学	1 2		1	15	
		臨床心理学	2	1		30	
		生涯発達心理学	1	1		30	
		学習心理学	2	1		15	
		神経心理学	2	1		30	
		認知心理学	1	1		30	
		心理測定法Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		心理測定法Ⅱ（応用）	3	1		15	
		言語学	1	1		30	
		言語心理学	3	1		30	
		言語発達学	1	1		30	
		基礎音声学	1	1		30	
		音声学	2	1		30	
		音声音響学	2	1		30	
		聴覚心理学	3	1		30	
		国際医療保健学演習	2 3 4		1	15	
		国際医療保健学実習	2 3 4		1	45	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育科目	専門科目	言語聴覚障害学概論	1	1		30	
		言語聴覚障害診断学	3	1		30	
		成人言語障害学総論Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		成人言語障害学総論Ⅱ（発展）	2	1		30	
		失語症学Ⅰ（評価・診断）	3	1		30	
		失語症学Ⅱ（治療）	3	1		30	
		失語症・高次脳機能障害学演習	3	1		30	
		高次脳機能障害学	3	1		30	
		言語発達障害学総論	2	1		30	
		言語発達障害学各論	2	1		30	
		言語発達障害学Ⅰ（評価・診断）	2	1		30	
		言語発達障害学Ⅰ演習（評価・診断）	3	1		30	
		言語発達障害学Ⅱ（指導）	3	1		30	
		言語発達障害学Ⅱ演習（指導）	3	1		30	
		聴覚障害学総論	2	1		30	
		聴覚機能評価学	2	2		60	
		聴覚補償論（補聴器・人工内耳など）	3	1		30	
		小児聴覚障害学Ⅰ（評価・診断）	3	1		30	
		小児聴覚障害学Ⅱ（指導）	3	1		30	
		成人聴覚障害学（二重障害を含む）	3	1		30	
		発声発語障害学総論	2	2		30	
		構音障害学Ⅰ（理論）	2	1		30	
		構音障害学Ⅱ（評価・診断）	3	1		30	
		構音障害学演習（治療）	3	1		30	
		流暢性障害学	3	1		30	
		音声障害学	3	1		30	
		摂食・嚥下障害学Ⅰ（理論・評価診断）	2	1		30	
		摂食・嚥下障害学Ⅱ（治療）	3	1		30	
		言語聴覚障害学研究法	3	1		30	
		英語で学ぶ言語聴覚療法の基礎	1 2		1	15	
		言語聴覚療法英語論文抄読	3 4		1	15	
		特別支援教育	3		1	30	
		日本語教授法	1 2		1	15	
		基礎ゼミナールⅠ	1		1	30	
		基礎ゼミナールⅡ	1		1	30	
		言語聴覚障害学特論Ⅰ（基礎）	4	1		30	
		言語聴覚障害学特論Ⅱ（発展）	4	1		30	
		卒業研究	4		4	60	
		コミュニケーション技能実習	1	1		45	
		コミュニケーション障害実習	2	1		45	
		言語聴覚障害基礎実習	3	2		90	
		言語聴覚療法総合実習	4		1	45	
		臨床実習Ⅰ（基礎）	3	2		90	
		臨床実習Ⅱ（応用）	4	4		180	
		臨床実習Ⅲ（総合）	4	6		270	
		災害リハビリテーション学	3 4		1	15	

別表1 授業科目の名称及び単位数
成田保健医療学部 放射線・情報科学科

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考			
				必修	選択					
総合教育科目	人間系	文学論	1	2	3	4	2	30		
		演劇論	1	2	3	4	1	15		
		パフォーマンス表現論	1	2	3	4	2	30		
		心理学	1	2	3	4	2	30		
		哲学	1	2	3	4	2	30		
		コミュニケーション概論	1	2	3	4	2	30		
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	2	30		
		人間学	1	2	3	4	2	30		
		歴史学	1	2	3	4	2	30		
		倫理学	1	2	3	4	2	30		
		宗教学	1	2	3	4	2	30		
		日本近現代史	1	2	3	4	2	30		
		文化人類学	1	2	3	4	2	30		
		教育学	1	2	3	4	2	30		
		教育方法論	1	2	3	4	2	30		
		死生学-死を通して生を考える	1	2	3	4	2	30		
	社会系	法学	1	2	3	4	2	30		
		法と道徳・倫理	1	2	3	4	2	30		
		医療関連法規	1	2	3	4	2	30		
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1				1	30		
		経済の仕組み	1	2	3	4	2	30		
		経済の歴史	1	2	3	4	2	30		
		世界の経済	1	2	3	4	2	30		
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4	2	30		
		世界の中の和文化	1	2	3	4	1	15		
		経営の仕組み	1	2	3	4	2	30		
		組織運営管理論	1	2	3	4	2	30		
		社会学（人間と社会）	1	2	3	4	2	30		
		マスメディア論	1	2	3	4	2	30		
		新聞でみた日本と世界	1	2	3	4	2	30		
		国際関係論	1	2	3	4	2	30		
		国際医療福祉論	1	2	3	4	2	30		
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	1	2			1	30		
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）		2	3		1	45		
		ボランティア論	1	2	3	4	2	30		
		ボランティアコーディネート論	1	2	3	4	2	30		
		手話入門	1	2	3	4	2	30		
		防災と生活デザイン	1	2	3	4	2	30		
		自然・情報系	疫学・保健医療統計学	1	2	3	4	2	30	
			数学	1	2	3	4	2	30	
	物理学		1	2	3	4	2	30		
	化学		1	2	3	4	2	30		
	生物学		1	2	3	4	2	30		
	情報処理Ⅰ（初歩）		1	2	3	4	1	30		
	情報処理Ⅱ（基礎）		1	2	3	4	1	30		
	情報処理Ⅲ（応用）		1	2	3	4	1	30		
	医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－		1				1	30		
	医学／医療史		1	2	3	4	2	30		
	人間工学		1	2	3	4	2	30		
	総合系		大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1				1	30	
		郷土論	1	2	3	4	1	15		
		医療福祉教養講義	1	2	3	4	1	15		
		メディカルマナー入門	1	2	3	4	2	30		
		食と人間	1	2	3	4	1	15		
		総合講義	1	2	3	4	1	15		

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
総合教育科目	外国語系	英語講読 1 (Primary)	1	1	30	
		英語講読 2 (Basic)	1	1	30	
		英語 C A L L 1 (Primary)	1	1	30	
		英語 C A L L 2 (Basic)	1	1	30	
		英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4	1	30	
		英語講読 4 (Advanced)	2 3 4	1	30	
		英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4	1	30	
		英語会話 4 (Advanced)	2 3 4	1	30	
		英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		国際医療通訳入門	1 2 3 4	1	30	
		資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		上級英語文献講読	1 2 3 4	1	30	
		上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4	1	30	
		上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4	1	30	
		ドイツ語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		ドイツ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		中国語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		中国語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		韓国語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		韓国語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		フランス語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		フランス語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		スペイン語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		スペイン語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		タイ語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		タイ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		ベトナム語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		ベトナム語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		ビルマ語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		ビルマ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅰ-A (文法・表現)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅰ-B (記述)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅰ-C (読解)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅰ-D (会話)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅱ-A (文法・表現)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅱ-B (記述)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅱ-C (読解)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅱ-D (会話)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅲ-A (文法・表現)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅲ-B (記述)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅲ-C (読解)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅲ-D (会話)	1 2 3 4	1	30	
		医療福祉専門漢字	1 2 3 4	1	30	
		医療福祉専門語彙	1 2 3 4	1	30	
	保健 体育系	健康科学理論	1 2 3 4	1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4	1	30	

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
専門教育科目	専門基礎科目／学部共通	統計学	2	2		30	
		公衆衛生学	2	2		30	
		救急医学	2		1	15	
		感染と免疫	2 3 4		2	30	
		リハビリテーション概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
		ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
		社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
		臨床心理学概論	1 2 3 4		2	30	
		医療情報学概論	2 3 4		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	2 3 4		2	30	
		電子カルテによるチーム医療概論	2 3 4		2	30	
		エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)	2 3 4		1	15	
		レクリエーション概論	2 3 4		1	15	
		災害保健学	2 3 4		1	15	
		予防保健学	2 3 4		1	15	
		国際医療保健学	2 3 4		1	15	
		異文化体験実習	2 3 4		1	45	
	専門基礎科目	基礎数学	1	2		30	
		自然科学概論	1	2		30	
		基礎物理学	1	1		30	
		基礎化学	1	1		30	
		基礎生物学	1	1		30	
		解剖学Ⅰ（運動器系・循環器系・内臓系）	1	1		30	
		解剖学Ⅱ（内臓系・神経系・感覚器系）	1	1		30	
		生理学	1	2		30	
		病理学	2	2		30	
		病態生理学	2	1		15	
		医学概論	1	2		30	
		看護概論	3	1		15	
		放射線救急医学	3	2		30	
		自然科学実験	1	1		45	

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
専門 教育 科目	専門 科目	応用数学	1		1	30	
		放射線物理学Ⅰ（基礎）	1	1		30	
		放射線物理学Ⅱ（発展）	2	1		30	
		放射線計測学	2	1		30	
		放射線科学演習	2		1	30	
		放射線計測学実験	2	1		45	
		放射化学	2	1		30	
		放射線生物学	2	1		30	
		画像解剖学	2	2		30	
		医療画像基礎論	1	2		30	
		画像情報学	1	2		30	
		画像情報学実験	1	1		45	
		医用工学	1	1		30	
		医用工学演習	2	1		30	
		コンピュータ演習Ⅰ（データ処理）	1		1	30	
		コンピュータ演習Ⅱ（プログラミング）	2		1	30	
		医療情報システム論	3	1		15	
		X線機器工学	1	2		30	
		医療安全管理学	4	2		30	
		診療放射線概論	1	1		15	
		診療画像検査学概論	1	1		15	
		X線検査学Ⅰ	2	1		30	
		X線検査学Ⅱ	2	1		30	
		X線CT検査学	2	2		30	
		診療画像機器工学	2	1		15	
		MRⅠ検査学	2	2		30	
		超音波検査学	2	2		30	
		診療画像学実験Ⅰ	2	2		90	
		診療画像学実験Ⅱ	2	2		90	
		核医学検査技術学	2	2		30	
		核医学	3	2		30	
		核医学検査技術学実験	3	2		90	
		放射線治療機器工学	2	1		15	
		放射線治療技術学	2	2		30	
		放射線腫瘍学	3	2		30	
		放射線治療技術学実験	3	2		90	
		臨床医学Ⅰ（基礎）	3	1		30	
		臨床医学Ⅱ（発展）	4	1		30	
		放射線管理学	2	2		30	
		放射線管理学実験	4	1		45	
		放射線関係法規	3	1		15	
		画像診断学	4	1		30	
		画像診断学演習	4		1	30	
		臨床薬理学	4	1		30	
		医療安全学概論	3	1		30	
		臨床画像学演習	3	2		60	
		診療画像検査学臨床実習	3	8		360	
		核医学検査技術学臨床実習	3	2		90	
		放射線治療技術学臨床実習	3	2		90	
		診療放射線特論	4	2		30	
		放射線学演習Ⅰ（基礎）	4	2		60	
		放射線学演習Ⅱ（総合）	4	2		60	
		放射線腫瘍学特論	4		1	30	
		核医学特論	4		1	30	
		MRⅠ検査学特論	4		1	30	
		画像情報学特論	4		1	30	
		死亡時画像診断学	4		1	15	
		卒業研究Ⅰ（調査・計画）	4	1		45	
		卒業研究Ⅱ（研究報告）	4	1		45	

別表1 授業科目の名称及び単位数
成田保健医療学部 医学検査学科

授業科目の名称			配当年次				単位数 必修 選択	時間	備 考
総合教育科目	人間系	文学論	1	2	3	4	2	30	
		演劇論	1	2	3	4	1	15	
		パフォーマンス表現論	1	2	3	4	2	30	
		心理学	1	2	3	4	2	30	
		哲学	1	2	3	4	2	30	
		コミュニケーション概論	1	2	3	4	2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	2	30	
		人間学	1	2	3	4	2	30	
		歴史学	1	2	3	4	2	30	
		倫理学	1	2	3	4	2	30	
		宗教学	1	2	3	4	2	30	
		日本近現代史	1	2	3	4	2	30	
		文化人類学	1	2	3	4	2	30	
		教育学	1	2	3	4	2	30	
		教育方法論	1	2	3	4	2	30	
		死生学-死を通して生を考える	1	2	3	4	2	30	
	社会系	法学	1	2	3	4	2	30	
		法と道徳・倫理	1	2	3	4	2	30	
		医療関連法規	1	2	3	4	2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1				1	30	
		経済の仕組み	1	2	3	4	2	30	
		経済の歴史	1	2	3	4	2	30	
		世界の経済	1	2	3	4	2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4	2	30	
		世界の中の和文化	1	2	3	4	1	15	
		経営の仕組み	1	2	3	4	2	30	
		組織運営管理論	1	2	3	4	2	30	
		社会学（人間と社会）	1	2	3	4	2	30	
		マスメディア論	1	2	3	4	2	30	
		新聞でみた日本と世界	1	2	3	4	2	30	
		国際関係論	1	2	3	4	2	30	
		国際医療福祉論	1	2	3	4	2	30	
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	1	2			1	30	
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）		2	3		1	45	
		ボランティア論	1	2	3	4	2	30	
		ボランティアコーディネート論	1	2	3	4	2	30	
		手話入門	1	2	3	4	2	30	
		防災と生活デザイン	1	2	3	4	2	30	
	自然・情報系	統計学	1	2	3	4	2	30	
		疫学・保健医療統計学	1	2	3	4	2	30	
		数学	1	2	3	4	2	30	
		物理学	1	2	3	4	2	30	
		化学	1	2	3	4	2	30	
		生物学	1	2	3	4	2	30	
		データリテラシー	1				1	30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4	1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4	1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1				1	30	
		医学/医療史	1	2	3	4	2	30	
		人間工学	1	2	3	4	2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1				1	30	
		郷土論	1	2	3	4	1	15	
		医療福祉教養講義	1	2	3	4	1	15	
		メディカルマナー入門	1	2	3	4	2	30	
		食と人間	1	2	3	4	1	15	
		総合講義	1	2	3	4	1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育科目	外国語系	英語講読 1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読 2 (Basic)	1	1		30	
		英語 C A L L 1 (Primary)	1	1		30	
		英語 C A L L 2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読 4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話 4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		国際医療通訳入門	1 2 3 4		1	30	
		資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語文献講読	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		タイ語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		タイ語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ベトナム語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ベトナム語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ビルマ語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ビルマ語基礎(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-A (文法・表現)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-B (記述)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-C (読解)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-D (会話)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-A (文法・表現)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-B (記述)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-C (読解)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-D (会話)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-A (文法・表現)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-B (記述)	1 2 3 4		1	30	
	日本語Ⅲ-C (読解)	1 2 3 4		1	30		
	日本語Ⅲ-D (会話)	1 2 3 4		1	30		
	医療福祉専門漢字	1 2 3 4		1	30		
	医療福祉専門語彙	1 2 3 4		1	30		
	保健 体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育科目	専門基礎科目 / 学部共通	公衆衛生学	2	1		30	
		救急医学	2 3		1	15	
		感染と免疫	1 2		2	30	
		リハビリテーション概論	1 2		2	30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		ケアマネジメント論	1 2		1	15	
		ケースワーク論	1 2		1	15	
		医療管理学	1 2		2	30	
		保健医療福祉制度論	1	2		30	
		社会福祉学	1 2		2	30	
		臨床心理学概論	1 2		2	30	
		医療情報学概論	2		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	2		2	30	
		電子カルテシステム入門	2		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)	2		1	15	
		レクリエーション概論	2		1	15	
		災害保健学	1 2		1	15	
		予防保健学	1 2		1	15	
		国際医療保健学	1		1	15	
		異文化体験実習	1 2		1	45	
	専門基礎科目	解剖学	1	2		30	
		肉眼解剖学実習	1	1		45	
		生理学	1	1		30	
		病理学	1	2		30	
		臨床医学概論	2	1		30	
		内科学	1	1		30	
		臨床神経学	1 2 3		1	30	
		精神医学	1 2 3		1	30	
		リハビリテーション医学	1 2 3		1	30	
		小児科学	1 2 3		1	30	
		老年学	1 2 3		1	30	
		薬理学	1	1		15	
		栄養学	1 2 3		1	15	
		遺伝学	1	1		15	
		微生物学	1	2		30	
		分析化学	1	1		30	
		生化学	1	1		30	
		生化学実習	1	1		45	
		医用工学・情報概論	1	2		30	
		医用工学・情報実習	1	1		45	
		検査機器学・情報システム学総論	2	2		30	
		保健機能食品学	2 3		1	30	
		食の安全管理学	2 3		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門 教育 科目	専門 科目	病理検査学演習	2	1		30	
		病理検査学	2	2		30	
		病理検査学実習Ⅰ（基礎）	3	1		45	
		病理検査学実習Ⅱ（応用）	3	1		45	
		細胞診断検査学	3	2		30	
		細胞診断検査学実習	3	1		45	
		血液検査学Ⅰ（総論）	2	2		30	
		血液検査学Ⅱ（各論）	2	2		30	
		血液検査学実習Ⅰ（基礎）	3	1		45	
		血液検査学実習Ⅱ（応用）	3	1		45	
		一般検査学	1	2		30	
		一般検査学実習	2	1		45	
		臨床化学検査学Ⅰ（総論）	2	2		30	
		臨床化学検査学Ⅱ（各論）	2	2		30	
		臨床化学検査学実習	3	1		45	
		遺伝子検査学	1	2		30	
		遺伝子検査学実習	2	1		45	
		医科分子生物学	1 2 3		1	15	
		微生物検査学Ⅰ（総論）	2	2		30	
		微生物検査学Ⅱ（各論）	2	2		30	
		微生物検査学実習Ⅰ（基礎）	3	1		45	
		微生物検査学実習Ⅱ（応用）	3	1		45	
		医動物検査学演習	2	1		30	
		免疫検査学	2	2		30	
		免疫検査学実習	2	1		45	
		移植検査学	2	1		15	
		輸血・移植検査学	3	2		30	
		輸血・移植検査学実習	3	1		45	
		生理検査学Ⅰ（総論）	1	2		30	
		生理検査学Ⅱ（各論）	2	2		30	
		生理検査学実習Ⅰ（基礎）	2	1		45	
		生理検査学実習Ⅱ（応用）	3	1		45	
		超音波検査学	3	2		30	
		超音波検査学実習	3	1		45	
		循環動態画像診断学	3	1		15	
		臨床検査管理総論	1	2		30	
		精度保証学	3	1		15	
		臨床検査診断学	3	1		15	
		臨床検査基礎演習	1	1		30	
		先進臨床検査技術学	3		1	15	
		臨床検査統計学	3	1		30	
		医療安全管理学	2	2		30	
		臨床検査研究論	3	2		30	
		臨床検査特論Ⅰ（応用）	4	1		30	
		臨床検査特論Ⅱ（発展）	4	1		30	
		臨地実習	4	11		330	
		客観的臨床能力試験	3	1		30	
		卒業研究	4	4		120	

別表1 授業科目の名称及び単位数
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 心理学科

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育	人間系	心理学概論	1	2		30	
		コミュニケーション概論	1	2		30	
		雑談と傾聴	1	2		30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
		死生学	1 2 3 4		2	30	
	社会系	法学	1	2		30	
		社会学	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1		30	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		経済学	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	数学	1	2		30	
		医療必修—医療の倫理とプロ意識・医療情報—	1	1		30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
		コンピュータの基礎	1 2 3 4		2	30	
		医療データサイエンスⅠ (DS基礎)	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ (AI基礎)	2 3 4		1	30	
		生命倫理	1 2 3 4		2	30	
		医学／医療史	1 2 3 4		2	30	
	総合系	大学入門講座—医療人・社会人として成長するために—	1	1		30	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
	外国語系	英語講読Ⅰ (Primary)	1	1		30	
		英語講読Ⅱ (Basic)	1	1		30	
		英語CALLⅠ (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語CALLⅡ (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話Ⅰ (Primary)	1	1		30	
		英語会話Ⅱ (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		中国語初級Ⅰ (基礎)	1 2 3 4		1	30	
		中国語初級Ⅱ (応用)	1 2 3 4		1	30	
	系 体 保 育 健	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	
専門教育	専 門 基 礎 学 部 共 通	公衆衛生学	3		2	30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4	1		45	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
		リスクマネジメント論	1 2 3 4		2	30	
		災害医療論	1 2 3 4		2	30	
	専 門 基 礎	心理学史	1	2		30	
		臨床心理学概論	2	2		30	
		知覚・認知心理学	1	2		30	
		学習・言語心理学	1	2		30	
		感情・人格心理学	3	2		30	
		神経・生理心理学	3	2		30	
		人体の構造と機能及び疾病	1	2		30	
		精神疾患とその治療	3	2		30	
		心身医学	3		2	30	
		社会・集団・家族心理学Ⅰ (社会・集団)	3	2		30	
		心理学統計法Ⅰ (単変量解析講義・データリテラシー)	1	2		30	
		心理学統計法Ⅱ (単変量解析演習)	1	1		30	
		心理学実験Ⅰ (基礎)	2	1		45	
		心理学実験Ⅱ (応用)	2	1		45	
		発達心理学Ⅰ (胎児期から青年期)	2	2		30	
		発達心理学Ⅱ (成人期から高齢期)	2	2		30	
		心理学研究法Ⅰ (量的研究法)	1	2		30	
		心理学研究法Ⅱ (質的研究法)	2	2		30	
		障害者・障害児心理学	2	2		30	
		教育・学校心理学	2	2		30	
		心理学入門演習	1	2		60	
		心理学初級演習	2	2		60	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考		
				必修	選択				
専 門 教 育	専 門	公認心理師の職責	3	2		30			
		心理学的支援法	3	2		30			
		心理学中級演習	3	2		60			
		心理学上級演習		4	2		60		
		心理的アセスメントⅠ（講義）	2		2		30		
		心理的アセスメントⅡ（演習）	3		2		60		
		心理演習Ⅰ（人間理解）		3	1		30		
		心理演習Ⅱ（ロールプレイング）		3	1		30		
		心理演習Ⅲ（事例検討）			4	1	30		
		社会・集団・家族心理学Ⅱ（家族）		3	2		30		
		家族援助技法講義		3		2	30		
		家族援助技法演習			4	1	30		
		福祉心理学			4	2	30		
		健康・医療心理学		2		2	30		
		精神保健学		3		2	30		
		産業・組織心理学			4	2	30		
		司法・犯罪心理学		3		2	30		
		心理実習Ⅰ（基礎）		2		1	45		
		心理実習Ⅱ（福祉領域）			3		1	45	
		心理実習Ⅲ（保健・医療領域）			3	1		45	
		心理実習Ⅳ（保育・教育領域）			3		1	45	
		心理実習Ⅴ（産業・司法領域）			3		1	45	
		関係行政論			3	2		30	
		メンタルヘルスチェック制度演習			3		1	30	
		メンタルヘルス支援演習				4	1	30	

別表1 授業科目の名称及び単位数

赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 医療マネジメント学科

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育	人間系	心理学概論	1	2		30	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
		雑談と傾聴	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
		死生学	1 2 3 4		2	30	
	社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
		社会学	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1		30	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		経済学	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	数学	1 2 3 4		2	30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
		コンピュータの基礎	1	2		30	
		医療データサイエンスⅠ (DS基礎)	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ (AI基礎)	2 3 4		1	30	
		生命倫理	1 2 3 4		2	30	
		医療必修—医療の倫理とプロ意識・医療情報—	1	1		30	
		医学／医療史	1 2 3 4		2	30	
	総合系	大学入門講座—医療人・社会人として成長するために—	1	1		30	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	1	2		30	
	外国語系	英語講読Ⅰ (Primary)	1	1		30	
		英語講読Ⅱ (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語CALLⅠ (Primary)	1	1		30	
		英語CALLⅡ (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話Ⅰ (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話Ⅱ (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		中国語初級Ⅰ (基礎)	1 2 3 4		1	30	
		中国語初級Ⅱ (応用)	1 2 3 4		1	30	
	系 体 育 健	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	
専門教育	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	3		2	30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
		リスクマネジメント論	1 2 3 4		2	30	
		災害医療論	1 2 3 4		2	30	
	専門基礎	医療概論	1	2		30	
		経営学	1	2		30	
		会計学	1	2		30	
		医療管理総論	1	2		30	
		保健医療情報学	2	2		30	
		医療福祉関連法規	2	2		30	
		医療マネジメント論Ⅰ (外部・内部環境分析)	2	2		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門	人体構造・機能論	1	2		30	
		臨床医学総論	1	2		30	
		医療統計Ⅰ(統計理論・データリテラシー)	1	2		30	
		医療統計Ⅱ(病院統計・疾病統計)	2	2		30	
		経営学演習	1		1	30	
		簿記論Ⅰ(初級)	1	2		30	
		簿記論Ⅱ(応用)	2		2	30	
		簿記演習	2		1	30	
		医療財務会計論	2		2	30	
		医学・医療用語	1		2	30	
		臨床医学各論A(新生物と消化器・泌尿器系)	1		2	30	
		臨床医学各論B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系)	1		2	30	
		臨床医学各論C(感染症と血液・代謝・内分泌等)	2		2	30	
		臨床医学各論D(循環器・呼吸器と周産期系)	2		2	30	
		データ処理Ⅰ(初級・データリテラシー)	1	2		30	
		データ処理Ⅱ(中級)	3		2	30	
		データ処理Ⅲ(上級)	3		2	30	
		ゼミナールⅠ(入門)	1	2		60	
		ゼミナールⅡ(基礎)	2	2		60	
		ゼミナールⅢ(応用)	3	2		60	
		ゼミナールⅣ(発展)	4	2		60	
		診療報酬請求論Ⅰ(初級)	2	2		30	
		診療報酬請求論Ⅱ(中級)	2		2	30	
		診療報酬請求論Ⅲ(上級)	3		2	30	
		医療管理各論Ⅰ(病院管理)	2	2		30	
		医療管理各論Ⅱ(医療保険・介護保険制度)	2	2		30	
		医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理)	2	2		30	
		地域包括ケア論	2		2	30	
		医療マネジメント論Ⅱ(業務・物流の改善)	2	2		30	
		医療マネジメント論Ⅲ(パブリック・ヘルス)	3	2		30	
		医療マネジメント論Ⅳ(リスクマネジメント)	3	2		30	
		人的資源管理論	2		2	30	
		診療情報管理Ⅰ(法令・諸規則)	2		2	30	
		診療情報管理Ⅱ(診療情報管理士の実務)	1		2	30	
		診療情報管理Ⅲ(DPC・医師事務作業補助者等の実務)	2		2	30	
		国際統計分類Ⅰ(基礎)	2		2	30	
		国際統計分類Ⅱ(応用)	3		2	30	
		国際統計分類特別講義	3		2	30	
		薬学概論	2		2	30	
		医療福祉施設実習	3	4		180	
		病院施設管理論	3	2		30	
		病院管理演習Ⅰ(基礎)	3	1		30	
		病院管理演習Ⅱ(応用)	3	1		30	
		経営戦略論	3		2	30	
		経営組織論	3		2	30	
		医療管理会計論	3		2	30	
		経営分析論	3		2	30	
		マーケティング論	3	2		30	
		病院原価計算論	3		2	30	
		社会福祉運営管理論	3		2	30	
		地域医療計画論	3		2	30	
		医療福祉マーケティング論	3	2		30	
		診療情報管理演習Ⅰ(基礎科目A)	3		1	45	
		診療情報管理演習Ⅱ(基礎科目B)	3		1	45	
		診療情報管理演習Ⅲ(専門科目A)	3		1	45	
		診療情報管理演習Ⅳ(専門科目B)	3		1	45	
		介護システム論	3		2	30	
		ケア・マネジメント論	3		2	30	
		保健医療制度論	3		2	30	
		医療マネジメント学特別講義Ⅰ(基礎)	4	2		30	
		医療マネジメント学特別講義Ⅱ(応用)	4	2		30	

別表1 授業科目の名称及び単位数
小田原保健医療学部 看護学科

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修 選択	時間	備 考
総合教育	人間系	文学論	1 2 3 4	2	30	
		演劇論	1 2 3 4	1	15	
		心理学	1 2 3 4	2	30	
		哲学	1 2 3 4	2	30	
		コミュニケーション概論	1	2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4	2	30	
		人間学	1 2 3 4	2	30	
		歴史学	1 2 3 4	2	30	
		倫理学	1 2 3 4	2	30	
		宗教学	1 2 3 4	2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4	2	30	
		文化人類学	1 2 3 4	2	30	
		教育学	1 2 3 4	2	30	養護教諭一種に必要
		死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4	2	30	
	社会系	法学	1 2 3 4	2	30	養護教諭一種、二種に必要
		法と道徳・倫理	1 2 3 4	2	30	
		社会学	1 2 3 4	2	30	
		マスメディア論	1 2 3 4	2	30	
		経済学基礎Ⅰ（経済原論）	1 2 3 4	2	30	
		経済学基礎Ⅱ（日本経済論）	1 2 3 4	2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4	2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4	2	30	
		海外保健福祉事情	1 2 3 4	2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1	30	
		ボランティア論	1 2 3 4	2	30	
		医療関連法規	1	2	30	
	自然・情報系	統計学	1	2	30	
		物理学	1 2 3 4	2	30	
		化学	1 2 3 4	2	30	
		生物学	1 2 3 4	2	30	
		データリテラシー	1	1	30	
		データサイエンスとAIの基礎	1	1	30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4	1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4	1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	1	30	
		医学/医療史	1 2 3 4	2	30	
		人間工学	1 2 3 4	2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1	30	
		総合講義	1 2 3	1	15	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4	1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4	2	30	
	外国語系	英語A-1（講読基礎）	1	1	30	
		英語A-2（講読応用）	1	1	30	
		英語B-1（聴解・発話基礎）	1	1	30	
		英語B-2（聴解・発話応用）	1	1	30	
		英語A-3（講読中級1）	2 3 4	1	30	
		英語A-4（講読中級2）	2 3 4	1	30	
		英語C-1（英会話初級）	2 3 4	1	30	
		英語C-2（英会話中級）	2 3 4	1	30	
		資格英語1（Primary）	1 2 3 4	1	30	
		資格英語2（Basic）	1 2 3 4	1	30	
		基礎英文法1（Primary）	1 2 3 4	1	30	
		基礎英文法2（Basic）	1 2 3 4	1	30	
		ドイツ語初級1（基礎）	1 2 3 4	1	30	
		ドイツ語初級2（応用）	1 2 3 4	1	30	
		中国語初級1（基礎）	1 2 3 4	1	30	
		中国語初級2（応用）	1 2 3 4	1	30	
	系 体 育 健	健康科学理論	1 2 3 4	1	15	養護教諭一種、二種に必要
		健康科学実践	1 2 3 4	1	30	養護教諭一種、二種に必要

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門基礎 (学部共通)	専門基礎 (学部共通)	公衆衛生学	1	2		30	
		救急医学	2 3 4		1	15	養護教諭一種に必要
		リハビリテーション概論	1	2		30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4	1		45	
		ケアマネジメント論	2		1	15	
		ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1	2		30	
		社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
		臨床心理学概論	1	1		30	
		医療情報学概論	2 3 4		2	30	
		生体情報処理概論	2 3 4		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		リスクマネジメント論	1 2 3 4		2	30	
	専門基礎	教職入門	1		2	30	養護教諭一種の履修者以外は選択不可
		教育課程論	1 2		2	30	
		道徳教育の理論と実践	2 3		1	15	
		特別活動及び総合的な学習の時間の基礎	2 3		1	15	
		教育方法論	2 3		2	30	
		発達心理学	1 2		1	15	
		特別支援教育概論	1 2		1	15	
		教育相談の基礎と方法	2 3		1	15	
		生徒指導論	2 3		1	15	
		教職実践演習（養護教諭）	4		2	30	
		養護概説	2 3		2	30	
		疫学	2	2		30	
		保健統計学Ⅰ（基礎）	2	1		15	
		保健統計学Ⅱ（発展）	3		1	15	保健師履修者以外は選択不可
		解剖学Ⅰ（運動器系・内臓学・循環器系）	1	1		30	
		解剖学Ⅱ（内臓学・神経系）	1	1		30	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1		30	
		生理学Ⅱ（動物性機能、内分泌）	1	1		30	
		解剖学・生理学演習	2	1		30	
		栄養学	1	1		30	
		微生物学	1	1		30	
		病理学	2	1		30	
		薬理学	2	1		30	
		疾病・治療論Ⅰ（呼吸、循環、腎泌尿器系）	2	1		30	
		疾病・治療論Ⅱ（消化、代謝・内分泌系）	2	1		30	
		疾病・治療論Ⅲ（免疫、脳神経、運動器、精神系）	2	1		30	
		疾病・治療論Ⅳ（感覚器、口腔、皮膚系）	2	1		30	
		疾病・治療論Ⅴ（リプロダクティブヘルス、小児）	2	1		30	
		看護英語Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		看護英語Ⅱ（発展）	3		1	30	
	専門	看護学原論	1	1		30	
		看護コミュニケーション論	1	1		15	
		看護援助論Ⅰ（看護援助の基本）	1	1		30	
		看護援助論Ⅱ（生活援助）	1	2		60	
		看護援助論Ⅲ（診療援助）	2	2		60	
		看護過程展開論	1	1		30	
		看護過程演習	2	1		30	
		フィールド体験実習	1	1		45	
		フィジカルアセスメントⅠ（基礎）	1	1		30	
		フィジカルアセスメントⅡ（発展）	2	1		15	
		基礎看護学実習Ⅰ（基礎）	1	1		45	
		基礎看護学実習Ⅱ（発展）	2	2		90	
		リプロダクティブヘルス看護学概論	2	1		15	
		リプロダクティブヘルス看護学方法論	3	2		60	
		リプロダクティブヘルス看護学演習	3	1		30	
		リプロダクティブヘルス看護学実習	3	2		90	
		小児看護学概論	2	1		15	
		小児看護学方法論	3	2		60	
		小児看護学演習	3	1		30	
		小児看護学実習	3	2		90	
		成人看護学概論	2	1		15	
		成人看護学方法論Ⅰ（急性期、周手術期看護）	2	2		60	
		成人看護学方法論Ⅱ（慢性期看護）	3	2		60	
		成人看護学方法論Ⅲ（がん看護、終末期看護）	3	1		30	
		老年看護学概論	2	1		15	
		老年看護学方法論	3	2		60	
		老年看護学演習	3	1		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門	成人・老年看護学実習Ⅰ（急性期看護）	3	2		90	
		成人・老年看護学実習Ⅱ（慢性期看護）	3	2		90	
		成人・老年看護学実習Ⅲ（高齢者の理解）	3	1		45	
		成人・老年看護学実習Ⅳ（健康障害のある高齢者の看護）	3	2		90	
		成人・老年看護学実習Ⅴ（認知症を有する高齢者の看護）	4	1		45	
		精神看護学概論	2	1		15	
		精神看護学方法論	2	2		60	
		精神看護学演習	3	1		30	
		精神看護学実習	3	2		90	
		地域・在宅看護学概論	2	1		15	
		地域・在宅看護学方法論Ⅰ（地域生活の理解）	2	2		60	
		地域・在宅看護学方法論Ⅱ（地域療養の支援）	3	2		60	
		地域・在宅看護学演習	4	1		30	
		地域・在宅看護学実習	4	2		90	
		国際看護論	4		1	15	
		災害看護論	3	1		15	
		家族看護論	2		1	15	
		バリアティブケア	3	4	1	15	
		統合看護演習	4		1	30	
		統合技術演習	4		1	30	
		看護研究法概説	3	1		15	
		看護研究	4	2		60	
		看護倫理学	2	3	4	1	15
		看護管理論	3	1		15	
		看護マネジメント実習	4	1		45	
		統合看護実習	4	2		90	
		公衆衛生看護学実習Ⅰ（健康支援）	3		2	90	保健師履修者以外は選択不可
		公衆衛生看護学実習Ⅱ（活動の展開）	4		2	90	
		公衆衛生看護学実習Ⅲ（管理）	4		1	45	
		健康危機管理論	4		1	15	
		保健医療福祉行政論	4		2	30	
		公衆衛生看護学概論	1		2	30	
		健康教育・保健指導論	2		1	30	
		公衆衛生看護学対象別活動論	3		2	30	保健師履修者以外は選択不可
		コミュニティアセスメント論	3		1	30	養護教諭一種に必要
		公衆衛生看護学方法論Ⅰ（基礎）	3		1	30	保健師履修者以外は選択不可
		公衆衛生看護学方法論Ⅱ（発展）	4		1	30	
		産業における看護活動	4		1	15	
		学校における看護活動	3		1	15	
		公衆衛生看護管理論	4		1	15	
		養護実習	4		5	150	養護教諭一種の履修者以外は選択不可
		学校看護学実習	3	4	1	45	

別表1 授業科目の名称及び単位数
小田原保健医療学部 理学療法学科

授業科目の名称			配当年次		単位数		時間	備 考		
					必修	選択				
総合教育	人間系	文学論	1	2	3	4	2	30		
		演劇論	1	2	3	4	1	15		
		心理学	1	2	3	4	2	30		
		哲学	1	2	3	4	2	30		
		コミュニケーション概論	1	2	3	4	2	30		
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	2	30		
		人間学	1	2	3	4	2	30		
		歴史学	1	2	3	4	2	30		
		倫理学	1	2	3	4	2	30		
		宗教学	1	2	3	4	2	30		
		日本近現代史	1	2	3	4	2	30		
		文化人類学	1	2	3	4	2	30		
		教育学	1	2	3	4	2	30		
		教育方法論	1	2	3	4	2	30		
	社会系	死生学-死を通して生を考える	1	2	3	4	2	30		
		法学	1	2	3	4	2	30		
		法と道徳・倫理	1	2	3	4	2	30		
		社会学	1	2	3	4	2	30		
		マスメディア論	1	2	3	4	2	30		
		経済学基礎Ⅰ（経済原論）	1	2	3	4	2	30		
		経済学基礎Ⅱ（日本経済論）	1	2	3	4	2	30		
		国際医療福祉論	1	2	3	4	2	30		
		組織運営管理論	1	2	3	4	2	30		
		海外保健福祉事情	1	2	3	4	2	30		
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1				1	30		
		ボランティア論	1	2	3	4	2	30		
		医療関連法規	1	2	3	4	2	30		
	自然・情報系	統計学	1	2	3	4	2	30		
		物理学	1	2	3	4	2	30		
		化学	1	2	3	4	2	30		
		生物学	1	2	3	4	2	30		
		データリテラシー	1				1	30		
		データサイエンスとAIの基礎	1	2	3		1	30		
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4	1	30		
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4	1	30		
		医療必修—医療の倫理とプロ意識・医療情報—	1				1	30		
		医学/医療史	1	2	3	4	2	30		
		人間工学	1	2	3	4	2	30		
		大学入門講座—医療人・社会人として成長するために—	1				1	30		
	総合系	総合講義	1	2	3		1	15		
		医療福祉教養講義	1	2	3	4	1	15		
		メディカルマナー入門	1	2	3	4	2	30		
	外国語系	英語A-1（講読基礎）	1				1	30		
		英語A-2（講読応用）	1				1	30		
		英語B-1（聴解・発話基礎）	1				1	30		
		英語B-2（聴解・発話応用）	1				1	30		
		英語A-3（講読中級1）		2	3	4	1	30		
		英語A-4（講読中級2）		2	3	4	1	30		
		英語C-1（英会話初級）		2	3	4	1	30		
		英語C-2（英会話中級）		2	3	4	1	30		
		資格英語1（Primary）	1	2	3	4	1	30		
		資格英語2（Basic）	1	2	3	4	1	30		
		基礎英文法1（Primary）	1	2	3	4	1	30		
		基礎英文法2（Basic）	1	2	3	4	1	30		
		ドイツ語初級1（基礎）	1	2	3	4	1	30		
		ドイツ語初級2（応用）	1	2	3	4	1	30		
		中国語初級1（基礎）	1	2	3	4	1	30		
		中国語初級2（応用）	1	2	3	4	1	30		
	体育健康系	健康科学理論	1	2	3	4	1	15		
		健康科学実践	1	2	3	4	1	30		

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門基礎 (学部共通)	公衆衛生学	1 2 3 4		2	30	
		救急医学	1	1		15	
		リハビリテーション概論	1	2		30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4	1		45	
		ケアマネジメント論	2 3 4	1		15	
		ケースワーク論	1 2 3 4	1		15	
		医療管理学	1 2 3 4	2		30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4	2		30	
		社会福祉学	1 2 3 4	2		30	
		臨床心理学概論	2	2		30	
		医療情報学概論	2 3 4	2		30	
		生体情報処理概論	2 3 4	2		30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4	2		30	
		リスクマネジメント論	3 4	2		30	
	専門基礎	疫学・保健医療統計学	2		2	30	
		解剖学Ⅰ（運動器系、内臓器系）	1	1		30	
		解剖学Ⅱ（内臓器系、神経系）	1	1		30	
		解剖学実習Ⅰ（肉眼）	1	1		45	
		解剖学実習Ⅱ（組織）	1	1		45	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1		30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1	1		30	
		生理学実習	1	1		45	
		運動学Ⅰ（基礎）	1	1		30	
		運動学Ⅱ（応用）	1	1		30	
		運動生理学	1	2		30	
		病理学	2	1		30	
		臨床医学概論	2	1		30	
		内科学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		内科学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		神経学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		神経学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		整形外科Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		整形外科Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		精神医学Ⅰ（総論・各論）	2	1		30	
		精神医学Ⅱ（各論）	2		1	30	
		運動学実習Ⅰ（基礎）	2	1		45	
		運動学実習Ⅱ（応用）	2	1		45	
		人間発達学	2	1		30	
		リハビリテーション医学	3	1		30	
		小児科学	2	1		30	
		老年学	2 3 4		1	30	
		神経心理学概論	2 3 4		2	30	
		臨床薬理学概論	2	1		15	
		スポーツ傷害学	2 3 4		1	15	
		外科学	2 3 4		1	15	
		脳神経外科学	2 3 4		1	30	
		栄養学	2 3 4		1	15	
	専門	バルペーション（運動機能）	1		1	15	
		理学療法概論	1	2		30	
		PTスキルⅠ演習（課題発表・PBL）	1	1		30	
		PTスキルⅡ演習（課題学習・口頭試問）	2	1		30	
		PTスキルⅢ演習（課題学習）	3	1		30	
		PTスキルⅣ演習（口頭試問・OSCE・CBT）	3	2		60	
		病態運動学	3	2		30	
		運動解剖学	2	2		30	
		理学療法用語論	1 2 3 4		1	15	
		バイオメカニクス	1 2 3 4		1	15	
		運動心理学	1 2 3 4		1	15	
		スポーツ心理学	1 2 3 4		1	15	
		スポーツ医科学	1 2 3 4		1	15	
		理学療法評価学	2	2		30	
		理学療法診断学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		理学療法診断学Ⅱ（疾患編）	2	1		30	
		理学療法診断学Ⅲ（神経・画像評価学を含む）	2	1		15	
		理学療法診断学Ⅳ（電気診断学）	2 3 4		1	15	
		動作分析学	2 3 4		1	15	
		臨床動作分析学	2 3 4		1	15	
		運動負荷学	2 3 4		1	15	
		理学療法計測法	2	1		15	
		クリニカルリーズニング	2 3 4		1	15	
		高次脳機能障害学	2 3 4		1	15	
		物理療法学Ⅰ（基礎）	1	1		30	
		物理療法学Ⅱ（応用）	2	1		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門	運動療法学総論	2	1		30	
		癌のリハビリテーション	2 3		1	15	
		呼吸管理	2 3		1	15	
		生活技術学	3	1		30	
		生活環境学	3	1		30	
		義肢学	3	1		30	
		装具学	3	1		30	
		理学療法治療総論	3	1		15	
		運動系理学療法学Ⅰ（基礎）	3	1		30	
		運動系理学療法学Ⅱ（応用）	3	1		30	
		神経系理学療法学Ⅰ（脳血管）	3	1		30	
		神経系理学療法学Ⅱ（神経筋）	3	1		30	
		小児理学療法学	3	1		30	
		循環器系理学療法学	3	1		15	
		呼吸器系理学療法学	3	1		15	
		代謝系理学療法学	3	1		15	
		地域理学療法学演習（在宅・地域）	3	1		30	
		老人理学療法学	2 3 4		1	15	
		急性期理学療法学	2 3 4		1	15	
		スポーツ理学療法学	2 3 4		1	15	
		スポーツ傷害治療学	2 3 4		1	15	
		ヘルスプロモーション論	2 3 4		1	15	
		産科理学療法学	2 3 4		1	15	
		精神科理学療法学	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅰ（神経筋促通治療学）	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅱ（神経発達学的治療学）	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅲ（マニュアルセラピー関節）	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅳ（マニュアルセラピー脊柱）	2 3 4		1	15	
		基礎実習	1		1	45	
		検査実習	2		2	90	
		地域リハビリテーション実習	3 4	1		45	
		評価実習	3		4	180	
		総合臨床実習		4	12	540	
		理学療法特論Ⅰ（基礎）		4	2	30	
		理学療法特論Ⅱ（応用）	2 3 4		2	30	
		理学療法研究法	2 3 4		1	15	
		理学療法教育学	2 3 4		1	15	
		理学療法統計法		4	1	15	
		理学療法管理学	2		2	30	
		障害者スポーツ概論	2 3 4		1	15	
		ジャーナルリーディング	2 3 4		1	15	
		レクリエーション概論	2 3 4		1	15	
		理学療法国際事情	1 2 3 4		1	15	
		卒業研究		4	4	180	

別表1 授業科目の名称及び単位数
小田原保健医療学部 作業療法学科

授業科目の名称			配当年次				単位数 必修 選択	時間	備 考
総合教育	人間系	文学論	1	2	3	4	2	30	
		演劇論	1	2	3	4	1	15	
		心理学	1	2	3	4	2	30	
		哲学	1	2	3	4	2	30	
		コミュニケーション概論	1	2	3	4	2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	2	30	
		人間学	1	2	3	4	2	30	
		歴史学	1	2	3	4	2	30	
		倫理学	1	2	3	4	2	30	
		宗教学	1	2	3	4	2	30	
		日本近現代史	1	2	3	4	2	30	
		文化人類学	1	2	3	4	2	30	
		教育学	1				2	30	
		教育方法論	1	2	3	4	2	30	
		死生学-死を通して生を考える	1	2	3	4	2	30	
	社会系	法学	1	2	3	4	2	30	
		法と道徳・倫理	1	2	3	4	2	30	
		社会学	1	2	3	4	2	30	
		マスメディア論	1	2	3	4	2	30	
		経済学基礎Ⅰ（経済原論）	1	2	3	4	2	30	
		経済学基礎Ⅱ（日本経済論）	1	2	3	4	2	30	
		国際医療福祉論	1	2	3	4	2	30	
		組織運営管理論	1	2	3	4	2	30	
		海外保健福祉事情	1	2	3	4	2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1				1	30	
		ボランティア論	1	2	3	4	2	30	
		医療関連法規	1	2	3	4	2	30	
	自然・情報系	統計学	1				2	30	
		物理学	1	2	3	4	2	30	
		化学	1	2	3	4	2	30	
		生物学	1	2	3	4	2	30	
		データリテラシー	1				1	30	
		データサイエンスとAIの基礎	1	2	3		1	30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4	1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4	1	30	
		医療必修—医療の倫理とプロ意識・医療情報—	1				1	30	
		医学/医療史	1	2	3	4	2	30	
		人間工学	1	2	3	4	2	30	
		大学入門講座—医療人・社会人として成長するために—	1				1	30	
	総合系	総合講義	1	2	3		1	15	
		医療福祉教養講義	1	2	3	4	1	15	
		メディカルマナー入門	1	2	3	4	2	30	
	外国語系	英語A-1（講読基礎）	1				1	30	
		英語A-2（講読応用）	1				1	30	
		英語B-1（聴解・発話基礎）	1				1	30	
		英語B-2（聴解・発話応用）	1				1	30	
		英語A-3（講読中級1）		2	3	4	1	30	
		英語A-4（講読中級2）		2	3	4	1	30	
		英語C-1（英会話初級）		2	3	4	1	30	
		英語C-2（英会話中級）		2	3	4	1	30	
		資格英語1（Primary）	1	2	3	4	1	30	
		資格英語2（Basic）	1	2	3	4	1	30	
		基礎英文法1（Primary）	1	2	3	4	1	30	
		基礎英文法2（Basic）	1	2	3	4	1	30	
		ドイツ語初級1（基礎）	1	2	3	4	1	30	
		ドイツ語初級2（応用）	1	2	3	4	1	30	
		中国語初級1（基礎）	1	2	3	4	1	30	
		中国語初級2（応用）	1	2	3	4	1	30	
	体育健康系	健康科学理論	1	2	3	4	1	15	
		健康科学実践	1	2	3	4	1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修 選択	時間	備 考
専門教育	専門基礎（学部共通）	公衆衛生学	1	2	30	
		救急医学	2	1	15	
		リハビリテーション概論	1	2	30	
		関連職種連携論	2	2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1	30	
		関連職種連携実習	4	1	45	
		ケアマネジメント論	2	1	15	
		ケースワーク論	1	1	15	
		医療管理学	1	2	30	
		保健医療福祉制度論	1	2	30	
		社会福祉学	1	2	30	
		臨床心理学概論	1	2	30	
		医療情報学概論	2	2	30	
		生体情報処理概論	2	2	30	
		福祉支援工学概論	1	2	30	
		リスクマネジメント論	3	2	30	
	専門基礎	疫学・保健医療統計学	2	2	30	
		解剖学Ⅰ（運動器系、循環器系）	1	1	30	
		解剖学Ⅱ（内臓器系、神経系、感覚器系）	1	1	30	
		解剖学実習	1	1	45	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1	30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1	1	30	
		生理学実習	1	1	45	
		運動学Ⅰ（基礎）	1	1	30	
		運動学Ⅱ（応用）	1	1	30	
		運動学実習	1	1	45	
		運動生理学	2	1	30	
		病理学	2	1	30	
		内科学	2	1	30	
		神経学Ⅰ（基礎）	2	1	30	
		神経学Ⅱ（臨床）	2	1	30	
		整形外科Ⅰ（基礎）	2	1	30	
		整形外科Ⅱ（臨床）	2	1	30	
		精神医学Ⅰ（基礎）	2	1	30	
		精神医学Ⅱ（臨床）	2	1	30	
		小児科学	2	1	30	
		老年学	2	1	30	
		リハビリテーション医学	3	1	30	
		人間発達学	2	1	30	
		臨床薬理学概論	2	1	15	
		栄養学	2	1	15	
		外科学	2	1	15	
		脳神経外科学	2	1	30	
		神経心理学概論	2	1	30	
		レクリエーション概論	3	1	15	
		対人援助論	2	1	15	
	専門	専門英語	3	1	30	
		作業療法概論	1	1	15	
		作業学概論	1	1	15	
		作業工程技術学・基礎論	1	1	30	
		作業工程技術学・応用論	3	1	30	
		作業分析学Ⅰ（基礎）	2	1	30	
		作業分析学Ⅱ（応用）	2	1	30	
		作業応用論	3	1	30	
		研究法概論	3	1	15	
		研究法演習	3	1	30	
		卒業研究	4	1	30	
		作業療法倫理・管理	4	2	30	
		作業療法評価学概論	2	1	30	
		作業療法評価学各論	2	1	30	
		作業療法評価学演習	2	1	30	
		基礎運動機能評価法	2	1	30	
		上肢機能評価法	2	1	15	
		日常生活活動評価法	2	1	15	
		認知機能評価法	3	1	15	
		作業療法諸理論	4	1	15	
		作業療法適用学概論	3	1	15	
		内科系疾患作業療法学	3	1	30	
		運動器疾患作業療法学	3	1	30	
		中枢神経疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1	30	
		中枢神経疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1	30	
		精神疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1	30	
		精神疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1	30	
		小児作業療法学Ⅰ（総論）	3	1	30	
		小児作業療法学Ⅱ（各論）	3	1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考	
				必修	選択			
専 門 教 育	専 門	老年作業療法学	3	1		30		
		認知障害作業療法学	3	1		30		
		作業療法適用学特論	4		1	15		
		作業療法応用学概論	3		1	15		
		就学・就労支援論	3		1	15		
		生活技術学Ⅰ（総論）	2	1		30		
		生活技術学Ⅱ（各論）	3	1		30		
		コミュニケーション技術論	2	1		30		
		職業関連技術学	3	1		30		
		作業療法の諸外国事情	3		1	15		
		地域生活作業療法論	3	1		30		
		地域ケアシステム論	3		1	15		
		障害代償学概論	3	1		30		
		義肢適用論	3		1	15		
		装具・副子適用論	3		1	30		
		自助具・福祉機器適用論	3	1		30		
		住環境整備論	3	1		30		
		バリアフリー論	3		1	15		
		臨床実習特論	3	1		15		
		作業療法総括論	4	1		30		
		基礎実習	1		1	45		
		検査実習	2		2	90		
		評価実習	3		5	225		
		総合実習Ⅰ（基礎的介入）	4	7		315		
		総合実習Ⅱ（応用的介入）	4	7		315		
		地域リハビリテーション実習	3 4	1		45		
		臨床実習ゼミⅠ（作業療法計画立案）	3		1	15		
		臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践）	3		1	15		

別表1 授業科目の名称及び単位数
留学生用日本語科目(小田原保健医療学部)

授業科目の名称			配当年次				単位数		時間	備 考
							必修	選択		
総合教育	外国語系	日本語Ⅰ－A(作文)	1	2	3	4		1	30	
		日本語Ⅰ－B(文法・語彙)	1	2	3	4		1	30	
		日本語Ⅱ－A(作文)	1	2	3	4		1	30	
		日本語Ⅱ－B(文法・語彙)	1	2	3	4		1	30	
		日本語Ⅱ－C(発表討論)	1	2	3	4		1	30	
		日本語Ⅱ－D(専門日本語)	1	2	3	4		1	30	
		日本語Ⅲ－A(作文)	1	2	3	4		1	30	
		日本語Ⅲ－B(文法・語彙)	1	2	3	4		1	30	
		日本語Ⅲ－C(発表討論)	1	2	3	4		1	30	
		日本語Ⅲ－D(専門日本語)	1	2	3	4		1	30	

別表1 授業科目の名称及び単位数
福岡保健医療学部 看護学科

授業科目の名称			配当年次				単位数		時間	備 考		
							必修	選択				
総合 教育 科目	人間系	文学論	1	2	3	4		2	30			
		死生学－死を通して生を考える	1	2	3	4		2	30			
		演劇論	1	2	3	4		1	15			
		心理学	1	2	3	4		2	30			
		哲学	1	2	3	4		2	30			
		コミュニケーション概論	1					2	30			
		雑談と傾聴～話す力と聞く力～	1	2	3	4		2	30			
		人間学	1	2	3	4		2	30			
		倫理学	1	2	3	4		2	30			
		宗教学	1	2	3	4		2	30			
		日本近現代史	1	2	3	4		2	30			
		文化人類学	1	2	3	4		2	30			
		教育学	1	2	3	4		2	30			
	社会科学系	経済の仕組み	1	2	3	4		2	30			
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）		2	3	4	1		15			
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）		2	3	4	1		45			
		社会学	1	2	3	4		2	30			
		国際関係論	1	2	3	4		2	30			
		ボランティア論	1	2	3	4		2	30			
		国際医療福祉論	1	2	3	4		2	30			
		法学	1	2	3	4		2	30			
		日本国憲法	1	2	3	4		2	30			
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1				1		30			
		手話入門	1	2	3	4		2	30			
		医療関連法規	1				2		30			
	自然・情報系	物理学	1	2	3	4		2	30			
		情報処理Ⅰ（基礎）	1				1		30			
		情報処理Ⅱ（応用）	1	2	3	4		1	30			
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1				1		30			
		医学/医療史	1	2	3	4		2	30			
		生物学	1	2	3	4		2	30			
		化学	1	2	3	4		2	30			
		人間工学	1	2	3	4		2	30			
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1				1		30			
		メディカルマナー入門	1	2	3	4		2	30			
		医療福祉教養講義	1	2	3	4		1	15			
		郷土論-大川学	1	2	3	4		1	15			
	外国語系	英語講読1 (Primary)	1				1		30			
		英語講読2 (Basic)	1				1		30			
		英語CALL1 (Primary)	1				1		30			
		英語CALL2 (Basic)	1				1		30			
		英会話	1	2	3	4		1	30			
		実用英会話		2	3	4		1	30			
		中国語	1	2	3	4		2	60			
		実用中国語会話		2	3	4		1	30			
		韓国語	1	2	3	4		2	60			
		実用韓国語会話		2	3	4		1	30			
		資格英語1 (Primary)	1	2	3	4		1	30			
		資格英語2 (Basic)	1	2	3	4		1	30			
	体育健康系	健康科学理論	1	2	3	4		1	15			
		健康科学実践	1	2	3	4		1	30			

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門 教育 科目	専門 基礎 科目	公衆衛生学	1	2		30	
		救急医学	2 3 4	1		15	
		微生物と病気	1	2		30	
		生化学	1 2 3 4	2		30	
		リハビリテーション概論	3 4	2		30	
		保健医療福祉制度論	1	2		30	
		保健医療福祉行政論	2	1		15	
		保健統計学	2	2		30	
		疫学	3	2		30	
		ケアマネジメント論	2 3 4	1		15	
		ケースワーク論	1 2 3 4	1		15	
		医療管理学	1 2 3 4	2		30	
		社会福祉学	1 2 3 4	2		30	
		リスクマネジメント論	2 3 4	2		30	
		臨床心理学概論	2 3 4	2		30	
		医療情報学概論	2 3 4	2		30	
		国際医療保健学	1 2 3 4	1		15	
		関連職種連携論	2	2		30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4	1		45	
		からだの構造	1	2		30	
		からだの機能	1	2		30	
		臨床薬理学	2	2		30	
		栄養と健康	2	1		15	
		遺伝と医療	1	1		15	
		放射線科学概論	1 2 3 4	1		15	
		疾病の成り立ち（病理学）	1	1		30	
		疾病・治療論Ⅰ（呼吸、循環、腎泌尿器系）	1	1		30	
		疾病・治療論Ⅱ（消化、代謝・内分泌系）	1	1		30	
		疾病・治療論Ⅲ（免疫、脳神経、運動器、精神系）	2	1		30	
		疾病・治療論Ⅳ（感覚器、口腔、皮膚系）	2	1		30	
		疾病・治療論Ⅴ（リプロダクティブヘルス、小児）	2	1		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専 門 教 育 科 目	専 門 科 目	看護学概論	1	2		30	
		看護理論	1	1		15	
		看護コミュニケーション	1	1		15	
		看護技術論Ⅰ（共通基本技術）	1	1		30	
		看護技術論Ⅱ（日常生活援助技術）	1	2		60	
		看護技術論Ⅲ（医療支援技術）	2	1		30	
		看護過程展開論	2	1		30	
		フィジカルアセスメントⅠ（概論・基本技術・問診・呼吸器系・循環器系）	1	1		30	
		フィジカルアセスメントⅡ（運動器系・消化器系・乳房・中枢神経系・感覚器系）	2	1		30	
		基礎看護学実習Ⅰ（生活支援）	1	1		45	
		基礎看護学実習Ⅱ（看護過程）	2	2		90	
		地域・在宅看護論Ⅰ（地域での暮らしと健康）	1	1		15	
		地域・在宅看護論Ⅱ（地域での療養支援）	2	2		30	
		地域・在宅看護方法論	3	2		30	
		地域・在宅看護論演習	3	1		30	
		地域・在宅看護論実習Ⅰ（対象理解）	1	1		45	
		地域・在宅看護論実習Ⅱ（地域療養支援）	3	2		90	
		地域・在宅看護論実習Ⅲ（継続看護）	4	1		45	
		成人看護学概論	2	2		30	
		成人看護学方法論Ⅰ（急性期・回復期）	3	2		45	
		成人看護学方法論Ⅱ（慢性期・終末期）	2	2		45	
		老年看護学概論	2	1		15	
		老年看護学方法論	2	2		30	
		老年看護学演習	3	1		30	
		成人・老年看護学実習Ⅰ（急性期・回復期）	3	3		135	
		成人・老年看護学実習Ⅱ（慢性期・終末期）	3	3		135	
		成人・老年看護学実習Ⅲ（高齢者施設）	3	1		45	
		小児看護学概論	1	1		15	
		小児看護学方法論	2	2		30	
		小児看護学演習	3	1		30	
		小児看護学実習Ⅰ（保育所）	1	1		45	
		小児看護学実習Ⅱ（病棟）	3	1		45	
		リプロダクティブヘルス看護学概論	2	1		15	
		リプロダクティブヘルス看護学方法論	2	2		30	
		リプロダクティブヘルス看護学演習	3	1		30	
		リプロダクティブヘルス看護学実習Ⅰ（地域育児支援）	3	1		45	
		リプロダクティブヘルス看護学実習Ⅱ（病棟）	3	1		45	
		精神看護学概論	2	1		15	
		精神看護学方法論	3	2		30	
		精神看護学演習	3	1		30	
		精神看護学実習	3	2		90	
		感染看護論	2	1		15	
		国際看護論	4	1		15	
		看護管理論	4	1		15	
		看護倫理学	2	1		15	
		看護教育学	4	1		15	
		家族看護論	2	1		15	
		災害看護論	4	2		30	
		看護学特論	4	1		15	
		看護研究Ⅰ（研究方法）	3	2		30	
		看護研究Ⅱ（卒業論文）	4	2		60	
		看護統合実習	4	3		135	
		公衆衛生看護学概論	2	2		30	
		公衆衛生看護活動対象論Ⅰ（母子・成人・高齢者保健）	3	2		30	
		公衆衛生看護活動対象論Ⅱ（難病・精神・障害等保健活動）	3	2		30	
		公衆衛生看護活動方法論Ⅰ（家庭訪問・健康診査等）	4	1		30	
		公衆衛生看護活動方法論Ⅱ（地区踏査・地域診断）	4	1		30	
		公衆衛生看護活動展開論	4	2		30	
		産業保健	2	1		15	
		学校保健	2	1		15	
		健康教育・保健指導論	2	2		30	
		公衆衛生看護管理論	4	1		15	
		公衆衛生看護学実習Ⅰ（行政保健）	4	4		180	
		公衆衛生看護学実習Ⅱ（産業保健）	4	1		45	

別表1 授業科目の名称及び単位数
福岡保健医療学部 理学療法学科

授業科目の名称			配当年次				単位数		時間	備考	
							必修	選択			
総合教育	人間系	文学論	1	2	3	4		2	30		
		死生学－死を通して生を考える	1	2	3	4		2	30		
		演劇論	1	2	3	4		1	15		
		心理学	1	2	3	4		2	30		
		哲学	1	2	3	4		2	30		
		コミュニケーション概論	1	2	3	4		2	30		
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4		2	30		
		人間学	1	2	3	4		2	30		
		倫理学	1	2	3	4		2	30		
		宗教学	1	2	3	4		2	30		
		日本近現代史	1	2	3	4		2	30		
		文化人類学	1	2	3	4		2	30		
		教育学	1					2	30		
		教育方法論			3	4		2	30		
	社会系	経済の仕組み	1	2	3	4		2	30		
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）			2	3	4	1	15		
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）			2	3	4	1	45		
		社会学	1	2	3	4		2	30		
		国際関係論	1	2	3	4		2	30		
		ボランティア論	1	2	3	4		2	30		
		国際医療福祉論	1	2	3	4		2	30		
		組織運営管理論	1	2	3	4		2	30		
		日本国憲法	1	2	3	4		2	30		
		法学	1	2	3	4		2	30		
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1					1	30		
	自然・情報系	統計学		2				2	30		
		物理学	1	2	3	4		2	30		
		データリテラシー	1					1	30		
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1					1	30		
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4		1	30		
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4		1	30		
		医学／医療史	1	2	3	4		2	30		
		数学	1	2	3	4		2	30		
		生物学	1	2	3	4		2	30		
		大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1					1	30		
	総合系	メディカルマナー入門	1	2	3	4		2	30		
		医療福祉教養講義	1	2	3	4		1	15		
		郷土論－大川学	1	2	3	4		1	15		
	外国語系	医学英語Ⅰ（入門）	1					1	30		
		医学英語Ⅱ（応用）	1					1	30		
		英会話	1					1	30		
		中国語 ※1	1	2	3	4		2	60	※1から2単位以上選択必修	
		韓国語 ※1	1	2	3	4		2	60		
		実用英会話 ※2		2				1	30	※2から1単位以上選択必修	
		実用中国語会話 ※2		2				1	30		
		実用韓国語会話 ※2		2				1	30		
		資格英語1（Primary）	1	2	3	4		1	30		
		資格英語2（Basic）	1	2	3	4		1	30		
	保健体育系	健康科学理論	1	2	3	4		1	15		

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門基礎	公衆衛生学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
		ケアマネジメント論	1 2 3 4		1	15	
		リスクマネジメント論		3 4	2	30	
		関連職種連携実習		4	1	45	
		リハビリテーション概論	1		2	30	
		臨床心理学概論		2		30	
		救急医学		2	1	15	
		関連職種連携論		2		30	
		関連職種連携ワーク		3	1	30	
		解剖学Ⅰ（循環器系、消化器系、呼吸器系）	1		1	30	
		解剖学Ⅱ（神経系、内分泌系、生殖器系）	1		1	30	
		解剖学実習Ⅰ（肉眼）	1		1	45	
		解剖学実習Ⅱ（組織）	1		1	45	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1		1	30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1		1	30	
		生理学実習	1		1	45	
		病理学		2	1	30	
		臨床医学概論	1		1	30	
		内科学Ⅰ（基礎）		2	1	30	
		内科学Ⅱ（臨床）		2	1	30	
		神経学Ⅰ（基礎）		2	1	30	
		神経学Ⅱ（臨床）		2	1	30	
		整形外科Ⅰ（基礎）		2	1	30	
		整形外科Ⅱ（臨床）		2	1	30	
		精神医学Ⅰ（総論・各論）		2	1	30	
		精神医学Ⅱ（各論）		2 3	1	30	
		リハビリテーション医学	1		1	30	
		小児科学		2	1	30	
		老年学		2	1	30	
		臨床薬理学概論	1		1	15	
		栄養学	1 2 3 4		1	15	
		人間発達学	1		1	30	
		カウンセリング論	1 2 3 4		1	15	
		運動学Ⅰ（基礎）	1		1	30	
		運動学Ⅱ（応用）	1		1	30	
		運動生理学	1		2	30	
		運動学演習Ⅰ（基礎）		2	1	30	
		運動学演習Ⅱ（応用）		2	1	30	
	専門	理学療法概論	1		2	30	
		PTスキルⅠ演習	1		1	30	
		PTスキルⅡ演習		2	1	30	
		PTスキルⅢ演習		3	2	60	
		PTスキルⅣ演習		4	1	30	
		病態運動学		3	2	30	
		運動解剖学	1		2	30	
		理学療法用語論	1		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考	
				必修	選択			
専門教育	専門	バイオメカニクス	1	1		15		
		理学療法評価学	1	1		30		
		理学療法診断学Ⅰ（基礎）	2	2		60		
		理学療法診断学Ⅱ（疾患編）	2	1		30		
		理学療法診断学Ⅲ（神経・画像評価学を含む）	2	2		30		
		理学療法診断学Ⅳ（電気診断学）	2 3 4		1	15		
		高次脳機能障害学	2 3 4		1	15		
		物理療法学Ⅰ（基礎）	2	1		30		
		物理療法学Ⅱ（応用）	2	1		30		
		運動療法学総論	2	1		30		
		生活技術学	2	1		30		
		生活環境学	2	1		30		
		義肢学	2	1		30		
		装具学	2	1		30		
		理学療法治療総論	3	1		15		
		運動系理学療法学Ⅰ（基礎）	3	1		30		
		運動系理学療法学Ⅱ（応用）	3	1		30		
		神経系理学療法学Ⅰ（脳血管）	3	1		30		
		神経系理学療法学Ⅱ（神経筋）	3	1		30		
		小児理学療法学	2	1		30		
		呼吸器系理学療法学	3	2		30		
		循環器系理学療法学	3	1		15		
		代謝系理学療法学	3	1		15		
		地域理学療法学演習（在宅・地域）	3	2		30		
		老人理学療法学	2	1		15		
		スポーツ理学療法学	3 4		1	15		
		障害者スポーツⅠ（入門）	1 2 3 4		1	15		
		障害者スポーツⅡ（応用）	3 4		1	45		
		癌のリハビリテーション	2 3 4		1	15		
		福祉住環境論	2 3		1	15		
		理学療法技術学	3 4		1	30		
		理学療法特論Ⅰ（基礎）	4	1		30		
		理学療法特論Ⅱ（総合）	4	2		30		
		理学療法管理学	3	2		30		
		卒業研究		4	4	120		
		基礎実習	1	1		45		
		検査実習	2 3	1		45		
		評価実習	3	1		45		
		地域リハビリテーション実習	3 4	1		45		
		臨床実習Ⅰ（入門）	3 4	8		360		
		臨床実習Ⅱ（応用）		4	8	360		

別表1 授業科目の名称及び単位数
福岡保健医療学部 作業療法学科

授業科目の名称			配当年次				単位数		時間	備考	
							必修	選択			
総合教育	人間系	文学論	1	2	3	4		2	30		
		死生学－死を通して生を考える	1	2	3	4		2	30		
		演劇論	1	2	3	4		1	15		
		心理学	1	2	3	4		2	30		
		哲学	1	2	3	4		2	30		
		コミュニケーション概論	1	2	3	4		2	30		
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4		2	30		
		人間学	1	2	3	4		2	30		
		倫理学	1	2	3	4		2	30		
		宗教学	1	2	3	4		2	30		
		日本近現代史	1	2	3	4		2	30		
		文化人類学	1	2	3	4		2	30		
		教育学	1	2	3	4		2	30		
		教育方法論			3	4		2	30		
	社会系	経済の仕組み	1	2	3	4		2	30		
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）		2	3	4	1		15		
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）		2	3	4	1		45		
		社会学	1	2	3	4		2	30		
		国際関係論	1	2	3	4		2	30		
		ボランティア論	1	2	3	4		2	30		
		国際医療福祉論	1	2	3	4		2	30		
		組織運営管理論	1	2	3	4		2	30		
		日本国憲法	1	2	3	4		2	30		
		法学	1	2	3	4		2	30		
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1				1		30		
	自然・情報系	統計学		2			2		30		
		物理学	1	2	3	4		2	30		
		データリテラシー	1				1		30		
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1				1		30		
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4		1	30		
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4		1	30		
		医学／医療史	1	2	3	4		2	30		
		数学	1	2	3	4		2	30		
		生物学	1	2	3	4		2	30		
		大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1				1		30		
	総合系	メディカルマナー入門	1	2	3	4		2	30		
		医療福祉教養講義	1	2	3	4		1	15		
		郷土論－大川学	1	2	3	4		1	15		
	外国語系	医学英語Ⅰ（入門）	1				1		30		
		医学英語Ⅱ（応用）	1				1		30		
		英会話	1				1		30		
		中国語 ※1	1	2	3	4		2	60	※1から2単位以上選択必修	
		韓国語 ※1	1	2	3	4		2	60		
		実用英会話 ※2		2				1	30	※2から1単位以上選択必修	
		実用中国語会話 ※2		2				1	30		
		実用韓国語会話 ※2		2				1	30		
		資格英語1（Primary）	1	2	3	4		1	30		
		資格英語2（Basic）	1	2	3	4		1	30		
	保健体育系	健康科学理論	1	2	3	4		1	15		

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育科目	専門基礎科目	公衆衛生学	1	2		30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4	2		30	
		ケアマネジメント論	1 2 3 4	1		15	
		リスクマネジメント論	3 4	2		30	
		関連職種連携実習	4	1		45	
		リハビリテーション概論	1	2		30	
		臨床心理学概論	2	2		30	
		救急医学	2	1		15	
		関連職種連携論	2	2		30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		解剖学Ⅰ（循環器系、消化器系、呼吸器系）	1	1		30	
		解剖学Ⅱ（神経系、内分泌系、生殖器系）	1	1		30	
		解剖学実習	1	1		45	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1		30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1	1		30	
		生理学実習	1	1		45	
		病理学	1	1		30	
		臨床医学概論	1 2 3 4	1		30	
		内科学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		内科学Ⅱ（臨床）	2 3	1		30	
		神経学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		神経学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		整形外科Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		整形外科Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		精神医学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		精神医学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		リハビリテーション医学	1	1		30	
		小児科学	2	1		30	
		老年学	2	1		30	
		臨床薬理学概論	1	1		15	
		栄養学	1 2 3 4	1		15	
		人間発達学	1	1		30	
		カウンセリング論	1 2 3 4	1		15	
		運動学Ⅰ（基礎）	1	1		30	
		運動学Ⅱ（応用）	1	1		30	
		運動生理学	2	1		30	
		運動学実習	2	1		45	
	専門科目	作業療法概論	1	1		15	
		作業学概論	1	1		15	
		作業工程技術学	1	1		45	
		作業分析学	2	1		45	
		作業応用論	2 3 4	1		30	
		研究法概論	3	1		15	
		研究法演習	3	1		30	
		卒業研究	4	4		120	
		作業療法管理学	4	1		15	
		作業療法教育学	3	1		15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育科目	専門科目	作業療法評価学概論	2	1		15	
		作業療法評価学各論	2	1		30	
		作業療法評価学演習	2	1		30	
		基礎運動機能評価法	2	1		30	
		生活機能評価法	2	1		30	
		上肢機能評価法	2	1		15	
		高次脳機能評価法	2	1		15	
		作業療法諸理論	2 3 4		1	15	
		作業療法適用学概論	2	1		15	
		内科系疾患作業療法学	3	1		30	
		運動器疾患作業療法学	3	1		30	
		中枢神経疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		中枢神経疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		中枢神経疾患作業療法学Ⅲ（特論）	3 4		1	15	
		精神疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		精神疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		精神疾患作業療法学Ⅲ（特論）	3 4		1	15	
		小児作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		小児作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		小児作業療法学Ⅲ（特論）	3 4		1	15	
		老年作業療法学	3	1		30	
		認知障害作業療法学	3	1		30	
		作業療法応用学概論	4	1		15	
		就学・就労支援論	3	1		15	
		生活技術学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		生活技術学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		コミュニケーション技術論	3	1		30	
		職業関連技術学	3 4		1	15	
		地域生活作業療法論	3	1		15	
		地域ケアシステム論	3	1		15	
		地域生活支援論	3	1		15	
		地域生活支援演習	3	1		30	
		障害代償学概論	2	1		15	
		義肢適用論	3	1		15	
		装具・副子適用論	3	1		30	
		自助具・福祉機器適用論	3	1		30	
		住環境整備論	3	1		15	
		バリアフリー論	2 3		1	15	
		作業療法総括論	4	1		30	
		基礎実習	1	1		45	臨床実習
		検査実習	2	1		45	臨床実習
		地域作業療法実習	3	1		45	臨床実習
		評価実習	3	3		135	臨床実習
		総合実習	4	18		810	臨床実習

別表1 授業科目の名称及び単位数
福岡保健医療学部 医学検査学科

授業科目の名称			配当年次				単位数		時間	備 考		
							必修	選択				
総合 教育 科目	人間系	文学論	1	2	3	4		2	30			
		死生学－死を通して生を考える	1	2	3	4		2	30			
		演劇論	1	2	3	4		1	15			
		心理学	1	2	3	4		2	30			
		哲学	1	2	3	4		2	30			
		コミュニケーション概論	1	2	3	4		2	30			
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4		2	30			
		人間学	1	2	3	4		2	30			
		倫理学	1	2	3	4		2	30			
		宗教学	1	2	3	4		2	30			
		日本近現代史	1	2	3	4		2	30			
		文化人類学	1	2	3	4		2	30			
		教育学	1	2	3	4		2	30			
	社会系	経済の仕組み	1	2	3	4		2	30			
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）		2	3	4	1		15			
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）		2	3	4	1		45			
		社会学	1	2	3	4		2	30			
		国際関係論	1	2	3	4		2	30			
		ボランティア論	1	2	3	4		2	30			
		国際医療福祉論	1	2	3	4		2	30			
		組織運営管理論	1	2	3	4		2	30			
		日本国憲法	1	2	3	4		2	30			
		法学	1	2	3	4		2	30			
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1				1		30			
	自然・情報系	統計学		2			2		30			
		物理学	1	2	3	4		2	30			
		データリテラシー	1				1		30			
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1				1		30			
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4		1	30			
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4		1	30			
		医学／医療史	1	2	3	4		2	30			
		数学	1	2	3	4		2	30			
		基礎生物学		1				2	30			
		基礎化学	1					1	30			
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1				1		30			
		メディカルマナー入門	1	2	3	4		2	30			
		医療福祉教養講義	1	2	3	4		1	15			
		郷土論－大川学	1	2	3	4		1	15			
		医学英語Ⅰ（入門）	1				1		30			
	外国語系	医学英語Ⅱ（応用）	1				1		30			
		英会話	1				1		30			
		中国語 ※3	1	2	3	4		2	60	※3から2単位以上選択必修		
		韓国語 ※3	1	2	3	4		2	60			
		実用英会話 ※4		2				1	30			
		実用中国語会話 ※4		2				1	30	※4から1単位以上選択必修		
		実用韓国語会話 ※4		2				1	30			
		資格英語1（Primary）	1	2	3	4		1	30			
		資格英語2（Basic）	1	2	3	4		1	30			
	体育健康系	健康科学理論 ※5	1	2	3	4		1	15			
		健康科学実践 ※5	1	2	3	4		1	30			

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
専門基礎科目	保健医療福祉制度論	1	2		30	
	公衆衛生学	2	1		30	
	臨床心理学概論	1 2 3 4		2	30	
	リスクマネジメント論	2 3 4		2	30	
	救急医学	1 2 3 4		1	15	
	関連職種連携論	2	2		30	
	関連職種連携ワーク	3	1		30	
	関連職種連携実習	4		1	45	
	解剖学Ⅰ（総論）	1	1		30	
	解剖学Ⅱ（各論）	1	1		30	
	解剖組織学実習	1	1		45	
	食品栄養学	4	2		30	
	生理学	1	1		30	
	病理学	1	1		30	
	臨床医学概論	1	1		30	
	内科学	2	2		30	
	臨床神経学	2		1	30	
	薬理学	1 2 3 4		1	15	
	遺伝学	1	1		30	
	分析化学	1	1		30	
	生化学	1	1		30	
	生化学実習	1	1		45	
	医用工学・情報概論	1	1		30	
	医用工学・情報実習	2	1		45	
	検査機器学・情報システム学総論	3	2		30	
	保健機能食品学	4		1	30	
	食の安全管理学	3		1	30	
専門教育科目	病理検査学	2	2		30	
	病理検査学実習Ⅰ（基礎）	2	1		45	
	病理検査学実習Ⅱ（応用）	3	1		45	
	細胞診断検査学	2	2		30	
	細胞検査学実習	2	1		45	
	血液検査学Ⅰ（基礎）	1	2		30	
	血液検査学Ⅱ（臨床）	2	2		30	
	血液検査学実習Ⅰ（形態検査）	2	1		45	
	血液検査学実習Ⅱ（分析検査）	2	1		45	
	一般検査学Ⅰ（分析）	1	2		30	
	一般検査学Ⅱ（形態）	2	2		30	
	一般検査学実習Ⅰ（分析）	2	1		45	
	一般検査学実習Ⅱ（形態）	2	1		45	
	臨床化学検査学Ⅰ（総論）	2	2		30	
	臨床化学検査学Ⅱ（各論）	2	2		30	
	臨床化学検査学実習	3	1		45	
	遺伝子検査学	2	2		30	
	遺伝子検査学実習	3	1		45	
	分子病態検査学演習	3		1	30	
	微生物検査学Ⅰ（総論）	1	2		30	
	微生物検査学Ⅱ（各論）	1	2		30	
	微生物学実習Ⅰ（基礎）	2	1		45	
	微生物学実習Ⅱ（応用）	2	1		45	
	医動物検査学演習	3	1		30	
	免疫検査学	2	2		30	
	輸血検査学	2	2		30	
	免疫検査学実習	2	1		45	
	輸血検査学実習	3	1		45	
	生理検査学Ⅰ（総論）	1	2		30	
	生理検査学Ⅱ（各論）	2	2		30	
	生理検査学実習Ⅰ（基礎）	2	1		45	
	生理検査学実習Ⅱ（応用）	2	1		45	
	超音波画像検査学	3	2		30	
	超音波検査学実習	3	1		45	
	検査学入門	1	1		30	
	精度管理学	3	2		30	
	検査管理運営学	4	2		30	
	臨床検査統計学	3	2		30	
	臨床検査医学総論	3	2		30	
	医療安全管理学	4	1		15	
	医学検査特論Ⅰ（応用）	4	2		60	
	医学検査特論Ⅱ（発展）	4		1	30	
	臨地実習	3	12		360	
	総合病態学演習	3	2		60	
	卒業研究	4	4		120	
	移植検査学	3	1		15	
	シミュレーション医学検査演習	2	1		30	
	先端臨床検査学	4		1	15	

別表1 授業科目の名称及び単位数
福岡薬学部薬学科

授業科目の名称			配当年次	単位数			時間	備 考
				必修	選択	自由		
総合教育科目	人間系	文学論	1 2 3 4 5 6		2		30	
		演劇論	1 2 3 4 5 6		1		15	
		心理学	1	2			30	
		哲学	1 2 3 4 5 6		2		30	
		コミュニケーション概論	1	2			30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4 5 6		2		30	
		人間学	1 2 3 4 5 6		2		30	
		倫理学	1 2 3 4 5 6		2		30	
		宗教学	1 2 3 4 5 6		2		30	
		日本近現代史	1 2 3 4 5 6		2		30	メディア授業
		文化人類学	1 2 3 4 5 6		2		30	メディア授業
	社会系	教育学	1 2 3 4 5 6		2		30	メディア授業
		死生学-死を通して生を考える-	1 2 3 4 5 6		2		30	メディア授業
		法学	1	2			30	
		日本国憲法	1 2 3 4 5 6		2		30	
		社会学	1 2 3 4 5 6		2		30	
		国際関係論	1 2 3 4 5 6		2		30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4 5 6		2		30	メディア授業
		組織運営管理論	1 2 3 4 5 6		2		30	
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	2	1			15	
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2	1			45	
		社会保障制度論	1 2 3 4 5 6		2		30	
	自然・情報系	ボランティア論	1 2 3 4 5 6		2		30	
		経済の仕組み	1 2 3 4 5 6		2		30	
		統計学	1	2			30	
		数学	1	2			30	
		物理学	1 2 3 4 5 6		2		30	
		化学	1	2			30	
		生物学	1	2			30	
		情報処理	1	1			30	
		生命倫理	1	2			30	
		医学／医療史	1 2 3 4 5 6		2		30	メディア授業
	総合系	大学入門講座Ⅰ（基礎）	1	1			15	
		大学入門講座Ⅱ（展開）	1 2 3 4 5 6		1		15	
		郷土論～大川学～	1 2 3 4 5 6		1		15	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4 5 6		1		15	メディア授業
		メディカルマナー入門	1 2 3 4 5 6		2		30	メディア授業
	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1			30	留学生は選択
		英語講読2 (Basic)	2	1			30	留学生は選択
		英語CALL1 (Primary)	1	1			30	留学生は選択
		英語CALL2 (Basic)	2	1			30	留学生は選択
		英会話	1 2 3 4 5 6		1		30	
		実用英会話	2 3 4 5 6		1		30	
		医学英語Ⅰ（入門）	1 2 3 4 5 6		1		30	
		医学英語Ⅱ（応用）	1 2 3 4 5 6		1		30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30	
		中国語	1 2 3 4 5 6		2		60	
		実用中国語会話	2 3 4 5 6		1		30	
		韓国語	1 2 3 4 5 6		2		60	
		実用韓国語会話	2 3 4 5 6		1		30	
	外国語系	作文・読解Ⅰ（入門）	1 2 3 4 5 6		1		30	
		作文・読解Ⅱ（応用）	1		1		30	留学生は必修
		作文・読解Ⅲ（完成）	1 2 3 4 5 6		1		30	
		文法・語彙Ⅰ（入門）	1 2 3 4 5 6		1		30	
		文法・語彙Ⅱ（応用）	1		1		30	留学生は必修
		文法・語彙Ⅲ（完成）	1 2 3 4 5 6		1		30	
		発表・討論Ⅰ（応用）	1		1		30	留学生は必修
		発表・討論Ⅱ（完成）	1 2 3 4 5 6		1		30	
		医療福祉専門漢字	1		1		30	留学生は必修
		医療福祉専門語彙	1		1		30	留学生は必修
		日本語基礎Ⅰ（初級）	1 2 3 4 5 6			1	30	
		日本語基礎Ⅱ（初級）	1 2 3 4 5 6			1	30	
	体育健康系	健康科学理論	1 2 3 4 5 6		1		15	
		健康科学実践	1 2 3 4 5 6		1		30	

授業科目の名称				配当年次	単位数			時間	備 考
					必修	選択	自由		
専門基礎科目	学部共通	公衆衛生学		3	2			30	
		救急医学(救命救急を含む)		2 3		1		15	
		リハビリテーション概論		1 2 3 4 5 6		2		30	
		微生物と病気		1 2 3 4 5 6		2		30	
		関連職種連携論		2	2			30	
		ケアマネジメント論		2 3 4 5 6		1		15	
		保健医療福祉制度論		1 2 3 4 5 6		2		30	
		臨床心理学概論		1	2			30	
		関連職種連携ワーク		3	1			30	
		関連職種連携実習		5		1		45	
		リスクマネジメント論		3 4 5 6		2		30	メディア授業
	薬学科	薬学演習Ⅰ（物理系等）		2	1			30	
		薬学演習Ⅱ（化学系等）		3	1			30	
		薬学演習Ⅲ（生物系等）		3	1			30	
		薬学計算		2	1			30	
		病原微生物学		3	2			30	
		コミュニケーション実習		2	1			45	
		基礎薬学実習Ⅰ（物理）		1	1			45	
		基礎薬学実習Ⅱ（生物）		1	1			45	
		薬学概論		1	2			30	
	専門教育科目	有機化学Ⅰ（脂肪族化合物1）		1	2			30	
		有機化学Ⅱ（脂肪族化合物2）		2	2			30	
		有機化学Ⅲ（芳香族化合物）		2	2			30	
		生薬学		2	2			30	
		天然物化学		2	1			15	
		医薬品構造化学		3	1			15	
		分析化学Ⅰ（溶液中の化学平衡と滴定法）		1	2			30	
		分析化学Ⅱ（機器分析、分離分析および臨床分析）		2	2			30	
		医薬品構造解析		2	2			30	
		薬品物理化学Ⅰ（物性とエネルギー）		1	2			30	
		薬品物理化学Ⅱ（平衡と変化）		2	2			30	
		放射化学		2	1			15	
		生化学Ⅰ（生体分子）		1	2			30	
		生化学Ⅱ（生体エネルギー・代謝）		2	2			30	
		分子生物学Ⅰ（遺伝情報・細胞内情報伝達）		2	2			30	
		分子生物学Ⅱ（細胞間コミュニケーション・遺伝）		2	2			30	
		解剖生理学Ⅰ（外皮系、骨格系・筋肉系、循環器系）		1	2			30	
		解剖生理学Ⅱ（神経系、内分泌系）		2	2			30	
		解剖生理学Ⅲ（消化器系、呼吸器系、泌尿器系）		2	2			30	
		がん薬物療法学		3	2			30	
		ゲノム医療		3	1			15	
		化学療法学		3	2			30	
		免疫学		2	2			30	
		疾病と病態生理学Ⅰ（内分泌系、神経精神系疾患等）		2	2			30	
		疾病と病態生理学Ⅱ（循環器系疾患、消化器系疾患等）		3	2			30	
		疾病と病態生理学Ⅲ（呼吸器系疾患、代謝性疾患等）		3	2			30	
		薬理学Ⅰ（総論、末梢神経薬理等）		3	2			30	
		薬理学Ⅱ（中枢神経薬理、免疫・炎症薬理等）		3	2			30	
		薬理学Ⅲ（循環器薬理、消化器薬理等）		4	2			30	
		薬理学Ⅳ（呼吸器薬理、内分泌薬理等）		4	2			30	
		医薬品安全性学		4	2			30	
		臨床検査医学		3	2			30	
		薬物治療学Ⅰ（神経精神系疾患、内分泌系疾患等）		4	2			30	
		薬物治療学Ⅱ（循環器系疾患、呼吸器系疾患等）		4	2			30	
		薬物治療学Ⅲ（症例・病態解析）		6	2			30	
		物理薬剤学		2	2			30	
		製剤設計とDDS		4	2			30	
		臨床薬学Ⅰ（調剤の基礎）		3	2			30	
		臨床薬学Ⅱ（調剤の実践）		4	2			30	
		臨床薬学Ⅲ（薬物療法の実践）		4	2			30	
		臨床薬学Ⅳ（チーム医療・地域医療の実践その前に）		4 5	1			15	
		薬物動態学		3	2			30	
		臨床薬物動態学		4	2			30	
		医薬品情報学Ⅰ（医薬品情報の収集と活用）		3	2			30	
		医薬品情報学Ⅱ（EBMと臨床研究）		6	1			15	
		衛生化学Ⅰ（食品・栄養）		2	2			30	
		衛生化学Ⅱ（毒性・代謝）		3	2			30	
		環境衛生学		3	2			30	
		医療関係法規		4	2			30	

授業科目の名称			配当年次	単位数			時間	備 考
				必修	選択	自由		
専門教育科目	専門科目	日本薬局方	3	1			15	
		漢方医学Ⅰ（漢方の基礎）	3	2			30	
		漢方医学Ⅱ（漢方の応用）	4	1			15	
		OTC医薬品概論	3	2			30	
		化学系薬学実習Ⅰ（有機合成）	2	1			45	
		化学系薬学実習Ⅱ（天然資源）	2	1			45	
		物理系薬学実習	2	1			45	
		生物系薬学実習	4	1			45	
		分子生物学実習	3	1			45	
		臨床検査医学実習	3	1			45	
		衛生系薬学実習	3	1			45	
		早期体験実習	1	1			45	
		医療系薬学実習Ⅰ（調剤の基礎と情報収集）	3	1			45	
		医療系薬学実習Ⅱ（調剤の実践と服薬指導）	4	1			45	
		病院・薬局事前実習Ⅰ（実務実習に必要な基本的知識）	4	2			90	
		病院・薬局事前実習Ⅱ（実務実習に必要な基本的技能）	4	2			90	
		病院・薬局実務実習Ⅰ（主に病院での実習）	5 6	10			450	
		病院・薬局実務実習Ⅱ（主に薬局での実習）	5 6	10			450	
		総合薬学演習Ⅰ（主として物理・化学・生物・衛生）		6	1		30	
		総合薬学演習Ⅱ（主として薬理・薬剤・病態・実務）		6	1		30	
		卒業研究	5 6	4			60	

別表1 授業科目の名称及び単位数
留学生用日本語科目(福岡保健医療学部)

授業科目の名称			配当年次				単位数			時間	備 考
							必修	選択	自由		
総合教育	外国語系	作文・読解Ⅰ（入門）	1	2	3	4		1		30	
		作文・読解Ⅱ（応用）	1	2	3	4	1			30	
		作文・読解Ⅲ（完成）	1	2	3	4		1		30	
		文法・語彙Ⅰ（入門）	1	2	3	4		1		30	
		文法・語彙Ⅱ（応用）	1	2	3	4	1			30	
		文法・語彙Ⅲ（完成）	1	2	3	4		1		30	
		発表・討論Ⅰ（応用）	1	2	3	4	1			30	
		発表・討論Ⅱ（完成）	1	2	3	4		1		30	
		医療福祉専門漢字	1	2	3	4	1			30	
		医療福祉専門語彙	1	2	3	4	1			30	
		日本語基礎Ⅰ（初級）	1	2	3	4			3	90	
		日本語基礎Ⅱ（初級）	1	2	3	4			3	90	

国際医療福祉大学教務委員会規程

(設置)

- 第1条 国際医療福祉大学学則第11条に基づき、本学に教務統括委員会（以下「統括委員会」という。）を置く。
- 2 各キャンパス及び医学部にキャンパス教務委員会及び医学部教務委員会（以下「教務委員会」という。）を置き、統括委員会がこれを統括する。
- 3 この規程において「委員会」とは、統括委員会及び教務委員会を指す。

(目的及び責務)

- 第2条 委員会は、本学の定める教学の基本方針に従い、教育の企画及び実施に関する重要事項を協議し、適正にして合理的な教育の推進を図るものとする。
- 2 委員会で協議された内容については、常任理事会、経営会議及び管理運営委員会に適宜報告するものとする。

(学務部長)

- 第3条 前条の目的において、本学に学務部長を置くことができる。
- 2 学務部長は、各キャンパス及び医学部の教育課程の編成及びその実施について掌理する。

(統括委員会の構成)

- 第4条 統括委員会は、次の各号の委員をもって構成する。
- 一 常任理事、学長、大学院長、副学長、副大学院長又は学部長のうち、理事長の指名する者
 - 二 学務部長
 - 三 各教務委員会の委員長
 - 四 統括学科長
 - 五 事務局長
 - 六 人事にかかる事務責任者
 - 七 教務にかかる事務責任者
- 2 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(教務委員会の構成)

- 第5条 教務委員会は、次の各号の委員をもって構成する。
- 一 学長が指名する専任教員
 - 二 学長が指名する者
 - 三 理事長が指名する者
- 2 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第6条 各委員会に委員長を置く。

2 統括委員会においては、第4条第1項第1号の委員の中から学長の意見を聴き、理事長が指名する。

3 教務委員会においては、前条第1項第1号の委員の中から学長が推薦し、理事長が指名する。

4 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

5 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代行する。

(委員会の成立)

第7条 委員会は、過半数の委員の出席により成立する。

(委員以外の出席)

第8条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

(議事録及び報告)

第9条 各委員会は、議事録を作成し保管しなければならない。また、議事録の回付により学長、事務局長及び東京事務部総務部に報告を行う。

(事務処理)

第10条 統括委員会の事務は東京事務部教務企画部で処理する。

2 教務委員会の事務は、各キャンパス及び医学部の教務事務担当部署で処理する。

(改廃)

第11条 この規程の改廃は、常任理事会の承認事項とする。

附 則

この規程は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3（2021）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5（2023）年4月1日から施行する。

国際医療福祉大学自己点検・評価委員会規程

(設置)

第1条 国際医療福祉大学に自己点検・評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

第2条 委員会は、本学における教育研究活動等の状況に関する自己点検・評価について、次の各号に掲げる事項を行う。

- 一 自己点検・評価の方針の策定に関すること。
- 二 自己点検・評価の実施に関すること。
- 三 自己点検・評価の報告書の作成及び公表に関すること。
- 四 その他自己点検・評価についての連絡調整に関すること。

(委員会の構成等)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- 一 学長
- 二 副学長
- 三 大学院長
- 四 副大学院長
- 五 学部長
- 六 研究科長
- 七 副学部長
- 八 学科長
- 九 大学院専攻主任
- 十 学生部長
- 十一 教務統括委員長
- 十二 図書館長
- 十三 センター長のうちから学長が指名した者
- 十四 常任理事の中から理事長が指名した者
- 十五 事務局長
- 十六 学長が指名する各キャンパスの代表者
- 十七 その他学長が必要と認めた者

2 自己点検結果の評価を行う場合は、前項の委員のほか学外の有識者若干名を加えることができる。

第4条 前条第1項第十四号の委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は理事長が委嘱する。

(委員長等)

第5条 委員会に委員長を置き、第3条第1項の委員の中から学長の意見を聴き、理事長が指名する。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員会に副委員長を置き、委員長が指名する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

(部門別委員会及び小委員会)

第6条 委員会に、必要に応じ部門別委員会及び小委員会を置くことができる。

2 部門別委員会は、医学部、薬学部、その他の学部及び大学院とする。

3 部門別委員会及び小委員会に関する事項は、別に定める。

(事務処理)

第7条 委員会の事務は、東京事務所教務企画部で処理する。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、常任理事会の承認事項とする。

附 則

この規程は、平成11年11月12日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3(2021)年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5(2023)年4月1日から施行する。

大学等名	国際医療福祉大学	申請レベル	リテラシーレベル
教育プログラム名	国際医療福祉大学数理・データサイエンス・AI教育プログラム	申請年度	令和6年度

取組概要

プログラムの目的

医療分野における統計学と情報工学を融合した人材の育成のために数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、かつ、それらを適切に理解し、活用する基礎的な能力を育成することを目的とする。

身に付けられる能力

データ活用における留意事項を踏まえながら医療の各専門分野においてデータを読み、データを説明し、データを扱うことができる。

修了要件

必修科目のデータリテラシー（1単位）と医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-（1単位）の計2単位を取得すること。

実施体制

プログラムの運営は、総合教育センターおよび科目担当教員が行う。

プログラムの改善・進化は、教務統括委員会及びWG、自己点検・評価は、自己点検・評価委員会で行う。

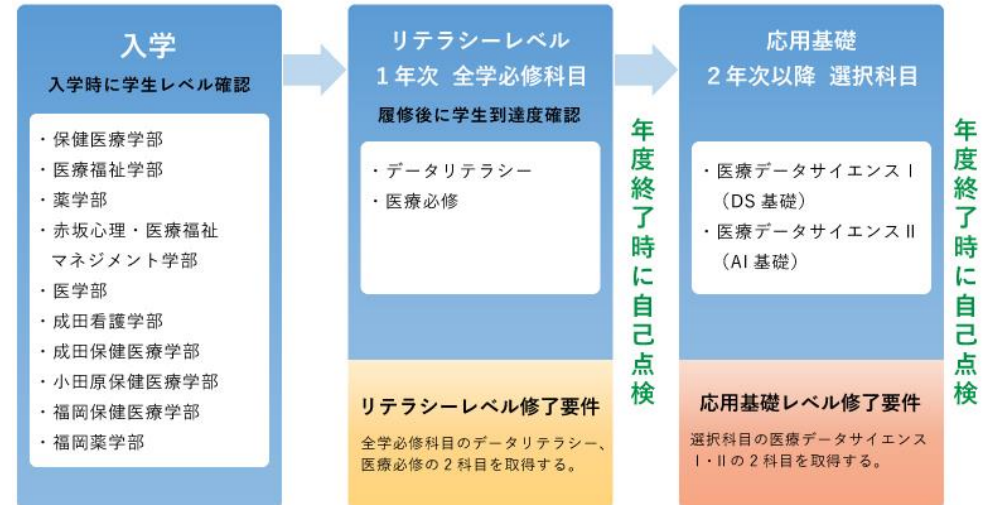
委員会等	役割
総合教育センター長	運営責任者
教務統括委員会、数理・データサイエンス・AI教育プログラムWG	プログラムの改善・進化
自己点検・評価委員会	プログラムの自己点検・評価
科目担当教員34名（令和5年度）	2科目の授業運営

令和5年度結果

学生数 9023名、履修者数 2115名

開講されている科目の構成（図には令和6年度開講の応用基礎科目も含む） **数理・データサイエンス・AI教育プログラム**

リテラシーレベル全学必修2科目で構成 応用基礎レベル選択科目2科目で構成



授業科目名	授業の概要
データリテラシー	数理・データサイエンス・AI（人工知能）への関心を高め、かつ、それらを適切に理解し、活用する基礎的な能力を育成することを目的とする。このために、「社会におけるデータ・AI利活用」（導入：社会で起きている変化／データ・AI利活用の最新動向）および「データリテラシー」（基礎：データを読む／データを説明する／データを扱う）の二分野について、演習を通じて実践的に学習していく。「データを読む」では文章作成、「データを説明する」「データを扱う」では表計算の演習も同時に行う。
医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	医の倫理・生命倫理をめぐる様々な規制や問題、医療プロフェッショナルリズム等について学ぶ。さらに医療情報に関する今日的・基本的な知識と扱い方を学習することにより、医療系学生として、将来、各専門分野で活躍するために必要な医療情報リテラシー、および医療データリテラシーに関する能力を高める。